

THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

5

2018
MAY
VOL.66 NO.5



青少年交換学生を受け入れる
ホストファミリー体験談

第6回 日台ロータリー親善会議 in 高雄

Rotary





GRAN ART GF-1 型 (NO)

FULL HEIGHT DOOR[®]

フルハイトドア



「GRAN ART」だけの KAMIYA マーク

開閉音までこだわった高級感への演出が使う人に心地良い満足感を約束します



フルハイトドア最上級モデルが 気品に満ちた室内空間を演出

日本の扉の厚みは 30 ～ 36 mm が一般的ですが『GRAN ART』は欧州基準の 42 mm。圧倒的な存在感を誇るフルハイトドアです。カラーはクラシックな濃淡とゆらめく縞模様が特徴のブラックウォールナットをはじめ、世界三大銘木のブラックチェリー、日本でも伝統的に家具や床材で愛されてきたタモが設定されています。

商品のお問合せは神谷コーポレーション「Shonan Office」まで

TEL 0463-94-6203 フルハイトドア 検索

神谷コーポレーション株式会社 〒259-1146 神奈川県伊勢原市鈴川50 URL www.kamiya-yokohama.co.jp/



フルハイトドアの
神谷コーポレーション

私たちを一つにするビジョン

親愛なるロータリアンの皆さん、ロータリーは、大規模で非常に複雑な組織です。本号が印刷される時点で、3万5,633のクラブが世界のほぼ全ての国にあり、約120万人の会員がいます。ローターアクト、インターアクト、ロータリー青少年交換、RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）、RCC（ロータリー地域社会共同隊）、ロータリー平和センターなどのプログラムのほか、国、地区、地域レベルのプログラムやプロジェクト、財団が支援するプロジェクトがあり、何十万という人が参加しています。血液バンクからフードバンク、学校衛生からポリオ撲滅まで、ロータリーの名を冠するプロジェクトも毎年、数え切れないほど生まれています。ロータリークラブが創設されてから113年が経過した今、ロータリーの奉仕活動は世界中に広がっています。

日々の、あるいは週単位の奉仕活動は、地域、国、クラブによって大きく異なり、それぞれのクラブに独自の歴史、優先項目、アイデンティティーがあります。また、ロータリアンの個性や一人一人の奉仕に対する目的意識も全て異なります。ロータリーは地域ごとの独自の方法が尊重される組織ですから、会員やクラブがそれぞれに、最も適した方法で奉仕することに、何の問題もありません。

ただし、私たちの強みである多様性は、私たちの組織としてのアイデンティティーに難題を投げかけます。ロータリーという名称を知っている人は多くても、その活動内容、その構成、存在理由を理解している人はごく一部です。ロータリーの中でも、ロータリーという組織、全体の目標、プログラムの内容や範囲を十分に理解していない会員が大勢います。これらの難題は、効果的な奉仕を実施するためだけでなく、奉仕活動や会員増強に取り組み、パートナーシップを強化していくために不可欠な公共イメージにも重要な意味を持ちます。

数年前に組織全体でこの問題を解決するため、ロータリーのビジュアルとブランドを強化するツールを導入しました。今日、私たちはこれらのツールを使いながら、「世界を変える行動人」という新しいグローバル広告キャンペーンを実施しています。このキャンペーンは、ロータリーの補助金を利用して自分たちの地域社会で変化をもたらしている私たちの活動を紹介するものです。昨年6月、RI理事会は私たちの活動の多様性を結ぶ一つの目的とロータリーのアイデンティティーを反映した新しいビジョン声明を、採択しました。

Together, we see a world where people unite and take action to create lasting change — across the globe, in our communities, and in ourselves.

「私たちロータリアンは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています」

どこに住んでいても、どんな言語を話していても、どんな活動をしていようとも、私たちのビジョンは同じです。世界をより良い場所にできると信じ、そのために私たちはみな活動しています。ロータリーは、世界をより良くする機会を与えてくれるから、私たちはここにいるのです。「ロータリー：変化をもたらす」のテーマを通じて、一つになって行動を起こしましょう。



Ian H. S. Riseley
2017-18年度 国際ロータリー（RI）会長



ロータリー：
変化をもたらす



ロータリーの友
Home Page

www.rotary-no-tomo.jp

原文（英語）はこちらから



イアン H. S. ライズリー
RI 会長の最新情報はこちら
<https://my.rotary.org/ja/news-media/office-president>

RI 会長メッセージ 3

RI 私たちを一つにするビジョン

RI 会長 イアン H.S. ライズリー

特集

青少年奉仕月間

青少年交換学生を受け入れる

ホストファミリー体験談 7

青少年交換学生だった私が

ホストファミリーに

(一社) ROTEX 原 幸一

たくさんの支えがありました

ホストマザー 原あゆみ

日本語の習得に試行錯誤

国分 RC 宮川尚之 / 都城 RC 宮川久美子

海外旅行以上の素晴らしい経験

ローテックスの家族 渡邊晃子

自分の子どもと同じ

ローテックスの家族・益田清風高校 IAC 顧問 今井りえ子

青少年交換学生とクラスメートでした

酒田中央 RC 松井 泰

健康第一、とにかく話を聞いてあげること

ホストマザー 松井さつき

シングルファーザーがホストファミリーに

恵庭 RC 齋藤茂生

バギオ基金

フィリピンの将来を担う若者を支援 14

(一財) 比国育英会バギオ基金代表理事・会長 多田 宏 /

東京臨海 RC 飯塚憲貴 / 飯塚優莉菜

What a tree can do 木の可能性 16

THE ROTARIAN 4月号から

World Roundup 20

世界のロータリーニュース THE ROTARIAN 5月号から

第6回

日台ロータリー親善会議 in 高雄 22

日台親善会議副事務局長 長與博典

視点 ガバナーのロータリー・モメント 25

第2650地区 田中誠二 / 第2660地区 片山 勉 /

第2670地区 柳澤光秋 / 第2680地区 瀧川好庸 /

第2690地区 池上 正 / 第2700地区 安増惇夫 /

第2710地区 藤中秀幸 / 第2720地区 永田壮一 /

第2730地区 押川弘巳 / 第2740地区 駒井英基

よねやまだより 30

米山記念奨学事業 50年のあゆみ ⑥

—— 2000年代 ——

漫画『米山梅吉ものがたり』発刊 32

第2700地区青少年奉仕委員長 田村志朗

地区大会略報 V 33

第2580地区 / 第2790地区 / 第2750地区

NEW GENERATION 34

インターアクター 吉野瑤記 / ローターアクター 渡辺彩加

CLUB INNOVATION 36

ニュージーランド インバーカーギル NRGRC

THE ROTARIAN 5月号から

6 ●ロータリーとは

35 ●パズル de ロータリー / 2月号の答え

37 ●エバンストン便り

38 ●財団管理委員長の思い RI

39 ●お知らせ 『友』誌で購読数変更について / 2018 - 19年度
版ロータリー手帳のご案内 / 地区別クラブ数・会員数一覧表 /
『友』6月号主要記事予定

40 ●日本ロータリー分布図 / 奥付

41 ●投稿規定 (ご投稿をお待ちしています!)

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp (本誌の内容・投稿)

経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp (購読・注文)

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp


5月は青少年奉仕月間です



3月1日、台湾・高雄で第6回日台ロータリー親善会議が開かれ、日本からは650人が参加。台湾のロータリアンたちとの旧交を温め、また新たな友情へと、絆を深める機会としました（P22～24）

ロータリーの友
委員会

委員長 清水 良夫（横浜）
副委員長 片山 主水（名古屋東南）
RI理事 斎藤 直美（豊田）
RI理事 石黒 慶一（鶴岡西）

特別顧問 神崎 正陳（茅ヶ崎湘南）
上野 孝（横浜）
安平 和彦（姫路）
片岡 信彦（土浦南）
橋本 長平（京都東）

顧問 田中 政春（長岡西）
岡部 一輝（南砺）
庄司 尚史（境港）
松坂 順一（東京葛飾東）
服部 陽子（東京広尾）

地区
代表委員

2500 松井 丈（網走）
2510 藤井 方雄（函館）
2520 笹氣光壽郎（仙台）
2530 渡邊 宗徹（白河）
2540 村越 正道（能代）
2550 加藤 勝朗（宇都宮東）
2560 木村 廉平（新潟万代）
2570 矢島 淳一（本庄）
2770 星野 時夫（大宮中央）
2790 根本 健一（柏）
2800 若月 仁（寒河江）
2820 神生 恭利（石岡）

2830 折居 祐二（十和田）
2840 市村 信也（藤岡南）
2580 石川彌八郎（東京福生）
2590 山本 邦近（横浜西）
2600 林 武雄（長野）
2610 大和 謙市（加賀）
2620 多々良 匡（焼津）
2630 戸上 宗賢（上野東）
2750 井村 廣巳（東京日野）
2760 尾本 和弘（名古屋東南）
2780 伊与田あさ子（横須賀北）
2640 井手 良明（和歌山城南）

2650 室 公博（京都東）
2660 藤田 弘道（大阪東）
2670 三浦 聖人（観音寺）
2680 村野 利昭（神戸西）
2690 横田 直樹（倉敷南）
2700 高山 卓也（宗像）
2710 宮本 民子（岩国中央）
2720 山田 哲大（熊本）
2730 菅沼 龍夫（宮崎北）
2740 北島 恭一（佐賀南）

編集長 野崎 恭子

ロータリーとは

ロータリーの誕生とその成長

20世紀初頭のシカゴの街は、著しい社会経済の発展の陰で、商業道德の欠如が目につくようになっていました。

ちょうどそのころ、ここに事務所を構えていた青年弁護士ポール・ハリスはこの風潮に堪えかね、友人3人と語って、お互いに信頼のできる公正な取引をし、仕事上の付き合いがそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい、という趣旨でロータリークラブという会合を考えました。ロータリーとは集会を各自の事務所持ち回りで順番に開くことから名付けられたものです。

こうして1905年2月23日にシカゴロータリークラブが誕生しました。

それからは、志を同じくするクラブが、つぎつぎ各地に生まれて、国境を超え、今では200以上の国と地域に広がり、クラブ数35,633、会員総数1,221,978人（2018年1月31日R I公式発表）に達しています。

そして、これら世界中のクラブの連合体を国際ロータリーと称します。

このように、歴史的に見ても、ロータリーとは職業倫理を重んずる実業人、専門職業人の集まりなのです。その組織が地球の隅々にまで拡大するにつれて、ロータリーは世界に眼を開いて、幅広い奉仕活動を求められるようになり、現在は多方面にわたって多大の貢献をしています。

日本のロータリー

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京ロータリークラブで、翌1921年4月1日に、世界で855番目のクラブとして、国際ロータリーに加盟が承認されました。

日本でのロータリークラブ設立については、ポール・ハリスの片腕としてロータリーの組織をつくり、海外拡大に情熱的に取り組んだ初代事務総長チェスリー・ペリーと、創立の準備に奔走した米山梅吉、福島喜三次などの先達の功を忘れることができません。

その後、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退します。戦後1949年3月になって、再び復帰加盟しますが、この時、復帰に尽力してくれたのが国際ロータリーの第3代事務総長ジョージ・ミーンズでした。

その後の日本におけるロータリーの拡大発展は目覚ましいものがあります。ロータリー財団への貢献も抜群で、今や国際ロータリーにおける日本の地位は不動のものになりました。現在、日本全体でのクラブ数は2,264、会員数90,539人（2018年2月末現在）となっています。

2017 - 18 年度 R I テーマ



ロータリー：
変化をもたらす

ROTARY : MAKING A DIFFERENCE

ロータリーの目的

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。具体的には、次の各項を奨励することにある：

- 第1 知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること；
- 第2 職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること；
- 第3 ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること；
- 第4 奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか



rotary **youth** exchanges

青少年交換学生を受け入れる

ホストファミリー体験談

ロータリー青少年交換プログラムは、ロータリークラブによる支援の下、15～19歳の学生が海外に滞在し、言語や文化を学びながら、現地に友人をつくり、世界市民としての自覚を養うことのできるプログラムです。このプログラムに欠かせない存在が、ホストファミリー。今回は、世界各地からやって来た交換学生を受け入れたホストファミリー、日本のお父さん、お母さんの声を紹介します。



青少年交換学生だった私がホストファミリーに

スポンサークラブ 東京池袋RC

(一社) ROTEX 監事 原 幸一

私がロータリー青少年交換学生（以下、交換学生）だったのは1983年、今から34年前です。第2人も同様にスポンサーをしていただいた東京池袋ロータリークラブ（RC）から、ローテックスとなった私のところに「ホストファミリーになってくれないか」との話がきました。

当初はお受けするかしばらく考えました。一つは室内で大型犬を飼っており、交換学生が犬と生活できるかという問題です。これは交換学生から「犬は大丈夫」という連絡があり、すぐに解決。もう一つはホスト期間中、交換学生の身に何か起きたらどうしようという妻の不安でした。私は日中ほとんど家にいないため、交換学生の実質的な世話をすることになる妻がきちんと承諾してくれるかが、受け入れ可否の重要な点でした。少し時間がかかりましたが、妻は以前からロータリー青少年交換プログラムのことをよく理解していましたし、過去に私の派遣先のオーストラリアのホストファミリーやカウンセラーの自宅に泊めてもらった経験もあったことから、最終的には快く承諾してくれました。

初めての交換学生受け入れ

ホストファミリーになると決まってから大変だったのは、受け入れの準備でした。犬がいたせいで家中ボロボロ。交換学生が少しでも快適に過ごせるように、襪や障子を張り替えたり、壊れた所を直したりしました。私が交換学生が来ることを楽しみにしていたのに対し、妻は日々不安を募らせる一方。その上、息子しかいないわが家に、女の子が来ると分かると不安は倍増。妻は心配事が出てくる度に地区の青少年交換委員長に電話で相談に乗ってもらい何とか不安を乗り越えられたようでした。

さて、わが家に来たのは16歳のチェコ人の女の子、ソフィーです。わが家での滞在期間は2017年11月～



今年1月の3カ月間。とても良い子で、納豆以外は何でも食べてくれました。チェコはビールが水より安い国で、ビールを飲むお国柄ではありますが、ソフィーは、日本でのルールをきちんと守り、わが家では一切ビールを飲みませんでした。ソフィーが友達と出かけたいと言ってきた時は全て快諾していましたが、本当はもっと夜遅くまで友達と遊びたかったと思います。よくがんばってロータリーの門限を守りました。

部活動はバスケットボール部でしたが、私の専門が剣道なので、わが家では「木刀による剣道基本技稽古法」を日々練習し、年末の東京池袋RCのパーティーでは形9本全て、演武をするまでの見事な腕前になりました。また、折に触れてギターを弾いてチェコの歌を聞かせてくれました。この他にも御朱印を集めたり、和太鼓に挑戦したり、通学時のラッシュにもみくちゃにされたり、日本での生活を楽しんでいたようです。3カ月という期間はあっという間でしたが、お互いにいろいろな経験ができて大変良かったと思っています。

わが家ではソフィーの身の回りの世話の9割を妻が

引き受けてくれました。私はと言えば度々出張に加え、12～1月はほぼ毎朝剣道の寒稽古、夜は忘年会に新年会と平日はほとんど家におりませんでした。また、最寄り駅から自宅までのソフィーの車での送り迎えは妻が毎日行っていました。妻には大変感謝しています。

交換学生と一緒に生活していると、34年前と重なって、当時にタイムスリップしたような錯覚に襲わ



れました。久しぶりに交換学生時代のアルバムを引っ張り出してソフィーと一緒に見ていると、昔の経験が次々と脳裏に浮かび上がってきて、当時の経験がいかに現在の自分の人間形成に寄与しているか、改めて認識させられました。

ホストファミリーへの感謝の思い

おそらく、全てのホストファミリーは交換学生に少しでも楽しい経験をしてほしいと思うと同時に、常にあらゆることを心配してくれています。ちゃんと目的地まで一人で行けたか、学校で仲の良い友達はできたか、家でリラックスできているかなど。そして私は自分のホストファミリーが、私に対して同じように配慮してくれたことを今更ながらに気づき、大きな感謝の思いが湧き上がってきました。そして今年、20年ぶりにホストファミリーに会いに行こうと決めました。高齢なホストファミリーが元気なうちに、もう一度感謝の気持ちを直接伝えたいと思ったからです。

また、現在の交換学生の生活とわれわれの時代との違いも感じました。それは通信手段です。われわれの頃は国際電話は高額で、留学期間中1～2回しか使えず、家族や日本の友達とのコミュニケーションは全て手紙でした。しかし、今の交換学生はEメールやスカイプで自国の家族や友達と自由に話をしています。時差の関係で深夜にチェコの家族や友達と自室で気軽に会話している様子を見て、昔と比べて随分変わったなと感じました。

プログラム存亡の機

現在の日本のロータリーが抱える構造的な問題も実感しました。それはロータリアンの高齢化による慢性的なホストファミリー不足です。当初、私はローテックス^{*}がホストファミリーになることはロータリーに対して大

変^{せんまつ}遷越なことだと思っておりました。しかし、ホストファミリーになって分かったことは、青少年交換プログラムがホストファミリー不足のために存亡の機に立たされているという現実でした。このプログラムで育てていただいたわれわれローテックスが、このプログラムの存亡の機から救うことができるのではないかと強く思いました。実際、ソフィーのホストファミリーは全てロータリアン以外の家族でした。

ソフィーを次のホストファミリーに送り届けた後、あれほど心配していた妻が、「いなくなると寂しいわね」と言って涙を流していました。たった3カ月でしたが、われわれはソフィーをこれからもずっと家族の一員だと思っています。

(第2580地区 東京都)



Annotation

ローテックス (ROTEX)

ロータリー青少年交換プログラムにより、海外で勉強した経験のある人たちによって構成されている組織。非公式ながら、ロータリー世界の多くの地区で使われています。

一般社団法人ROTEX

法人化された全国区のローテックス。青少年交換学友の同窓会組織として、交流の輪を広げています。

たくさんの支えがありました

今回初めてホストファミリーをさせていただいて、本当にたくさんの人たちが支えてくれているのだなと思いました。私たちも親戚や知り合いに協力してもらい、総力を挙げてソフィーのお世話をしました。

知人に両国国技館の大相撲のチケットを取ってもらったり、陶芸の先生の所でお抹茶茶碗をつくらせてもらいました。熱海にある夫の実家には温泉があるので何度か連れていきました。私もお正月の生け花をソフィーに生けてもらったり、お節料理をお重に詰めてもらったり生活の中で押し付けにならないよう、日本文化を紹介しました。夫も胴着、袴と新しいソフィーの

ホストマザー 原 あゆみ

名入りの木刀をプレゼントし、チェコでも剣道をやってほしいと淡い期待を抱いているようです。そしてロータリークラブからは物心両面でソフィーを支えてもらいました。学校の先生もまたしかりです。

ソフィーが大人になった時、いろいろな人がソフィーを応援してくれたことに気付いてくれたらうれしく思います。素敵なレディーに成長したソフィーに再会できることを今から楽しみにしております。息子もチェコに旅行した時にはソフィーに案内してほしいと、ときどきLINE (SNS) でメッセージの交換をしているようです。

日本語の習得に試行錯誤

スポンサークラブ 国分RC

国分RC 宮川 尚之
都城RC 宮川久美子

夫婦ともにロータリアンである私たち夫婦がホストファミリーになった直接のきっかけは、娘が同プログラムでフィンランドに派遣されることになったからです。受け入れ先の学校も娘と同じ、同じ高校2年生ということもあり、気軽に受け入れを決めました。

特別なことはしないでおう、日本の生活をしっかり体験してもらおう、そして次のホストファミリーのためにも、日本語で日常生活の意思疎通ができるようにしようと、夫婦で話し合って決めました。

そして、2017年8月、フィンランドからヤネッテ・イルランミがやって来ました。彼女はとても礼儀正しく、控えめなお嬢さんで、なにより食事の好き嫌いを言わず、なんでも食べてくれることが、私たちを安心させてくれました。逆に、あれもこれも体験させようと、私たちが引っ張り回しすぎたかもしれません。



とはいえ、フィンランド語と日本語はともに習得が難しい言語であり、どのように日本語を習得してもらうか試行錯誤しました。効果があったのは日本語学習テキスト、幼児用の英語学習教材（イラストのボタンを押すと日本語と英語でしゃべってくれる）、そして日本語の学習塾でした。



毎週お小遣いを頂きに参加する例会では、会員の皆さんが、あれこれ学校のことを聞いてくれることが一番のサポートでした。

お風呂の入り方や洗濯の仕方など文化風習の違いはありますが、非常に素直なお子さんでしたから、事前にあれこれ思い悩むより、普段通りに生活するのが一番と思いました。

交換学生の受け入れは、ロータリアンの^{だいごみ}醍醐味の一つです。特にお子さんをお持ちのご家庭は、自分の子どもが急に日本語を話せなくなったと想像して、ぜひ一度体験されてみてはいかがでしょうか？

(第2730地区 鹿児島県・宮崎県)

海外旅行以上の素晴らしい経験

スポンサークラブ 今治南RC

ローテックスの家族 渡邊 晃子

2015年3月から娘が交換学生としてオーストラリアに派遣されたご縁で、受け入れをさせていただきました。受け入れを通して子どもたちと一緒に日本人とは違う価値観を感じたいと思いました。

娘が派遣される2カ月前に受け入れた、オーストラリアから来たエモゲン・イソンカンガスは家のお手伝いを進んでしてくれたり、出身国の伝統的なお菓子を作ってくれたりしました。彼女が留学して3カ月目に学校

でクラス替えがあり、新しい友達ができず少し悩んでいた時期もありましたが、学校の先生のサポートもあり1カ月ほどで新しいクラスにもなじんで友達ができ、ほっとしました。また、近所の神社や温泉に連れていくと、とても喜んでくれました。

2016年10月～2017年1月に受け入れた、オーストラリアから来たラクラン・ピアスは日本のアニメが好きで、学校では茶道と空手を一生懸命習っていました。

家ではパソコンに向かう時間が多かったのですが、私たち家族に西洋のテーブルマナーを教えてくれ、楽しませてくれました。

スポンサークラブの今治南RCには常に相談に乗ってもらいアドバイスをいただき、とても手厚くサポートしていただきました。特にラクランの時にはタオル工場を見学させてもらい、タオルのお土産までいただきました。とても興味深そうに見ていたのが印象的でした。

彼女たちにいろいろと経験させてあげようと出かけ、結果的に家族全員が楽しめたこと、また彼女たちから教わることもあり、家族全員で話すことが楽しかったです。文化が異なることをお互いに認め合い、思ったことは話してみるということが、わが家の子どもたちにいい経験になりました。文化や習慣の違うところに来てすぐに溶け込み、オープンで明るい良い子たちに巡り合えたこ



とに感謝しています。短い間でしたが、私にとって海外旅行以上の素晴らしい体験でした。

交換学生には、「学校はどうだった?」「授業で何をしたの?」など、できるだけコミュニケーションを取るようにしました。そうすることで交換学生の日本語も上達し、絆もより一層深まると思います。ゲスト

としてではなく家族の一員として受け入れ、一緒に過ごす時間を大事にすると良いと思います。

良いことも、悪いことも「前の交換学生はこうだった……」と比較されることを嫌がっていたので、比べないようにしないとけなっていました。また、家族全員で取る食事の時間は、本人のこと、家族のこと、学校でのことやいろいろなことを聞いてあげる、いい時間でした。

(第2670地区 愛媛県)



自分の子どもと同じ

スポンサークラブ 下呂RC

ローテックスの家族
益田清風高校インターアクトクラブ顧問 今井りえ子

6年前に息子を交換学生としてニュージーランドへ派遣していただいて以来、毎年ホストをしております。また、岐阜の県立高校の英語教諭として、勤務校ではインターアクトクラブの顧問をし、インバウンド、アウトバウンド両方の派遣学生のお世話を担当しています。

2018年3月現在、わが家にとっては7人目の交換学生、オーストラリアから来たアーロン・ブラックラーのホストが終わったところです。毎回受け入れの際には、毎日使う弁当箱や箸、ご飯茶碗などを用意するくらいで、特別な準備はしていません。お客さまではないので、自分の子どもと同じように扱うことを心掛け、日本人の高校生としてのマナーはしっかり教えることで、どこに行ってもかわいがってもらえると思っています。

交換学生との生活はその子の性格によりけりで、何事

もなく日本の家庭生活になじんでいく生徒もいれば、どれだけ言っても勝手な行動に出てしまう生徒もいましたので、そんな時はスポンサークラブに指導していただきました。また、オーストラリアのホストクラブから交



交換学生に配付されていた英語と日本語併記のプリント「Setting Guidelines with your Host Family（その家族での約束事などを初めに話し合っておくこと）」が家族、交換学生の両方にとって大変役立ちました。交換学生との日々は苦勞もありますが、彼らが日本の良さや素晴らしさに気付き、日本を好きになっていく過程を見ることが、一日本人として大きな喜びです。

これから新しくホストをされる方々には、とにかく無理をせず、気軽に自分の子どもと同じように接し、うまくいかない時はロータリークラブやホストの経験者にアドバイスを求めていることをお勧めします。

（第 2630 地区 岐阜県）



青少年交換学生とクラスメートでした

スポンサークラブ 酒田中央 R C

酒田中央 R C 松井 泰

26 年前、当時高校 3 年生だった私は、留学して帰って来た子とクラスメートになりました。そして月日がたち、酒田中央 R C に入会して、そのクラスメートが、酒田中央 R C がスポンサーの交換学生だったことを知りま



した。このご縁から、私の子どもたちもいつの日かこのプログラムに参加する日が来るかもしれないと思い、まずはホストファミリーになってみようと考え、2018 年 1 月 27 日から 4 月 28 日まで、ハンガリーから来たニャラディ・ナターリア（ナティ）を受け入れました。

受け入れに当たっては、会話が不安だったので日本語とハンガリー語の通訳アプリを準備しましたが、ナティは日本語で会話ができて、通訳アプリを使わなくても意思疎通の問題はありませんでした。にぎやかな家庭に育ったためか、5 人家族のわが家にすぐに溶け込み、食事でも好き嫌いがほとんどなく何でも残さず食べてくれました。家庭内では小学生の子どもたちと一緒に生活することで、スマートフォンの見過ぎや夜更かしもなく、大きなトラブルもありませんでした。

スポンサークラブからは剣道の稽古をつけてもらったり、トレッキングツアーに連れていってもらったり、休日の過ごし方が単調にならないよう、サポートをしてもらいました。

ホストとして送迎や弁当の準備などの負担はありまし

健康第一、とにかく話を聞いてあげること

長い留學生活ですので、心身の健康が第一だと思います。一日 3 食しっかり食べることはもちろん 21 時までにお風呂も済ませ、早めに就寝するよう生活のリズムに気を遣いました。冬場はインフルエンザ予防にうがい・手洗いを徹底させるとともに、家の中でも暖

かい格好をさせました。

また、孤独を感じさせないように、スケジュール確認だけでなく学校や友達、家族や故郷、趣味や将来の夢など何でもいいので、とにかく話を聞いてあげることが大事だと感じました。

ホストマザー 松井 さつき

たが、子どもたちにとってはそれを補って余りある良い経験になったと思います。特に海外のニュースに関心を持ってくれるようになり、少し視野が広がったのではないかと感じています。

交換学生と一番長い時間を過ごすのはホストマザーになろうかと思しますので、いつも以上に相手をいたわるとともにホストマザー同士の情報交換の場を作ることが大事だと思います。(第2800地区 山形県)

シングルファーザーがホストファミリーに

スポンサークラブ 恵庭RC

恵庭RC 齋藤 茂生



娘が交換学生となってオーストラリアに派遣されたことがきっかけでホストファミリーになり、20年以上がたちました。妻が他界していたため、自分の子どもと一緒に交換学生の世話をするのは私一人。これまでにオーストラリアから来たジョール・ウェローを含め10人を受け入れています。恵庭RCでは1年間で、2～4軒のロータリアンの家庭で1人の交換学生を受け入れています。原則として、各家庭で3カ月をめどに受け入れ計画を作りますが、青少年交換プログラムには賛成でも、ホストファミリーになることはできないロータリアンもあり、結局わが家で6～9カ月お預かりした交換学生もいました。

受け入れに当たっての課題は食事です。ベジタリアンであったり、食事の好き嫌いがあつたりする子どもには気を遣います。事前に確認して、宗教的理由によるものは残念ですが、受け入れを断ります。毎日生活の様子を注意しなければならない上に、弁当を作る関係上対応できないからです。

交換学生には、できる限り部屋に閉じこもらせないようにし、食事は一緒にしました。朝はあまり食が進まないようです。夕食時はその日のこと、学校の行事や自国でどのように過ごして

いるのかなどを聞き出しました。日曜日など休みの日には、スーパーへ買い出しに連れて行くなど、本人にあまり負担にならない程度に一緒に行動しました。

当方が最初のホストファミリーであろうと、2番目のホストファミリーであろうと、順番に関係なく、当方にホームステイしている時に不思議と、交換学生の家族が日本に遊びにきます。多い時には、両親きょうだい計5人と交換学生という人数で、1週間～10日間くらいわが家に滞在することもあります。その間、近くの温泉へ連れていったりもします。最近では交換学生とその家族で遊ぶところを事前に調べてくるようになってきています。青少年交換を終えた後、交換学生とその家族が遊びに来てくれたこともあります。

交換学生を受け入れるに当たって、気を付けていることは、初対面の時にわが家のルールを伝えること。これはだめ、これはいいをはっきり言うことです。そして良いところは大いにほめる。交換学生たちは素直に受け入れてくれます。

繰り返しになりますが、大事なことは毎日の食事と弁当作り。楽しいことは、交換学生が帰国してから、毎年のように誰かしらが連絡してくること。結婚した、子どもが生まれたなど、今でも交流があること。これがホストファミリーの醍醐味です。(第2510地区 北海道)





フィリピンの将来を担う若者を支援

子どもたちの輝くまなざしを

一般財団法人比国育英会バギオ基金代表理事・会長
多田 宏（東京神田RC）



第39回バギオ訪問団を結成し、2月9～12日に3泊4日の旅を実施しました。参加者も67人に上りました。

バギオ基金によって勉学をする学生、生徒の数はこれまでに3,674人に達しています。フィリピンで教育が普及しない理由として、経済状況の脆弱性^{ぜいじやく}があると考えられます。少数大財閥と外国資本に支配されている以上、経済の民主化は、夢のまた夢と言えましょう。これらの解決には時間を必要としますが「国造りは人造り」と言うように、バギオ基金によって、1人でも多くの若者がフィリピンのために育ってくれることを願っています。

かつては、シスター・テレジア^{うんの}海野（1911～1989）

が日本のロータリアンに呼び掛け、当時、貧困ゆえ教育も受けることができなかった在比国の日本人の子どもたちのため立ち上げたバギオ基金が、今では日系3世、4世を含め現地の若者にまでその支援の輪が広がっている現実を知った時、往時の先輩ロータリアンの卓見に感服する次第です。このような大切な支援の灯は、一朝一夕にしてできるものではありません。40年以上の時間をかけ、多くのロータリアンがその支援の輪の中に入ってくれた賜物なのです。

子どもたちの輝くまなざしは、何とも言えない希望と喜びに満ちあふれたメッセージを送ってくれます。現今の日本では、めったに見ることのできないまなざしです。

訪問団に参加して、バギオのみならず、北ルソンにおける現状をじかに見て、子どもたちの輝くまなざしを、浴びてください。（第2580地区 2009-10年度ガバナー）

子連れバギオ訪問記

— 帰国して一番変わったのは誰？ —

東京臨海RC 飯塚 憲貴

今回は、私にとって2回目のバギオ訪問でした。2015年6月にロータリーに入会し、当クラブがバギオの支援に力を入れているとは耳にしていたましたが、実際の活動はよく分かりませんでした。

翌年、ロータリアンとして慣れてきて、さらにいろいろ知りたくなっていた時期に、バギオ訪問のお知らせがあり、申し込み参加しました。カジノなどの豪華な施設や娯楽などが充実している半面、劣悪な生活環境、河川の水の汚染、街中や野原に放置されるごみ、自分勝手な交通マナー、窓に張られた鉄格子、貧富の差などを目のあたりにし、日本は恵まれていることに気づきました。

当時は会社を経営して8年目、新しい会社を設立して3年目、経営や組織をさらに良くするためのモチベーションに悩んでいた時期だったので、大変刺激を受けました。そして自分の子どもたちに、このような環境を見せたらどうなるだろうとも考えました。

そして2回目の今回。当初は家族4人で行こうと思っていましたが、妻は興味がないとのことで、子ども2人を金曜日だけ学校



（上）バギオ市内でジブニーという乗り合いバスに乗り奨学生の家庭訪問へ向かう
（下）現地の小学校で子どもたちから熱烈的な歓迎を受ける一行

バギオ基金の現況

【創立】1981年9月22日 【財団設立】2009年7月1日 【奨学金を与えた学生数】3,674人

【受け入れた留学生数】14人 【後援・関係RC数】380RC(34地区) 【後援者数】3,970人

【バギオ訪問回数と参加延べ人数】1977年度から2017年度まで39回 1,267人

一般財団法人比国育英会バギオ基金事務局 電話：03-5367-1937 ウェブサイト：<http://www.baguiofund.or.jp>

を休みにして、バギオ訪問に参加しました。

最初は父親の情熱に渋々ついてきた2人でしたが、ホテルから見たマニラ湾の夕日の美しさと最悪な水質と悪臭、朝ごはんの意外なおいしさなど、徐々にいろいろなことにアンテナを張り始め、日本との違いが、彼らの感性に響いていったようです。

マニラからバギオまでバスで移動中に目にしたのは、マニラ以外のフィリピンの様子でした。一面に広がる水田、畑、牛が放し飼いの牧草地、そして目が合うと笑顔で手を振ってくる人々。その半面、汚い川で遊ぶ子ども、ごみだらけの街、廃墟のような家に住む人々、野良犬の多さ、いい面と悪い面をずっと観察していたようです。時にはただただ外を眺め、いろいろ考えているようでした。

そして最初に私自身大きく衝撃を受けたのが、カバラン小学校を訪問した時の彼らの変化でした。笑顔で元気に誇りを持って国歌斉唱する現地の子どもと大人たちを見て、その後、君が代の斉唱。同じように誇りを持って大きな声で歌う私の子どもたちがいました。これまでに見たことがなかった姿です。その驚きを子どもたちに伝えると「国歌を歌う意味をフィリピンの子たちに教え

てもらった。日本の子どもたちこそ歌うべき。歌わないほうが恥ずかしい」と、いい意味で想像を超えた答えが返ってきました。

バギオでも奨学生たちから大歓迎を受けました。特に娘は同じ年齢の子たちと交流を図っていました。お互いたどたどしい英語で、興味あることなどをおしゃべりしていました。息子も、同じ年ごろの男の子はいなかったものの、交流し楽しんでいました。

4日間の半分は移動の旅でしたが、子どもたちは貴重な経験をすることができ、私自身も行動することの大事さを再認識しました。

そして、一番変わったのは、日本に残されていた妻かもしれません。今まで一人暮らしをしたことがなく、これだけの期間一人でいたことも初めてで、家族の大事さに気づいたようです。わざわざ空港まで迎えに来てくれました。車の運転もできないのに。来年は子どもを残し、妻がバギオの訪問をしたいそうです。

また新たな気づきのある旅になりそうで、今から楽しみにしています。

(第2580地区 東京都)

貧困の連鎖を断ち切るチャンス子どもたちに

飯塚優莉菜

私は今回フィリピンを訪問し、とてもフレンドリーな国だということを知りました。訪問前は、町にはごみがたくさん落ちていて、安全面でもスリなどが多く危険だという印象しかありませんでした。しかし実際はどこを訪れても、笑顔で手を振ってくれる、明るく、心の優しい人たちの国でした。

特に印象に残ったのは現地の小学校を訪れ、児童たちが一生懸命大きな声で国歌を歌うのを聞いた時でした。私は、体中に鳥肌が立ちました。国歌を堂々と歌わない日本人って何なんだろう？ という、疑問と恥ずかしさを感じました。

バギオでの歓迎会では、同じテーブルになった同じ年の奨学生、ドカヤグ・ジェサメイさんと仲良くなり、片言の英語でたくさん話をしました。彼女はベンゲット州立大学で栄養学を学んでいて、将来は栄養士になりたいとのこと。バギオの子も、私たち日本人と変わらない夢や趣味を持っていて、大変共感しました。私はドカヤグさんに、たくさん勉強し、ぜひ夢をかなえてほしいと思いました。

また今回の旅はバスでの移動が多く、現地の町並みをた

くさん見ました。質素な家に住んでいる人や、裸で過ごしているような子どもたちが多くいる一方、都心部には、豪華なカジノやホテルが建ち並んでいました。多くの人はそのようなところに就職したくても、学力がないからそれもかなわないとのことでした。

このままでは貧しい家庭はもっと貧しく、豊かな家庭だけが豊かになっていってしまいます。だから私はこのバギオ基金で、素晴らしい夢を持ったもっと多くの子どもたちが学校へ通い、いい未来を手に入れてほしいと思いました。

(東京臨海RC 飯塚憲貴会員子女)





木の可能性

What a tree can do

昨年、イアン H. S. ライズリー氏は、1つの課題を打ち出しました。国際ロータリー（R I）会長に就任した2017年7月1日から2018年4月22日のアースデイ（地球の日）までに、世界中の全てのロータリアンが一人1本の木を植えよう、というものです。世界中のクラブがその課題に取り組み、ライズリー氏は各地でシャベルを持つよう頼まれました。『THE ROTARIAN』のシニアエディターのハンク・サルタン氏は、植えた木について、そして、木がロータリーの使命とどのように一致するのかについて、ライズリー氏にインタビューしました。

なぜ木を植えるのですか？

1990 - 91年度、パウロ V. C. コスタ R I 会長が、クラブに環境プロジェクトを実施するよう促した地球環境保全プログラム以降、環境問題は、R I の関心の中であまり大きな位置を占めませんでした。私はロータリアンに、環境への関心を持つきっかけを与えていたと思っていました。環境問題は、私はもちろん、多くの人にとって重要なことですから。

なぜ木かって？ 誰でもできることだからです。自分自身で植えられなくても、木を必要とする場所に、木を植える支援をすることができます。私が聞く限り、ロータリーの内外の人々は、このアイデアを喜んで受け入れてくれました。

なぜ、このアイデアがそのような熱意を呼び起こしたと思いますか？

木を植えるという作業は原始的で何人々の心に訴えかけるものがあります。木を植えることは、地域社会に長期的に関わっていくことです。ロータリーは、公園を造ったり、ごみを拾ったり、地域でさまざまな多くの素晴らしいプロジェクトを実施していますが、どういうわけか木を植えることは、

人々の心をつかみます。

私は、地域社会が関わっていく事例をいくつも見てきました。ルーマニアの政府はこのアイデアを知り、「私たちも木を植えたいのです。しかし、木を植える人がいないのです」と言いました。そして、政府は、ロータリアンが国内に植えるための木を提供することを提案。ロータリアンは100万本の木をルーマニアに植えています。

木はロータリーの重点分野とどのように一致しますか？

木を植えることは、重点分野の全てに関わってきます。樹木は、経済と地域社会の発展に良い影響を与える、という調査結果があります。樹木があることで、資産価値が上がるからです。植樹をし、人々が木陰に座って世界のことを考える場所ができ、平和が推進されます。木が酸素を生み出し、二酸化炭素を吸収すれば、世界がより健康的な場所になることから、疾病予防や治療に役立ちます。全ての重点分野に、木との関連の論拠を述べるができます。

世界には、森林伐採が重大な損害を与えた地域があります。それを補償することは、ロータリーの管轄ではあり

ません。私たちにその力はありません。しかし、私たちの地域社会に木がある重要性と、木がある社会とない社会の違いを私たちは示そうとしているのです。

会長のネクタイの柄は、オーストラリアの国花、ゴールドンワトルですね。前から植物に興味を持っているんですか？

私は子どもの頃から、オーストラリアに自生する植物に関心がありました。父は植物の繁殖に熱心でした。妻のジュリエットと私が初めて家を買った時、オーストラリア固有の植物を植え、その地域にどんな植物が生育しているのかを表すような庭を造りたいと思いました。私が会長のネクタイについて考えていた時、ゴールドンワトルを取り入れることは当然のことでした。とても色彩豊かなデザインです。これまでの R I 会長テーマのネクタイは比較的、落ち着いたものだったので、私の時は少し変えたかったのです。

今年度は多くの植樹に参加されましたが、印象に残っているのは何でしたか？

アイスランドの友愛の森「Vinaskógur」

に、木を植えたことです。ここには政府高官や国家元首、そして、イギリスの女王・エリザベス2世も木を植えています。ロータリーの木が女王の木よりも少しだけ高い斜面に植えられるようにしました。

ロータリーが南米で一緒に活動するある組織は、アタカマ砂漠の端、チリのアントファガスタに木を植えることを望んでいました。砂漠に木を植えることが現実的かどうか尋ねると、彼らは雨を建物の屋根から水を取り込む装置を見せてくれました。その方法がうまくいけば、木は生き伸び生長することができます。

カリフォルニア北部では、樹齢100年のナラの木が倒れ、ロータリアンはその場所に何かを植えたいと考えていました。私たちが植えた木は、ほんの1mの高さの小さな木です。昨年山火事の起きたこの地域では、復興に当たり、樹木が持つ力について話し合っていました。森林管理官は「木を植えることで、雨による土砂災害を防ぐことができる」と、教えてくれました。そのことは、まさに二酸化炭素を酸素に変えるだけでなく、土壌の浸食を止め、動物の生息地となるなど他にも挙げればたくさんある、木の恩恵を強く感じさせるものでした。

オーストラリアやラトビア、サルデーニャ島で植樹をしました。行くところ、行くところで手が汚れました。

4月22日のアースデイで、植樹の挑戦は公式には終わりましたが、クラブが木を植え続けることを望みますか？

皆さんに続けてほしいと思います。そして、ただ植樹するだけではなく、木が確実に生長するように育ててほしいと思います。木を植えることは、将来への約束なのです。

イラスト Laszlo Kubinyi

世界の各地で植えられた木の一部を紹介します。6月号では、日本で行われた植樹活動を紹介します。

ジャックパイン バンクマツ



安心の巣作り

ジャックパインのもじやもじやの形は、アメリカ・カナダの国境付近によく見られます。小さいながらも丈夫な木で、砂地で生息し、寒い冬にもめげません。この木には、多くの種類の鳥が巣を作ります。カートランド・アメリカ・ムシクイが巣を作るのは、ウィスコンシン州とオンタリオ州のごく一部と、ミシガン州のジャックパインの若い木だけです。

ミシガン湖の南端が、ジャックパインが生息できる最南限です。ここから近いところにあるRI本部のスタッフは、昨年、この湖畔の鳥類保護区に木を植えるため、1,258ドルを集め、エバンストン・ノースショア・バードクラブと協同で、ジャックパインと、その地域に自生するシラカシを植えました。

リンゴ

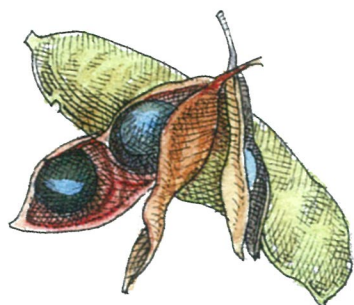
ノルトハウゼンの美



将来に実を結ぶ

世界には、7,500 種類以上のリンゴがありますが、世界の市場に出回っているのはそのうちのわずか 3 種類です。生物多様性を保つために、ドイツ・ゲッティンゲンの 4 つのロータリークラブの会員は、ガイスマーにある古い果樹園の敷地に、リンゴやプラム、チェリーの在来品種の木を植えました。彼らが植えた木の中には、19 世紀に開発された品種「Schöner von Nordhausen（ノルトハウゼンの美）」もあります。この木になるリンゴは保存がきき、冬の終わりや初春まで食べることができます。

これらの木は、植物プランターや歩道、休憩スペースを取り入れた計画的な都市緑地の一部になります。



イピール

メルバウ



森林再生

伐採と焼き畑式の農業が、東南アジアの地域に生息するイピールを絶滅の危機に追いやりました。イピールの木は、家具や床板の材料として使われています。第 3830 地区（フィリピン）では、フィリピン・パラワン島にあるイラワン分水嶺^{たいてい}地域内 50km の森林を再生するために、イピールの苗を植えました。

マカティオリンピア RC のプロジェクトでは、ロータリアンが、先住民のパタク族 24 世帯に、自生のかんきつ類、カラマンシーの苗を 50 本配布しました。

World Roundup

世界のロータリーニュース



ルーマニア

自閉症治療サポートの資金を集めるためのカレンダーを作成するため、ルーマニアの有名な写真家でグラフィックアーティストのコスミン・ゴグ氏の無償の協力を得て、ブカレストトライアンフRCの会員は、精巧なかぶり物と顔面メイクで写真撮影に臨みました。「自閉症に変化をもたらす」という題がつけられた2018年のカレンダーの収益は、自閉症の子どもたちの能力に配慮しながら社会に適應させることを目的とする団体、Horia Motoi に寄付されました。この資金で、アメリカのクレムソン大学がブカレストで提供している21カ月間の認定プログラムに、3人のセラピストが参加できます。「善意ある保護者や医師たちは、自閉症の子どもたちに対して、実証されていない、逆効果の処置を行っている」と同RCのステリアン・ダムフ会長は話します。「これは専門的な訓練を受けていないからであり、その問題への取り組みとして、私たちは活動しています」

世界人口で、最大2%の人が、何らかの
*自閉症スペクトラムがあるとされます。

*自閉症の特性を示す一群の発達障害を、軽度から重度まで、境界のあいまいな、連続した一つの障害として捉えた考え方



エジプト

アレキサンドリア・コスモポリタンRCが提唱するインターアクトクラブは、地元の小学生に呼び掛け、目標500枚を大きく上回る750枚の毛布を集めました。11月18日、インターアクトたちは、集めた毛布を近郊のスモハ市の恵まれない人々に配るため、バン4台とトラック1台に積み込みました。「小学校にパジャマを着ていくという特別な日に合わせて毛布の収集を実施し、小学生の毛布集めに対する関心を盛り上げました」と、インターアクトクラブ会長のノウラ・ゼクリーさんは話します。「この運動をクラス対抗にするなどの工夫もしました」



インドネシア

インドネシアでは毎年、30万人の赤ちゃんが生まれつきサラセミアです。この病気は、酸素を運ぶ赤血球の数が少なくなる遺伝性血液疾患で、珍しい病気ではありません。その遺伝子についての認識が薄いため、サラセミアが子どもに遺伝するケースが多発しています。バリ・デンパサルRCと、同クラブが提唱しているローターアクト、インターアクトが第3420地区と協力し、高校生、大学生を対象に検診と教育プログラムを提供、意識啓発を行っています。「これは、結婚する前に若い人たちが、検査を受けるように教育する大きな試み」と、会員のアユ・スルヤングシ氏は述べています。

1945年に原爆が投下されるまで、1917年のハリファクス災害が、人類が引き起こした最大の爆発被害でした。



カナダ

1917年12月6日、カナダ・ノバスコシア州ハリファクス港で、弾薬を積んだ船が別の船と衝突。数分もたたないうちに3,000トンの爆薬が発火し、海岸や建物からの見物人など2,000人近くが死亡、9,000人の負傷者が出る大惨事となりました。その際、アメリカのボストンから多大な救援を受けたので、同州はその後、現在に至るまで感謝の気持ちを込めてボストンにクリスマスツリーを送っています。

隣人を思う精神が、ハリファクスの6つのロータリークラブ（ダートマスRC、ダートマスイーストRC、ハリファクスRC、ハリファクスノースウェストRC、ハリファクスハーバーサイドRC、サックビルアンドエリアRC）に影響を与え、アメリカ・マサ

チューセッツ州の第7930地区のロータリアンと交流するようになりました。2016年には、ハリファクスから13人の代表団がボストンを訪問。「クリスマスツリーの点火式に出席しました。事故からの100年を記念し、協同プロジェクトについて話し合うため、ボストンのロータリアンをハリファクスに招きました」とサックビルアンドエリアRCの元会長ロン・ズワグストラ氏は言います。

12月には、カナダでボストンのロータリアン8人を迎え入れました。「今後も互いの都市を行き来し、両市のプロジェクトのために協力していきたい」とズワグストラ氏。「人となりを知れば、一緒に活動したくなるものですからね」

ーブラッド・ウェバー



ジャマイカ

1月13日、ニューキングストンローターアクトクラブは、インターアクター、地元警察、政府機関と協力して、150人以上のホームレスに昼食、歯のクリーニング、視力検査、健康診断、衣料品、簡易医療品、散髪サービスを提供しました。インターアクターの協力を得たこの活動は、専門家の友人とのネットワークのおかげで、当日の活動が成功裏に終わったと、歯科医である会員のジェネル・ブラック氏は話します。プロジェクトリーダーであるキンバリー・ソマービル氏は、健診を監督。資金提供に加え物資とサービスの提供もあり、クラブからの出資は予算の約650ドル（約7万円）に抑えることができました。



第6回日台ロータリー親善会議 in 高雄

日台親善会議副事務局長 長與 博典（東京後楽RC）

予定を2時間も早めての登録

第6回日台ロータリー親善会議（台日国際扶輪親善会）が3月1日、台湾の南に位置し、台北に次ぐ大都市、高雄の高雄漢来大飯店で開催されました。参加者が多く混雑を避けるため、登録開始を2時間も早めて、無事、予定通りスタート。開始前には、高雄市の紹介VTRの放映や、ロータリアンを中心に結成された女声合唱団によるロータリーソングなどが披露されました。

開会時刻になると会場は静まり、大きな太鼓の音が鳴り響き、民族衣装をまとった先住民の鼓笛隊と少女の民族舞踊（マカ中学サンバ・ドラム隊）が会場の中央通路から入場。その後を台日国際扶輪親善会理事長の張瑞

欽氏、日台国際ロータリー親善会議名誉総裁の前川昭一氏、黄其光元国際ロータリー（RI）会長、斎藤直美RI理事、石黒慶一RI理事など来賓が入場。日台の役員代表、来賓が着席すると、張理事長の発声で点鐘で会議が始まりました。

回を重ねるごとに、参加者が増えていく

張理事長は、「日台ロータリー親善会議は10年目を迎え、回を重ねるごとに参加人数も増え、今回は日本から650人、台湾から400人、総数1,050人と、これまでで最も参加者が多い会となりました。おめでたいことです」と述べました。

日本からの参加者が主催国の台湾よりも多いのは、本

来なら500人だった日本側の定員枠を超えた参加希望者があったため、日本からの参加者を優先してくれた、台湾側の気遣いによるものです。もっと広い会場があったら、さらに参加者が多かったのは想像に難くありません。

続いて、日台ロータリー親善会議総裁の板橋敏雄氏からのあいさつが予定されていましたが、今回は残念ながら療養中で出席できなかったため、常任顧問の小澤秀瑛氏が板橋氏のあいさつを代読。「毎回盛気あふれる会となり、台





湾と日本の関係がより親密なものになっていることを、大変喜ばしく思います」と述べました。

親善会議討論決議事項として、烏山頭ダム建設に生涯を尽くした八田與一技師の記念公園に、桜の植樹と100万円の寄付を毎年続けている土屋亮平氏（第2790地区）に感謝状と記念品を贈呈することが報告されました（写真右）。毎回、土屋氏に同行している同じ松戸ロータリークラブ（RC）の中山政明さんと伊原清良さんも壇上で紹介され、その功績をたたえられました。また、両国のロータリー親善会議の発足に最も貢献された林士珍氏には記念品が贈られました。

2021年の国際大会は台北で開催

ところで、台湾のロータリアンにとって大きな話題は、2021年のR I 国際大会が台北で開催されること。元R I 理事であり、台北国際大会ホスト準備委員長の謝三連氏から、台北国際大会の準備や計画が発表されました。メイン会場、ホテル、交通機関の計画の説明があり、「日本から1万人以上のロータリアンとその家族の参加を強く期待しています」と日本のロータリアンに呼び掛けがありました。台湾・台北で国際大会が開催されるのは、1994年に続いて2回目です。

両国のロータリーの近況報告も行われました。台湾からは、台日国際扶輪親善会理事の洪學樑氏が、ここ数



年で会員数が大幅に拡大し、2017年7月から地区数が7地区から12地区に分割されたこと、それによるクラブ数の変遷と会員数の現状を報告しました（下記の表）。日本からは第2580地区ガバナーで、日台ロータリー親善会議議長長の吉田雅俊氏が、日台国際ロータリー親善会議は一般社団法人設立登記に向けて現在、準備中であると述べたほか、台湾から多くの義援金を頂いたこともあり、ロータリー希望の風奨学金をはじめとする東日本大震災復興支援活動について、また2020年に日本のロータリー創立100年を迎えることなどを報告しました。

台湾の地区分割（2017年7月1日以降）

分割前（2016年7月1日現在）			分割後（2017年11月15日現在）		
地区	クラブ数	会員数	地区	クラブ数	会員数
D 3460	107	5,368	D 3461	54	2,794
			D 3462	57	2,724
D 3470	59	2,245	D 3470	60	2,623
D 3480	130	4,975	D 3481	67	2,374
			D 3482	70	2,559
D 3490	85	5,269	D 3490	94	5,415
D 3500	128	5,950	D 3501	78	3,374
			D 3502	56	2,433
D 3510	86	4,197	D 3510	89	3,400
			D 3521	47	1,775
D 3520	150	6,207	D 3522	56	2,350
			D 3523	66	2,273
7地区	745	34,211	12地区	794	34,094



台湾の米山学友で構成する台湾米山学友会からは、台湾に留学する日本人を対象に、米山記念奨学事業と同様に、米山学友がカウンセラーとなる奨学金制度が今年で9年目を迎え、20人の日本人留学生を支援したことが報告されました。

内容盛りだくさんな晩餐会

親善大会晩餐会は、創会理事長の林氏のあいさつと乾杯で始まりました。会場内は、久しぶりの再会に喜ぶ合う光景、初対面で名刺を交換しながら会話する人などで話も弾み、笑顔であふれたにぎやかで、和やかな時が流れました。歓談中にも、ベリーダンス、琵琶や箏の演奏など、華やかなアトラクションが繰り広げられました。

また、今年2月に発生した花蓮地域の震災への義援金が、東京西北RC、東京保谷RC、第2510地区、第2520地区の代表者から、被災地を含む第3490地区を代表して謝木土氏に手渡され、謝氏から感謝のあいさつがありました。

また、今年100歳になる、沖縄の宜野湾RCの田中旨夫さんが紹介されました（左下写真）。田中さんは台北市の生まれで、現在も沖縄で現役の医師として活躍しています。軽快で元気な足取りでステージに上がり、司会者の問い掛けに日本語と流暢な台湾語で応じられる姿は、とても100歳には見えませんでした。今も台湾に多くの仲間がいて、年に何度も台北と沖縄を往来しているそうです。

晩餐会も終盤に差し掛かると、司会者から「台湾と日

知ってる？ 台湾でのロータリーの表記

台湾では、ロータリー用語も全て漢字表記。日本語では、どの言葉に該当するのか同じ意味の言葉を線でつないでみましょう。（答えはページの下）

扶輪社・	・会員
總監・	・会長
分享制度・	・ロータリークラブ
秘書・	・シェアシステム
立法會議・	・ガバナーノミニー
社長當選人・	・グローバル補助金
全球獎助金・	・幹事
總監提名人・	・ガバナー
社長・	・会長エレクト
社友・	・規定審議會

本の歌をステージで合唱しましょう」と呼び掛けがあり、みんなで台湾の「望春風」、日本の「故郷」を歌いました。最初は登壇する人が少なかったのですが、徐々にステージに人が増えていきました。そして、最後にロータリーソング「VIVE LE ROTARY」を熱唱しました。

まだまだ、名残尽きない中、台日国際扶輪親善会副理事長の郭肇盈氏のあいさつで会は終了となりました。

次回の第7回日台ロータリー親善会議は、2020年3月6日に福岡で行われます。



八田與一（1886～1942）日本の水利技術者。日本統治時代の台湾で、農業水利事業に大きな貢献をした人物として知られています。

ロータリー希望の風奨学金 東日本大震災で保護者を亡くした遺児で大学生（短期大学生を含む）または専門学校生を対象にした奨学金です。国内外ロータリークラブ会員の有志によって立ち上げられました。詳細は『友』誌2017年9月号横組みP36～39参照。問い合わせは、ロータリー東日本大震災青少年支援連絡協議会（TEL・FAX 03-5250-2050）まで。

答え

扶輪社（ロータリークラブ）、總監（ガバナー）、分享制度（シェアシステム）、秘書（幹事）、立法會議（規定審議會）、社長當選人（会長エレクト）、全球獎助金（グローバル補助金）、總監提名人（ガバナーノミニー）、社長（会長）、社友（会員）

ロータリーの基本理念を 体現する仲間との出会い

第 2650 地区 京都・滋賀・福井・奈良

田中 誠二ガバナー（京都東RC）

私のロータリー・モメントは、ロータリーの基本理念とそれを体現する京都東RCの仲間との出会いに尽きます。43歳の時、ロータリーが示す利他的な考え方、高い道徳心、職業を通じて人類の福祉増進に貢献する姿勢に魅力を感じ入会しました。奉仕を通じて世界の平和と繁栄を希求するロータリーですが、1世紀が過ぎても人類はいまだに紛争や災害、病気などの危機にさらされています。人心の荒廃が危惧される時代にこそ、ロータリーの哲学を実践するロータリアンの地道な活動が必要です。

2020年には、日本初のロータリークラブの創立から100年目を迎えます。質素儉約の中に自然を愛でる心や隣人との絆を大切に思う心、神仏を尊ぶ心など、先人が伝え育んできた日本の心は、ロータリーの「超我の奉仕」の実践哲学と共通点があり、自然や環境と共生しながら持続可能な社会の発展を目指すという人類の課題に対し

て、人としての生き方、地域のあり方を示唆しています。

私たちの地区は京都、滋賀、福井、奈良の4つの府県にまたがり、多様な地域性と、個性豊かな風土や文化に恵まれています。世界でも類いまれな実績や歴史と伝統を誇る地区内96クラブが、その多様性を認めながら相互に敬愛し、ロータリーの奉仕の理想の下、学び、気付き、出会いを大切にすれば、想像を超えた素晴らしいことが実現できると確信します。

今後も、ロータリーを通じて地域社会との連携を深め、絆を育むとともに、世界の仲間とともに地球規模で意義ある奉仕を実践することで、与えられた使命を全うする所存です。

（職業教育）



ガバナー補佐研修セミナーで。左から田中ガバナー、中澤忠嗣バストガバナー、刀根荘兵衛バストガバナー、中川基成ガバナーエレクト

出会いの素晴らしさを 再発見

第 2660 地区 大阪北部

片山 勉ガバナー（大阪東RC）

多くのロータリアンから気軽に声を掛けていただけるようになったこと。それが私のロータリー・モメントです。ロータリーは自己研鑽けんさんの場であり、人づくりの場でもあると思っています。ガバナーを務めることになって、改めてこのことを強く意識するようになりました。



2017年9月、鶴見区民まつりにて(中央)

ガバナー公式訪問では、多くの会員の皆さまとお話しする機会をいただきました。クラブライフを楽しみ、そしてより良くなることを真剣に考え、実行されている方が多くいらっしゃることに感銘を受けました。

また、「出席して良かった、楽しかった」と思ってもらうことをコンセプトにした地区大会の特別講演のテーマを「AI（人工知能）」に決めたのは、ガバナーノミニ・デジグネートの時でした。それから3年後、まさかこれほどロボットやAIが話題になるとは思っていませんでした。地区大会のフィナーレを飾るプログラムとして、「未来へ 人類と人工知能」をテーマに講演されたNHK解説委員の室山哲也氏は、「人格を超える人工知能は考えられない。特にロータリーの理念・本質の重要性については」と、話を締めくくられました。ほとんどのロータリアンが最後まで参加してくださり、感動の時間を共有できた、最も印象的な事業となりました。

浅学非才な私を支えてくださった先輩バストガバナー、ガバナー補佐、地区幹事、地区委員、セミナーのホストクラブ、私の所属クラブ、ガバナー事務所ほか、多くの皆さまの熱意と魅力を感じ、ロータリアンとの出会いの素晴らしさを再発見することができました。

（プラスチック製品）

自分の役目は Inspire すること

第 2670 地区 愛媛・香川・高知・徳島

柳澤 光秋ガバナー (高知東RC)

1984 年、長野県から妻の出身地・高知市に転居し、柳澤外科を開業。亡父が上田RCの創立会員、亡岳父が高知東RC会長経験者の縁で翌年3月、高知東RCに入会し、以来、出席率100%で現在に至っております。

四国では現在、四国八十八箇所霊場の世界遺産登録運動をしています。2004 - 05 年度、地区では四国八十八箇所遍路支援を記念事業の一つに指定。2010年、夫婦2人で「お四国」を巡り結願し、高野山に行く前日、ガバナー補佐就任の依頼があり、受諾。補佐として貴重で得難い経験を得たので、そのお礼として2回目、続いて先祖・子孫・自分のためにと、計3回巡りました。

ガバナーとしての四国行脚はこの3回とは全く異なりました。74 クラブのガバナー公式訪問だけで計67日、11泊を要し、総走行距離は「お四国」の約3倍、約1万6,000km。どのクラブでも心温まる歓迎を受け、楽し

い会話に感激。四国は人口減少、少子高齢化問題を抱え、現在、28 クラブが会員数30人以下。地域疲弊の中で、ロータリアンとして活躍する姿勢に感銘を受けました。

今年は私が地区方針に掲げる「クラブの特性を生かそう」に沿って、IMを5回開催。各クラブの代表者が、自クラブについての思いの丈を堂々と発表する姿勢に明るい未来を確信し、この地区方針で良かったと思いました。周年事業も11クラブあり、行政関係者などを招待して記念式典を開いています。どのクラブも誇れる歴史と伝統があり、10年後、20年後の事業を約束しており頼もしい限りです。私の役目はガバナーとして皆さんをinspire(鼓舞)することと痛感しています。(外科医)



徳利を手に笑顔。クラブの懇親会「東酔会」で (2018 年 1 月)

クラブ例会のあり方について思う

第 2680 地区 兵庫

瀧川 好庸ガバナー (神戸西RC)

何とか無事にガバナー公式訪問を終え、地区大会も終わった今、年度のこれまでの日々を思い返すことが多い。私に最もインパクトを与え、ロータリー観を覆してくれたのは、ガバナー公式訪問だった。最初は足取りも重かった。しばらくたって、「これは」と感じ始め、訪問が楽し



加古川RC公式訪問で (2017 年 7 月)

くなってきた。「ひょっとしたら俺のロータリー観はおかしくないか」と思い始めたのもこのころからだった。

私の所属する神戸西RCの例会場は、ホテルオークラ神戸。政令指定都市・神戸の中心だ。毎週ここで例会に出席し、たまに近隣や東京都心のクラブでメイクアップをするが、自クラブと変わらないホテルでの例会である。

ところが、地方のクラブの例会場は、ほとんどが商工会議所か銀行の会議室だった。まず、例会前に、会議室仕様から例会場用に模様替えをしなければならない。食事は外注で、仕出し弁当だ。お茶はやかんで沸かす。準備も給仕も、何から何まで会員の仕事だ。食事後の空の弁当箱集め、お茶のお代わり、インスタントコーヒーのサービス。例会終了後は会場を元に戻す。

小まめに働いているのは地元の有力者。商工会議所の会頭や副会頭のこともある。そしてクラブ事業のほとんどは、地域と深く関わる事柄。まさに手作りの例会、そしてクラブ運営だ。

振り返って、所属する神戸西RCの例会はどうか。例会会場はホテルが準備し、食事は給仕され、食べ終わったら後片付けをしてくれる。デザートが、コーヒーがサービスされ……。どっちがロータリークラブのあるべき姿なのか。考え込む日々を送っている。(中等教育)

美食会の思い出

第 2690 地区 岡山・島根・鳥取

池上 正ガバナー (倉敷南RC)

現役の頃の経験です。研究開発本部で本社研究を統括していました。次世代移動体通信技術の研究開発をドイツ・ドレスデン工科大学の、当時技術を主導していたゲルファルト・フェットワイズ教授と共同で行っておりました。同大学にサテライト研究室を置き、頻繁に訪れていました。ドレスデンはエルベ川河畔にあり、磁器で有名なマイセンが近くにありますが、第二次世界大戦時に連合軍の猛爆を受け、町が壊滅状態になりました。

ある時、教授から「池上さんはロータリアンでしたね。私もそうです。明日の夜、興味深い集まりがあります。参加しませんか」とお誘いを受けました。ロータリアンを中心に「美食会」が催されるとのこと。瀟洒なレストランで夜の 9 時からエンドレス。20 人ほどのロータリアンが集いました。著名なジャーナリストが主催者で、市長や企業のトップ、大学教授など多業種、国籍もいろ

いろで多彩な顔触れでした。料理はシェフの指導の下に進められました。ロータリアンは下準備、その後、シェフが調理した料理が食卓に並びます。私どもはワインを傾けながら、会話を乐みます。ベルリンの壁崩壊後の旧東ドイツの状況、特にサクソン人と東ドイツ当局との確執、大学の運営の激変、フラウエンキルヒェ（聖母教会）をはじめ、歴史的建造物の再建のことなど……。

食事が終わったのは午前 2 時を過ぎていました。身の丈 2 m のシェフが、記念にと私の妻に前掛けを下さいました。私の妻には長過ぎ、首から掛けてちょうどよい長さでした。ロータリーのおかげで、印象に残る稀有な経験をしました。

(技術研究)



ドレスデンで (2002 年 4 月)

ロータリアンの “温かい心”を実感

第 2700 地区 福岡・長崎・佐賀

安増 惇夫ガバナー (宗像RC)

昨年 7 月 4 日に発生した九州北部豪雨災害で、福岡県南部の甘木・朝倉地方は、12 時間で雨量 900mm という集中豪雨に襲われ、河川氾濫などの甚大な被害とともに、多くの尊い命が失われました。ガバナー就任後の初仕事はこの災害への迅速な対応と判断、9 日には被災 3 クラブを除く 58 クラブへ義援金をお願いしました。また、この状況を案じられた同期ガバナーからも援助のお申し出が相次ぎましたので、全国の各ガバナーの判断にお任せして義援金をお願いしました。内外からお寄せいただいた義援金の総額は最終的に 8,413 万 1,799 円となり、「ロータリアンから寄せられた温かい心」として被災地復興に役立てていただくよう、福岡県知事にお届けしました。全国のロータリアンの皆さまに、心より御礼申し上げます。この感謝の気持ちをお伝えしようと、可能な限り、地区大会に参加させていただきました。

また、所属する宗像RCは、世界文化遺産「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」のある場所を所在区域とする会員数 50 人の小クラブですが、ノミニー就任時には直ちにガバナー準備室、エレクト就任時には全会員が地区副幹事を務めるガバナー支援室を組織し、クラブ挙げての体制をとってくれました。ガバナー公式訪問なども全て交代で送迎。5 月の地区大会も、全会員による地区大会実行委員会におんぶに抱っこ状態で、精神的にも体力的にもゆったりできたと、心からありがたく感じています。全国から寄せられた“温かい心”と、「宗像から出したガバナーを男にしよう!」とのクラブ全会員の“温かい心”に、ロータリーの友情と熱い心を実感した次第です。

(歯科医師)



全国からの義援金を福岡県に贈呈 (2017 年 9 月)

ガバナーとなり知り得た ロータリーの魅力

第 2710 地区 広島・山口

藤中 秀幸ガバナー (岩国中央RC)

私は、ガバナー信条に「時代の変化の先頭に立とう!!
ロータリーの心で地域の創生を!!」を掲げ、地区目標を
「ロータリーの元気は地域の元気」としました。私の地
区は、事業後継者不在率が全国でも高く、クラブ間は当
然のこととして、志を同じくする地域団体との「共感と
連携」を呼び掛け、元気なクラブづくりを提唱しました。

73 クラブのガバナー公式訪問は教わることの多い楽
しい「旅」でした。2016 年規定審議会で決定されたク
ラブ運営の柔軟性への対応は、各クラブがロータリーの
理念や自クラブの歴史を踏まえた元気なクラブづくりを
真摯に検討されており、その姿には感動すら覚えました。

ロータリーの活動は、幅広く奥深いものです。青少年
交換でニューヨークに留学した女子生徒は、ホストファ
ミリーと共に国連本部を訪れた思い出を、「私は将来、
各国代表が座るこの席で、世界平和のために役に立ちた



ガバナー杯ロータリークラブ親善野球大会で
(2017 年 3 月)

い」と目を輝かせて語っていました。また、米山奨学生
のカウンセラーを務めた若いロータリアンは、「奨学生
との交流が、私の人生に大きな変化をもたらした。これ
からは、積極的に活動に参加したい」と、ロータリーの
素晴らしさを感動をもって話してくれました。その他に
も、ミャンマーの少数民族の妊産婦に医療活動を行う N
P O 法人への、地区グループ合同による支援など、数え
上げれば枚挙にいとまがありません。

ガバナーとなって知り得たロータリーの魅力は、私自
身に大きな変化をもたらしています。私を支えていた
地区のロータリアンの皆さま、そして私たちを理解
し、協力してくれた家族に心から感謝します。(税理士)

最も甘露で美味だった 浄水器の水の味

第 2720 地区 熊本・大分

永田 壮一ガバナー (熊本城東RC)

タイのロブリ県は肥沃な土地ですが、雨期になると雨
が降り続き、大きな洪水が起きることでも有名です。ま
た、この土地には通称「ミャオ族」と呼ばれる少数民族が
おり、大きな農家の小作として農業に従事しています。
この地に私たちの姉妹クラブ、オーストラリアのウォロ
ンディリー・ノース RC のワーウィック・リチャードソ
ン会長(当時)と訪れました。小学校では地下水や雨水が
飲めず水を購入するため、教材を購入する資金が足りな
いと言ったからです。最初の訪問で子どもの輝く笑顔に
刺激され、この子たちに十分な教材で勉強させたい、と
思ったのがプロジェクトのきっかけとなりました。

その後ワーウィック氏と何度も訪問し、日本とオース
トラリア、タイの 3 カ国で、この子どもたちにきれいな
飲料水を提供することを決めました。タイのロータリア
ンに水先案内をお願いし、結局 12 の小学校に浄水器を

設置することになりました。1,600 人の全児童においしい
水を飲ませたいという、一大プロジェクトの始まりです。

完成後、2012 年のバンコク国際大会の期日に合わせ
て完成披露式を行いました。当地区から故・本田光曠ガ
バナー(当時)にも出席していただき、現地の小学校で
披露式を挙げる。そして、浄水器からの水で全員で乾杯!

暑いロブリの小学校ですから冷たくはありませんで
したが、浄水器からくんだ水は、今までのどの水より甘露
でおいしい水でした。ワーウィック氏、タイのロータリ
アンと「Well done!」「We've done!」と乾杯を繰り返し、
みんなで感激の涙を流しました。そして、子どもたちの
輝く笑顔。ロータリーは素晴らしい!(内科医)



子どもの笑顔に囲まれて(2012年5月
最後列・白いシャツが永田ガバナー)

「ロータリアンになって良かった」 幸せな夜

第 2730 地区 鹿児島・宮崎

押川 弘巳ガバナー (宮崎北RC)

私は 1985 年に入会、今年で 33 年目になりますが、入会 5 年目頃、東京 RC に初めてメイクアップしました。軽い気持ちで出席しましたが、非常に驚きました。当時、東京 RC は会員数 350 人くらいだったと思います。ウェルカムドリンクは用意されているし、同時通訳機は完備されているし……。地方のクラブとは隔世の感があるなと感じました。会場に入ると、ニュースなどで見た方があちこちに着席され、大使館関係の方、海外からの訪問団も 100 人近くおられました。ロータリーソングの時、「私がタクトを振るましょう」と、小走りに壇上に向かった方を見ると、作曲家の芥川也寸志氏でした。

さすが日本で最初にできたロータリークラブ、スケールの大きさは段違いです。着席してからがまたびっくり。隣席の方に、宮崎から来たと言うと、「私の会社も昔は日南に工場があったのでたびたび出張していました、よ

くぞ東京 RC においでいただいた、歓迎します」とあいさつされ、東京 RC について参考になるご説明を多く頂きました。感謝、感激の思いで会場の帝国ホテルを退出したのですが、夜、テレビを見てみると「今夕、第 3 次行革審会長が日経連会長の鈴木永二氏(三菱化成社長)に決定しました」とのニュース。総理室から中曽根康弘総理の後に続いて出てこられたのが、何と昼、隣席でアドバイスを頂いた鈴木永二氏その方でした。

夜、ベッドに入って思いました。ロータリアンであるからこそ、普段お会いできないような方と知り合えるのだな、と。その夜はロータリアンとしての醍醐味を十分に味わい、幸せな気分で眠りにつきました。(歯科医師)



地域振興につながるロータリー・モメント

第 2740 地区 長崎・佐賀

駒井 英基ガバナー (佐賀南RC)

入会して 34 年。業種、年代を超え、素晴らしい友達に恵まれました。38 歳の時に環境保全委員長を務めた際、自治体から「地元特有の植物の保護育成の機運を高めてほしい」との要請を受け、クラブで有明海の沿岸清掃を始め、啓発ビデオを製作、自治体に寄贈しました。毎年清掃を続けるうちに、地域の方も加わってくださるようになり、マスコミに取り上げられるとさらに皆の意識が高まり、佐賀市の秋の風物詩「シチメンソウまつり」に発展。今では佐賀市に欠かせないものとなっています。

また 2015 年、佐賀市内にある「三重津海軍所跡」が、明治日本の産業革命遺産として世界遺産に登録されました。1865 年、日本初の実用蒸気船「りょうふう凌風丸」を佐賀藩が完成させ、その後の明治維新の礎の一つとなった、国内最古(1858 年開設)の洋式船修理用ドックです。しかし、遺跡として発掘されたものなので、保護のために埋

め戻されており、富士山など誰の目にも美しく映る世界遺産に対して、地名の三重津にかけて「見えぬの世界遺産」とまで言われ、大変残念に思っておりました。

そこで、昨秋の地区大会の記念行事として、当時の姿を再現し、発掘された遺跡の全容を説明するデジタルサイネージ(電子看板)とソフトを制作し佐賀市へ寄贈。見学者に発掘状況や遺構の意味を分かってもらう手伝いができました。これで佐賀市民が地元の歴史は郷土の誇りと思うようになってくれれば、次世代にも新たな意識を残せるのでは、と思っています。何事も一人では成し得ない大事業も、優れた仲間の力添えのおかげで、地域振興につながることができました。「ロータリー:変化をもたらす」一助となれたのではないかと考えております。(歯科医)



米山記念奨学事業 50 年のあゆみ ⑥

—— 2000 年代 ——

ロータリアンの思いを反映して

1999 年、ロータリアンから多様な意見を取り入れ制度づくりへ生かす「第 1 期基礎調査」を行った結果、明らかになったのは、経済的に困っている留学生ではなく、人物面など複合的な“優秀性”を持つ留学生への支援が望まれている、ということでした。さらに、それまで地区限定で実施していた「大学推薦制度」を 2002 年から全国化することによって、より公正で、より勉学に意欲的な留学生を採用できるようになったのです。改革が進められる一方、寄付金減少による財政難は長期化の様相を呈し、「このまま積立金を取り崩していいのか」「寄付額と奨学生数のバランスが不均衡」「支給金額を減らすべき」といった声も上がり始めていました。

2003 年になると、政府が 1983 年から掲げてきた悲願の「留学生 10 万人計画」が達成され、一層の留学生交流が国策として推進されるなか、米山記念奨学会においては同年夏に実施した「第 2 期基礎調査」、およびフォーラムなどの協議を経て、2005 学年度から奨学生採用数を 1,000 人から 800 人へ。また、奨学金額も平均 7% の減額を決定しました。ただし、資金難への対応にただ追われるだけでなく、新たな展開として、2006 学年度から海外に出向いて奨学生を選考する「現地採用口

ロータリー米山奨学金（海外応募者対象ロータリー米山奨学金の前身）」を、まずはベトナムで試行することになりました。さらに短大・高専・専修学校の在籍者を対象にできる「地区奨励ロータリー米山奨学金」の新設など、さまざまな制度の改編も行われました。

多地区合同奉仕活動としての手続き完了

国際ロータリー（R I）との関係が強化されたのもこのころです。米山記念奨学事業は、ロータリーが目的とする“国際理解と平和の推進”を具現化した活動でありながらも、あくまでも日本のロータリー独自のプログラム。ゆえに、かつては「継子扱いではないか」と嘆く声もありましたが、日本の歴代 R I 理事の尽力により、2004 年 11 月の R I 理事会で、米山記念奨学会が「多地区合同奉仕活動」の手続きを進めることにより、ロータリーの名称およびロータリー徽章を引き続き使用することを認める、との決議がなされたのです。決議文は、「奨学金の授与を通し世界理解と平和に貢献されている財団法人ロータリー米山記念奨学会を賞賛する」という言葉で締めくくられています。

そして 2007 年、34 地区全ての同意書がそろい、日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動としての手続きが完了するのです。



米山学友

タイ・ヴァン・ナム さん

出身：ベトナム

奨学期間：2007 - 11 年

学校名：大阪大学大学院

世話クラブ：千里 R C

2007 年 6 月に来日し、まずは日本語の集中講義を受けながら、半年後の大学院入試に備えることになりました。せっかく「現地採用ロータリー米山奨学金」の奨学生に選ばれたのに、合格できなかったら？ との重圧がありましたが、無事に合格。11 年 3 月まで、千里ロータリークラブ（R C）と第 2660 地区の皆さ

んが手を差し伸べ、困難と一緒に解決してくれたおかげで、博士号を取得することができました。

14 年にはホーチミン市工科大学バイオ食品技術環境学部の学部長となり、現在、同大学応用科学研究所の副所長をしています。ベトナムでは大気や水の汚染が深刻化しており、学生には環境を守り、美しい未来をつくるよう教えています。また、会社を設立し、排水や地下水の分析、大気汚染や騒音の測定、コンサルタント業務などを手掛けています。

ベトナムでは数年前から米山学友が集まり、福祉施設への支援といった活動を続けています。今後も米山学友であることを誇りに、自分の人生と知識を人と分け合い、道を開くことに使いたいと思っています。



寄付金減少に歯止めが掛からず、初の奨学金額の削減、採用数の大幅縮小に踏み切らざるを得なかった2000年代。2度にわたる基礎調査のもと、議論を重ねながら、進むべき道を模索した時代でした。従来にない形の新しい奨学金プログラムを作り、国際ロータリーとの関係強化を図り、「多地区合同奉仕活動」としての手続きを進めました。当時、ベトナムに足を運び、奨学生選考に関わった関場慶博氏と、初の「現地採用奨学生」として来日した米山学友、タイ・ヴァン・ナムさんから話を聞きました。



弘前アップルRC会員
2004 - 06年度
米山記念奨学会学務・学友委員
06 - 12年度 同選考委員
12 - 13年度 同選考小委員会委員
関場 慶博さん

私は2000 - 01年度にガバナーを務めましたが、正直なところ、米山に対して熱心ではありませんでした。というのも、ロータリー財団の奨学金があるのに、米山があることで日本の寄付金が二分されているのでは？という疑問の声を耳にしたことがあり、さらには世界中のガバナーエレクトが集まる国際協議会でも、米山の“よ”の字も出てこなかったからです。

そんな私に米山記念奨学会から、学務・学友委員（当時）の打診がありました。“アンチ米山”とまでは言わずとも、不熱心な私になぜ声が掛かったのか、とても不思議でした。が、日本のロータリーが長年取り組んでいる米山記念奨学事業を知る良い機会であり、また、新風を送り込むチャンスだと思い、引き受けることにしました。

より多くのロータリアンから正しい理解と支援を得て、より世界的に価値ある事業へと広げたい。そのためにはまず、日本独自のプログラムである米山記念奨

学事業が、RIから正式な認証を受けられるようにすること。また、従来のように、すでに日本で学ぶ留学生を対象とするだけでなく、経済的事情で来日ができない優秀な学生を世界各国から呼べるような、グローバルな制度を導入すること。私はこれら2つのことを熱心に訴えました。

当時の委員や役員と議論を重ね、また、基礎調査と呼ばれるアンケート調査やフォーラムで多くの意見を集約した結果、海外にロータリアンが外向き、選考する「現地採用ロータリー米山奨学金（当時）」の創設が実現し、RIの多地区合同奉仕活動としての手続きも完了。そうした活動に取り組む中で、いつしか私は、熱心な米山の支持者へと変わっていました。

第1期現地採用米山奨学生の選考のためベトナムを訪れた時、大学のテラスで熱心に勉強する女子学生がいました。ふとのぞき込むと日本語の教科書だったので、思わず日本語で声を掛けました。

「どうして日本語を勉強しているの？」

「米山記念奨学金の選考試験に応募するのです。ここで採用試験があるので、とても助かります。日本で勉強して、ベトナムの環境をもっと良くしたいです」

そう語っていた時の彼女のキラキラ輝く瞳を見て、やはり現地採用は米山が進むべき道の一つである、と私は確信したのでした。

※米山記念奨学事業、および「よねやまだより」に関するお問い合わせ・ご意見は、(公財)ロータリー米山記念奨学会まで
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281 Eメール : mail@rotary-yoneyama.or.jp

よねやま
ミニだより

タイ米山学友会の総会で新役員を選任



現会長からバトンを受けるベッチさん(右)

3月17日、タイ米山学友会の年次総会がバンコク市内で開かれ、タイ学友17人と家族、タイと日本のロータリアンや韓国学友会、関西学友会の有志など計35人が参加しました。2017年度の活動報告のほか、4月からの役員改選が行われ、新会長にベッチ・ボンボーさん(1992 - 94 / 豊橋南RC)、副会長にカモン・シリチャンさん(1998 - 2000 / 東京城西RC)、その他4人の理事が選任されました。現会長のシュティカーン・テプサンさんから引き継ぎ、第4代会長に就任するベッチさんは、「当学友会設立当初の趣旨である、“奉仕活動と日本との懸け橋”を行動方針として努めてまいります」と、抱負を語りました。

漫画『米山梅吉ものがたり』発刊

第 2700 地区青少年奉仕委員長 田村 志朗（福岡東 R C）

「何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもそのとおりにせよ」

——文中の言葉より



第 2700 地区では今年度、青少年奉仕委員会を中心に、日本のロータリーの創始者・米山梅吉（1868～1946）の生涯をまとめた漫画の製作を企画。今年 3 月 31 日に、『マンガ 日本ロータリークラブの父 米山梅吉ものがたり』（梓書院、A 5 判 32 ページ、価格 500 円＋税）として発刊しました。

発刊に至る経緯

私は 2010 年 1 月に福岡東ロータリークラブに入会。当時、年齢が比較的若かったからか、クラブ提唱の中村学園女子高等学校インターアクトクラブの担当委員会に配属されました。そこで、初めてアクターたちの活動を目にし、大きな感動を覚えました。翌年には地区のインターアクト委員となり、以来 8 年、インターアクトをはじめとする青少年奉仕部門に携わってきました。

その経験から分かったことは、若者たちが奉仕活動に大変熱心な半面、ロータリーの歴史や精神についてはほとんど知らずに活動しているということです。そのせいなのか、活動後にロータリーに戻ってくる人は決して多

くありません。そこで、ロータリーとの縁を少しでも大切にしてほしい、せめて日本でロータリーを創設した人物について知ってもらいたいと思ったのです。

より多くの人に関心を

米山梅吉翁に関する書籍はたくさんありますが、中高生向けの伝記はなかなか見つかりません。たまたま私の職業分類が図書出版であることから、米山翁のことを分かりやすく伝えるのも職業奉仕かもしれないと考え、漫画を活用することにしました。

あくまでも青少年に米山翁を知ってもらうことを第一義とし、ダイジェスト版の分量に抑えましたが、十分に読み応えがあるのではないかと考えています。一人でも多くの人に米山翁とロータリーに興味を持ってもらい、やがて世界に羽ばたく人材となってくれることを願ってやみません。興味のある方はご一読を。

問い合わせは、第 2700 地区ガバナー事務所（Tel. 092-481-2650、Mail : ri2700go@rid2700.jp）まで。

（福岡県・長崎県・佐賀県）

2017 - 18 年度 地区大会略報 V



ロータリー：
変化をもたらす

2017 - 18 年度 地区大会略報 V



ロータリー：
変化をもたらす



第 2580 地区

2018 年 2 月 20 ~ 21 日

京王プラザホテル

ホスト 東京四谷 R C 登録者 2,051 人



吉田雅俊ガバナー 足立功一 R I 会長代理は本会議の基調講演で、さまざまな事例を挙げて世の中の流れを説明するとともに、その中でのロータリーの可能性を示唆。また、台湾・第 3482 地区との姉妹地区締結式や福島被災地支援事業のパートナーである韓国・第 3650 地区に感謝盾を授与しました。友愛の広場では各クラブがパネルで活動を P R。懇親会では初の試みとなる「お楽しみ抽選会」が行われるなど、吉田ガバナーが掲げるキーワード「感動と調和」に沿って、多くの参加者が共に楽しみ、感動を味わった大会となりました。



第 2790 地区

2018 年 2 月 24 ~ 25 日

ホテルニューオータニ幕張ほか
ホスト 柏 R C 登録者 1,694 人



寺嶋哲生ガバナー 寺嶋ガバナーの地区行動指針「理念と実践〜 Think Next 〜」を受け、初日の地区指導者育成セミナーは、講師を務めた松宮剛 R I 会長代理がロータリーの歴史的視点を基に、親睦と奉仕に加え「利益」に再注目する必要性を訴えました。2 日目の特別講演「プラチナ社会の達成と S D G s の実現」では、プラチナ構想ネットワーク会長・小宮山宏氏が、エコロジーで心もモノも豊かな社会を実現させるための取り組みを説明。柏市を拠点に活動するチアダンスチームの演技や馬頭琴の演奏もあり、大会を楽しみました。



第 2750 地区

2018 年 2 月 26 ~ 27 日

グランドプリンスホテル新高輪

ホスト 東京武蔵府中 R C 登録者 2,515 人



猿渡昌盛ガバナー 田中作次 R I 会長代理を迎えた今大会は、初の企画として新会員歓迎昼食会を開き、その席上、松本祐二ポリオ撲滅ゾーンコーディネーターが、ポリオ撲滅に関する講演。本会議ではパラリンピアン・天摩由貴氏が記念講演、小池百合子都知事がサプライズゲストで登場し、2020 年のパラリンピックに向けて P R しました。また、筑波大学附属視覚特別支援学校の生徒とジャズピアニストの大西順子氏がコラボ演奏を披露し大いに盛り上がりしました。台湾・第 3481 地区と姉妹地区締結の調印式も行われました。

NEW GENERATION

—— ニュージェネレーション

縁あってロータリーに触れた若者たち。彼らはいま、何を思い、どんなことに挑戦しているのでしょうか。

これからの私

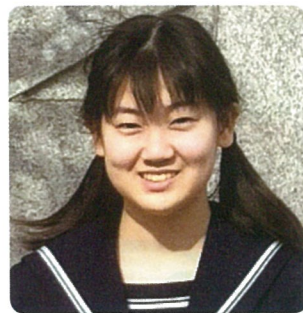
インターアクター 吉野 瑛記

鈴と、小鳥と、それから私、みんなちがって、みんないい。『私と小鳥と鈴と』金子みすゞ
異文化交流を考える時、このフレーズが頭を駆け巡ります。世界では、グローバル化の波が加速する一方で、文化や宗教などの違いから偏見や差別、支配的感情が生まれ、テロや紛争が勃発しています。違いを尊重し、互いを謙虚に受け入れる……。『みんなちがって、みんないい』は理想でしかない？ と不安を抱いていた私は、昨年の夏、国際交流の機会に恵まれました。

インターアクターの仲間とともに香港、マカオへ行き、現地の同世代の若者たちと触れ合いました。交流会では、法被を羽織って河内音頭を踊り、浴衣を着て日本を感じてもらおう趣向を取り入れました。相手の顔を見てお互いの名を呼び合うところから始まる交流の中で、言語や文

化の違いは新鮮で、新しい出会いはとても刺激的。心のバリアフリーで人と人が付き合う大切さを、『みんなちがって、みんないい』を、まさに肌で感じました。

もっと海外を知りたい、いろいろな国に出かけてさまざまな人たちと出会いたい、との思いが膨らんでいます。同時に、コミュニケーションツールである英語力を高めなければ、もっと日本を知らなければと、自分の成長課題が明確になりました。まだ漠然とですが、教育分野での仕事に携われたら、と夢を抱いています。まずは、私自身が国際社会の一員として『みんなちがって、みんないい』を胸に、日々成長していきたいです。



奈良県大和高田市出身。四天王寺高等学校1年、四天王寺高校・中学ⅠAC所属。2017 - 18年度第2660地区インターアクト海外研修に参加、現地の高校生とは今も交流中。趣味は書道。

人の笑顔をつくりたい

ローターアクター 渡辺 彩加

2010 - 11年度に第2760地区青少年交換学生として、オーストラリアへ行きました。その年は国際司法裁判所で捕鯨に関する両国間の裁判が始まり、そういった意味でも日本人であることを意識しました。しかし、ホ

ストファミリーに恵まれ、東日本大震災の一報が届いたときに、日本人だからとそっぽを向いていたクラスメートたちも一斉に慰め支えてくれました。この経験から国際関係に興味を持ち、立命館アジ

ア太平洋大学（APU）アジア太平洋学部に進学。国際関係論を専攻しました。大学時代は、ローターアクターとして、また第2760地区RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）に参加し、さまざまな経験を積みました。熊本地震後の小学生支援活動を立ち上げました。笑顔をつくることができたのは、ロータリーに育んでいただいたからだと思います。

多くのロータリーのプログラムを経験し、人生の目標が見えてきました。それは「人が笑顔で人生を全うできる世界」をつくっていくことです。殺されたり、飢餓で苦しんだりして死ぬのではなく、笑顔で人生を全うする。そんな世界を実現する力添えができれば、と考えています。そのために今春、京都大学大学院へ進学しました。将来は元国連難民高等弁務官の緒方貞子さんや国際連合事務次長の中満泉さんのような女性になりたいです。

愛知県出身。京都大学大学院修士課程1年。別府北RAC所属。元インターアクター。ライラリアン。趣味はクリスマスや誕生日のカード作り、ミュージカル鑑賞。好きなことはお菓子作り。



渡辺彩加さん（中央）

● 皆さんの周りの若い人をご紹介ください！ ロータリーのプログラムに参加したことのある10～30代までの若者（現役、学友どちらも可）を『友』編集部にご推薦ください。記入用紙は『友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp からダウンロードできます。



今月は数独。ロータリーのことはよく分からない、という人もご心配なく。パズルは一般的な問題で、ご家族の方も楽しめます。

さて、今回の答えは、ロータリーの何の数字になるでしょうか。ロータリーのこと、ちょっとずつ学ぼう。

パズル制作／ニコリ

①まだ数字の入っていないマスに1から9までの数字のどれかを1つずつ入れましょう。

0（ゼロ）は使いません。

ルール

②タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（9つあります）のそれぞれに、1から9までの数字が1つずつ入るようにします。

3				6			5	
	7		2			4		
		2			8			3
5				7			2	
	2		4		3		6	
	6			1				5
4			3			7		
		1			7		3	
	5			2				4

二重枠に入った文字をA B C Dの順に並べてできる4桁の数字は？



毎月10人にロータリーの友名前入り針なしステープラーをプレゼント！！



※色はお選びいただけません。

◆応募方法◆ 郵便はがきに、①「5月号の答え」 ②名前 ③所属クラブ ④今月号で印象に残った記事をお書き添えの上、〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル4階（一社）ロータリーの友事務所P係までお送りください。②～③の情報、および④に関する回答は、誌面企画の参考と、「声」欄（縦組みP35）に掲載させていただくことがあります。会員以外のご応募も大歓迎です。

◆締め切り◆ 2018年6月11日（月）必着

「パズル de ロータリー」(2月号)の答え

2月号の答え「711」

シカゴのダウンタウン、ユニティ・ビル711号室で、ロータリーの創始者ポール・ハリスと3人の仲間たちは1905年2月23日、初めての会合を開きました。711号室は仲間の

9	6	4	5	3	2	①	7	8
7	5	1	6	8	9	2	4	3
3	2	8	7	4	1	5	9	6
8	9	6	①	7	4	3	5	2
4	3	5	8	2	6	7	1	9
2	1	7	3	9	5	6	8	4
1	8	3	4	6	7	9	2	5
5	4	2	9	1	3	8	6	⑦
6	7	9	2	5	8	4	3	1

1人、ガスターバス・ローアの事務所。その部屋は有志により保存されてきましたが、1989年にビルは取り壊されることになりました。現在、711号室はR I世界本部に再現され、見学することもできます。館内ツアーもありますので、ご希望の方は visitors@rotary.org まで。

応募総数 150人 正解者 145人

当選者（敬称略・順不同）／福永隆子（鴨島RC）、石本理（福井北RC）、小寺真澄（成田RC）、井沢正生（南砺RC）、入江義雄（大阪南RC）、川畑勝人（小倉西RC）、菅内章夫（久居RC）、岡本昌三（東京城東RC）、三田圭子（古河東RC）、清水慶造（福井RC）

来月のパズルは、クロスワード。お楽しみに！

CLUB INNOVATION

ニュージーランド インバーカーギルNRGRC

創立日：2016年4月7日

創立会員：20人

現在の会員数：28人



笑顔で奉仕：

インバーカーギルNRGロータリークラブ(RC)のNRGは、Next Rotary Generation(次世代のロータリー)の略。奉仕プロジェクトを重視していると評判です。世界のさまざまな国の出身者(ほとんどが女性)から成るこのクラブは、遊び場を整備し、チャリティーで競売に掛ける家の建設を支援し、識字率向上のために、漫画本を配りました。また、若者の負担がより少なくなるようにクラブの規定を変更しました。

アイルランド出身のレオン・ハートネット氏が、ニュージーランドのインバーカーギルへ引っ越してきた時、彼は地元の奉仕団体を調べました。「人とつながり、人を助けるための何かを見つけたかったのです」。同僚からロータリーの例会に誘われた時、彼は、実情を率直に尋ねました。「この活動をどのように実施し、いくらかかるのか?」と。「私には小さな子どもがいて、家を買ったばかりでした。素晴らしい組織のようでしたが、経済的に会員になることはできませんでした」

その後すぐ、2015年5月に地区は、オーストラリア人で、ロータリーで最年少のクラブ会長の一人である22歳のホリー・ランサム氏を連れてきました。ハートネット氏は彼の講演を聞いて、ロータリーが会員を見つけるために一生懸命、新たな取り組みをしていると確信しました。彼は間違っていないで

した。地区から支援を受け、彼と小さなグループはプロジェクトをスタート。するとすぐに、クラブの創立に十分な人数が集まりました。若い会員にとって魅力的なクラブにするために、会員として支払う経費についても検討しました。「私たちは食事をやめて、軽食にしました」と、ハートネッ



上：会員は、ポリオ撲滅を支持しています。下：クラブは、地元の慈善団体のために、モノボリーをテーマとした資金集めのイベントを手伝います。

若い専門家たちを 引き付けるクラブ運営

イノベーション：

出席要件を柔軟にし経費を低く抑える一食事代を削減するため軽食を持参する一ことで、奉仕活動に重点を置く人々を引き付けます。そうでなければ、彼らの多くはロータリーに加わらなかったかもしれない、と言います。月2回の例会は義務的なものではありませんが、プロジェクトへの参加は必須です。

ト氏。これにより、食事代を年間で一人700NZドル(約5万円)節約できることになります。

クラブは奉仕プロジェクトを重視するため、例会出席を自由に選択できるようにしました。「ですが、会員は奉仕活動に参加するよう求められます」と、ハートネット氏は言います。「私たちのクラブで熱心に活動している会員の何人かは、例会にめったに出てきませんが、最初にアイデアをシェアし、フィードバックをし、実際に行動するのは常に彼らが最初です。例会によく出席している会員もあり、出席率は平均で70%です」

この変更は、若い人たちにとって魅力的でした。「クラブが創立した時、クラブの平均年齢はオーストラリア、ニュージーランドおよび南太平洋の一部を含む地域で最も若い、28歳でした」と、ハートネット氏は言います。クラブの現在の会員年齢は、21歳～50代半ば(ハートネット氏は43歳)です。

地元の他のクラブともよく一緒に活動します。「私たちは、インバーカーギルサウスRCと一緒に、暗闇でのゴルフ大会を開催しました。彼らの平均年齢は、私たちより約20歳上です」と、ハートネット氏。「彼らは私たちにはない技術を持っていましたが、私たちには彼らが考えつかなかった手段がありました。彼らはトーナメントのためにウェブサイトをつくる必要があると考えていましたが、私たちは提案しました。『いいえ、登録には、Googleドキュメントを使えます。ウェブサイトにお金をかけないようにしましょう』」。

クラブの新しい取り組みを進める一方で、「時間がたつにつれ、従来のロータリークラブの慣習へと進展しています。私たちは最初に『食事はしない』と言っていましたが、今では食事をしています」とハートネット氏。必要なものを自分たちで発見します。「私たちは、あらゆる点でロータリアンです。私たちは、自分たちなりの活動をしているだけです」

—BRAD WEBBER

あなたのクラブはどのような革新的な
取り組みを図っていますか？

hensyu@rotary-no-tomo.jp までお知らせください。



世界銀行と国際ロータリーが「国際女性デー」のイベントを開催

革新的な人道プロジェクトを実施し、人々の生活に変化をもたらしてきた3人の女性ロータリアンが3月7日、ワシントンD.C.の世界銀行で行われた国際女性デー（3月8日）にちなんだイベントで表彰されました。

世界銀行グループスタッフ協会が主催、国際ロータリー（RI）と投資会社のオープンハイマーが協賛するこのイベントで、界中で人道奉仕の分野で活躍する女性たちがいかに世界に変化をもたらしているかを紹介、300人以上が参加しました。何千人もがライブ中継を視聴したこのイベントで、表彰された3人がそれぞれのストーリーを紹介しました。

ロータリー世界人道奉仕賞の受賞者でもあり、アメリカ・メリーランド州のハワードウエスト・ロータリークラブ（RC）会員のギータ・ジャヤラムさんは、自身が設立したメンタルヘルス・クリニック「マナシ・クリニック」では、南インドの200以上の村に住む貧しい人々約2,000人（ほとんどが女性）に総合的なケアを提供している、と語りました。



このクリニックは、発展途上国におけるメンタルヘルスの向上に寄与しており、世界保健機関からも認められています。クリニックではまた、視力、聴力、老年に伴う問題に対する治療や職業リハビリも実施。2002年の創設以来、約600万世帯がこのクリニックを利用してきました。

「女性たちは私を家に迎え入れ、自分たちのストーリーを語ってくれるのです。このような女性たちに感謝され、

やりがいを感じるなんて想像していませんでした」とジャヤラムさん。「これこそ、私たちにとって大きな贈り物です」ジャヤラムさんは、アメリカ・メリーランド州ボルチモアのジョンズ・ホプキンス大学医学部の精神科・行動科学の准教授です。

コートジボワールのアビジャンビエトリリーRC会員のマリー・イレネ・リッチモンド・アホアさんは、コートジボワールのポリオプラス委員長を務め、現在は西アフリカにおける予防接種活動の調整を担当しています。国際コミュニケーションのコンサルタントとして、コートジボワールでの国連の取り組みにおいてアドバイザーを務めた経験もあります。



アホアさんはまた、2017年に開催されたアトランタ国際大会で、ビル・ゲイツ氏によりそのポリオ撲滅と平和への献身がたたえられました。「ボランティア活動は私に幸せをもたらしたと同時に、涙を流させられたこともあります。異なる視点から世界を見ることができるようになりました」とアホアさん。「どんな困難が立ちかはだかろうと、自分たちの活動を信じ、適材適所を實踐して、チームを信頼しなければなりません。そうすることで、他者の立場から物事を見ることができ、より多くを達成できるのです。私にとってのご褒美、それは子どもが予防接種を受けた後の母親の笑顔です」

アメリカ・カリフォルニア州のコロナド・バイナショナルRC会員のダニエル・デ・ラ・フエンテさんは、アマール・アライアンスの共同創設者です。このNPOは、社会開発・教育プログラムを通じて世界中の難民児童を支援しています。フエンテさんは、世界で6,500万人がやむなく住む場所を追われ、その77%が子どもであると紹介。「子どもが夢を持つことができない世界を想像してみてください。私はそん

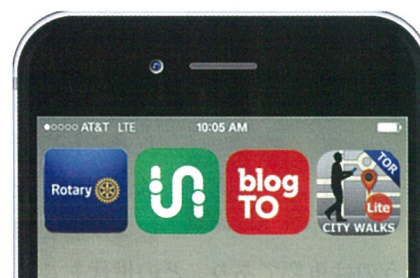


な世界を受け入れることはできません」

ワシントンD.C.にある国防大学に勤務したこともあるフエンテさんは同大学で、中東と南アジアの関係向上のために尽力。「人の思いやりが今まさに必要とされています」とフエンテさん。「次世代が夢を持つことができない世界など、未来とは呼べません。行動し、変化をもたらしてください。私にとってはそれが、難民児童の生活を改善していくという活動なのです」

By Ryan Hyland
Photographs by Karen Sayre

国際大会 アプリを使ってみよう



6月23～27日にトロントで開催されるロータリー国際大会に参加される方に、大会情報やご当地情報が得られる無料アプリをご紹介します。ぜひダウンロードしてご利用ください。

Rotary Events というアプリは、大会に参加する人にはとても役に立ちます。これがあれば大会中の予定を立てたり、講演者情報を得たり、セッションの配布資料をダウンロードすることができます。また、ほかのロータリアンと連絡を取ったり、写真を共有したりできるほか、セッションを評価して主催者へフィードバックすることもできます。このアプリは5月18日からダウンロードしてご利用いただけます。アプリストアでは、“Rotary Events”で検索できます。

Transit App というアプリは、カナダを含む11の国で利用できる道案内

アプリです。バス、地下鉄、路面電車の最寄り駅を教えてください。目的地を入力すれば、最短距離の交通ルートを確認できます。

BlogTO はトロント限定のアプリで、市内の一流レストランやバー、アトラクションだけでなく、イベントも紹介してくれます。

Toronto Maps and Walks を使うと、世界的に有名な観光スポットだけでなく、あまり知られていない見どころ情報を知ることができます。

— RANDI DRUZIN

国際大会のご登録は <http://riconvention.org/ja> から

今後の R I 国際大会

2018 年 6 月 23 ~ 27 日

カナダ・オンタリオ州トロント
(以下予定)

2019 年 6 月 1 ~ 5 日

ドイツ・ハンブルグ

2020 年 6 月 6 ~ 10 日

アメリカ・ハワイ州ホノルル

2021 年 6 月 12 ~ 16 日

台湾・台北

統計

全世界ロータリアン総数

1,221,978 人

クラブ数 35,633 クラブ

地区数 539 地区

国と地域 200 以上

ローターアクト会員数 249,895 人

クラブ数 10,865 クラブ

国と地域 160 以上

インターアクト会員数 516,764 人

クラブ数 22,468 クラブ

国と地域 150 以上

2018 年 1 月 31 日現在

ロータリーの友 
Home Page 
www.rotary-no-tomo.jp

 指定記事

ロータリー財団管理委員長の思い

若者をロータリーに参加させましょう

2017-18 年度ロータリー財団管理委員長 ポール A. ネットゼル



世界の人口の 50 % は、年齢 30 歳未満です。そのため、「若者は何を望んでいるか」と問

うのは重要であり、どの世代もこれについて考えるべきです。もちろん、今日のロータリーにとっても重要な問いとなります。絶え間なく変化し、進化する社会で最善の奉仕をするには、私たちのクラブもまた進化しなければならないからです。

世界経済フォーラムが 30 歳未満の 3 万人を対象に 186 カ国で調査を実施し、いくつかの重要な見解を得ました。

回答者の大半は、気候変動や紛争が、自分たちに直面する最も重大な課題であると考えています。また、若者のエンパワーメントにとって、「エコシステムや起業家精神を立ち上げること」が重要だと回答しています。しかし若者は、自分たちの意見が受け入れられていないと感じており、過半数が「自国で重大な判断

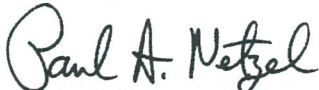
が下される時に、若者の意見が考慮されない」と回答しています(いいニュースもあります。今年度、訪問先で私が会った数十カ国のローターアクターの多くは、ロータリーのリーダーは彼らの意見に耳を傾けていると述べていました！)。

世界や地域社会で問題になっていることに対して、若者が変化をもたらしたい、と思っていることは明らかです。また、プロジェクトに携わることがあれば、結果を出したいと感じています。その良い例が、アメリカ・ニュージャージー州のランチバーク・ロータリークラブ会員のツルシ・マハージャンさんと、アニル・マハージャンさん親子です。財団の補助金を利用して、ツルシさんとアニルさんは 2015 年に起きたネパール地震の被災者のためにマイクロクレジット、奨学金、家屋建設プロジェクトを実行しています。

2016 年の規定審議会で採択された変更により、クラブの運営は柔軟性をもって、それぞれに最善の方法で進めるようになりました。つまり、例会の開催方法についても幅広い選択肢が可能になったのです。

柔軟性を進んで取り入れることで、アニルさんのような若者の例も増えていくでしょう(アニルさんは元ロータリー E クラブ会員で、現在は父親のいるクラブに入会)。さらに、現在、ローターアクターでもロータリークラブに入会できるようになりましたから、この手段を利用するようローターアクターに勧めましょう。世界でよいことをするという夢を抱く若者にとって、財団がいかに力強い存在となりうるかを若者に伝えてください。

今日、私たちが行動を起こすことによって、20 万人以上ものロータリーの未来のリーダーが、次世代に変化をもたらすことができます。



Paul A. Netzels
財団管理委員長

どうすればロータリーに若者の参加を促すことができるでしょうか。皆様のご意見をお聞かせください。

Paul.Netzel@rotary.org

◆『ロータリーの友』ご購読数変更について

- ①次年度『友』誌上半期分（2018年7～12月号）減部のご連絡は、2018年**6月5日まで**にお願いいたします。
- ②7月号の発行部数決定や発送準備の都合上、6月6日以降の7月号の減部はご容赦ください。
- ③6月6日以降の会員数変動による減部は、2018年**7月10日まで**にご連絡いただければ、「8月号～12月号」の減部として対応いたします。
- ④7月11日以降にご連絡いただいた減部はすべて、下半期1月号からになりますので、ご了承ください。
- ⑤追加購読のお申し込みは、残部がある限りお受けいたします。
- ⑥部数変更のご連絡がない場合には、2018年6月号と同じ部数を送付させていただきます。

定価 200 円＋消費税（送料込）

◆2018－19 年度版 ロータリー手帳 ご予約受付中

今年も各地区ガバナー名・ガバナー事務所連絡先、地区大会予定、ロータリー関連の項目を掲載しております。

会員のお声を反映して手帳本体に週間・月間・翌年度以降の年間予定表をまとめる仕様にし、付録として「ロータリー関連資料」の改訂版を付けました。森林認証紙、植物油インキなど環境に配慮した素材で製作しています。手帳の色はロイヤルブルー、サイズは変わりません。詳細はクラブ宛て2月1日付ご案内状を、ご覧ください。

定価 600 円＋消費税（送料別）

ご注文はお早めに、クラブ事務局を通し、ロータリーの友事務所までお願い申し上げます。在庫のある限りの受け付けとなります。

地区別クラブ数・会員数一覧表

（2018年2月末現在）

地区	R C 数	会員数	17年2月末 会員数
第 2500 地区	67	2,321	2,323
第 2510 地区	69	2,609	2,620
第 2520 地区	79	2,306	2,330
第 2530 地区	66	2,406	2,434
第 2540 地区	42	1,148	1,135
第 2550 地区	51	1,781	1,747
第 2560 地区	56	2,133	2,131
第 2570 地区	51	1,639	1,655
第 2770 地区	75	2,640	2,616
第 2790 地区	83	2,861	2,829
第 2800 地区	50	1,630	1,640
第 2820 地区	55	1,984	1,999
第 2830 地区	41	1,215	1,177
第 2840 地区	46	2,120	2,109
第 2580 地区	70	3,098	3,083
第 2590 地区	57	2,878	2,079
第 2600 地区	55	1,979	2,004
第 2610 地区	64	2,696	2,676
第 2620 地区	79	3,048	3,063
第 2630 地区	76	3,193	3,150
第 2750 地区	99	4,819	4,869
第 2760 地区	85	4,943	4,868
第 2780 地区	66	2,390	2,379
第 2640 地区	69	1,884	1,958
第 2650 地区	96	4,683	4,675
第 2660 地区	82	3,684	3,630
第 2670 地区	74	3,069	3,047
第 2680 地区	73	2,792	2,842
第 2690 地区	66	3,089	3,103
第 2700 地区	61	3,246	3,224
第 2710 地区	73	3,349	3,366
第 2720 地区	75	2,513	2,398
第 2730 地区	65	2,396	2,401
第 2740 地区	57	2,277	2,269
34 地区合計	2,273	90,819	89,829

日本のロータリー

会員概数 90,539 人

クラブ数 2,264

（左の表中 34 地区合計から、第 2750 地区の P B グループを引いた数です）

ガバナー月信より 2750 クラブ数・会員数は、P B グループ 9 R C 280 人（北マリアナ諸島・グアム・ミクロネシア・パラオ）を含みます。P 6「日本のロータリー」数は 34 地区合計から P B グループを引いた数。17 年 2 月末 P B グループ 9 R C 会員数 290 人。

修正 会員数修正：2650 / 34 地区合計会員数 / 表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数、本誌 2017 年 9 月号横組み P 52（6 月末）表中、4,572 人 / 87,936 人 / 87,646 人。本誌 10 月号横組み P 35（7 月末）表中、4,629 人 / 89,094 人 / 88,812 人。本誌 11 月号横組み P 39（8 月末）表中、4,652 人 / 89,496 人 / 89,214 人。本誌 12 月号横組み P 40（9 月末）表中、4,664 人 / 89,763 人 / 89,481 人。本誌 1 月号横組み P 40（10 月末）表中、4,678 人 / 90,022 人 / 89,740 人。本誌 2 月号横組み P 35（11 月末）表中、4,704 人 / 90,154 人 / 89,872 人。本誌 4 月号横組み P 34（1 月末）表中、2,560・2,131 人、2,650・4,674 人 34 地区合計会員数：89,861 人、表外と P 6「日本のロータリー」最終行会員数：89,583 人。ご案内 右記一覧表は、3 つのゾーン順で色分けしてあります。表中の左端の色と、横組み P 40 奥付の日本ロータリー分布図の色を対照し、ご覧ください。

*『友』ウェブサイトの「ロータリー資料館」にデータ修正後の表を掲載。
*第 2520 地区の数値は震災につき概数。

ロータリーの友
Home Page 
www.rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友

6 月号主要記事予定

横組み 特集 全国各地で繰り広げられた植樹活動

縦組み シマフクロウの森づくり

虹別コロカムの会会長 館 定宣

クラブを訪ねて 益子 R C（栃木県）

Rotary



ご投稿・ご注文などお問い合わせは——

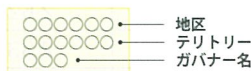
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

一般社団法人ロータリーの友事務所 Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

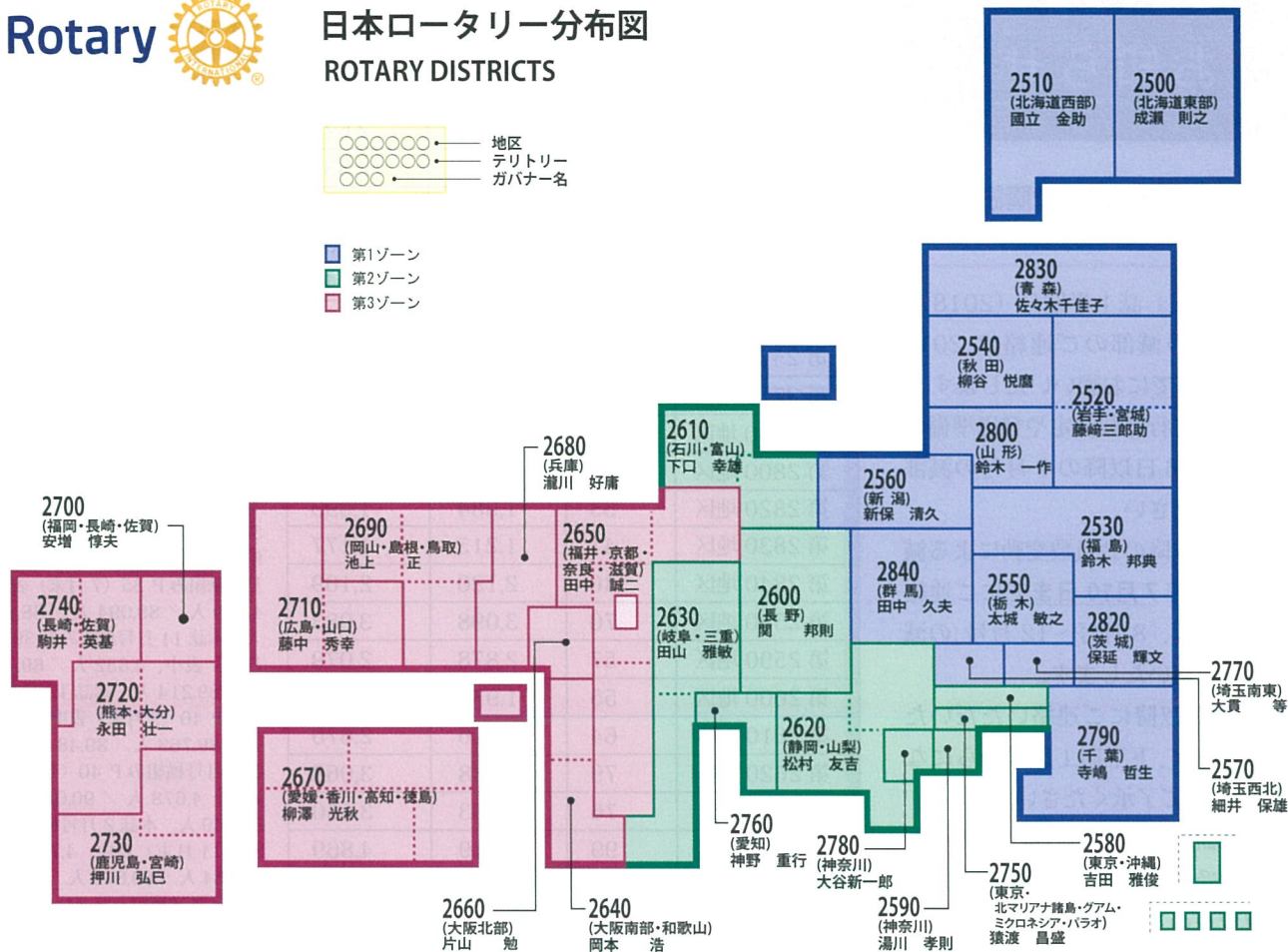
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp 経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp

ロータリーの友ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp

日本ロータリー分布図 ROTARY DISTRICTS



第1ゾーン
第2ゾーン
第3ゾーン



『ロータリーの友』ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp に各地区のホームページをリンクしています。

月刊 ロータリーの友

第66巻 5月号

2018年4月30日印刷 2018年5月1日発行

一般社団法人

ロータリーの友事務所

■ 社員
斎藤 直美 (豊田)
石黒 慶一 (鶴岡西)
吉田 雅俊 (東京新都心)
猿渡 昌盛 (東京武蔵府中)
湯川 孝則 (横浜西)
片山 勉 (大阪東)

■ 理事会

代表理事 清水 良夫 (横浜)
理事 片山 主水 (名古屋東南)
神崎 正陳 (茅ヶ崎湘南)
上野 孝 (横浜)
安平 和彦 (姫路)
片岡 信彦 (土浦南)
橋本 長平 (京都東)
田中 政春 (長岡西)
岡部 一輝 (南砺)
庄司 尚史 (境港)
松坂 順一 (東京葛飾東)
服部 陽子 (東京広尾)
横山 武志 (東京北)
中里 公造 (川口モーニング)
堀口 昇治 (東京西)
野中 茂 (川崎)
津村 政男 (東京臨海東)
渡辺 誠二 (東京みなと)

監事 船越 豊 (千葉中央)
小川 湧三 (川崎鷺沼)
相談役 板橋 敏雄 (足利東)

■ 職員

所長 渡辺 誠二 (東京みなと)
編集長 野崎 恭子
編集 稲川 やよい
黒野 穰二
山名 愛
飯田亜由香
熊谷健太郎
経理 富澤 美子
半田 弥生
福元菜穂子

振込銀行 三井住友銀行浜松町支店
口座番号 (普通) 7450015
郵便振替 口座番号 00180-8-694591
印刷 大日本印刷 (株)
表紙印刷 半七写真印刷工業 (株)

一般社団法人ロータリーの友事務所
〒105-0011
東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階
電話 03-3436-6651
FAX 03-3436-5956
編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp
経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp
ウェブサイト www.rotary-no-tomo.jp
定価 200 円 + 消費税 (送料別)

ご投稿をお待ちしています！『ロータリーの友』投稿規定



私の一冊 ★

会員おすすめの本を紹介。詳細は本ページ下を参照。

声 ★★

『友』誌についての感想・意見を200字以内で紹介。

対象記事名を明記。発行月翌月の10日締め切り。

友愛の広場 ★★

エッセーや、海外ロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付。

わがまちの味 ★★

わが町自慢の郷土料理、変わった例会の食事、個人的な思い出の味などを紹介。食べ方、由来など100字以内の説明文に料理の写真をお送りください。

ロータリー俳壇・歌壇・柳壇

1か月に1人はがき1枚に3句（首）まで。作品の横にクラブ名・お名前・電話番号を記入。選者の方のご都合もあり、メール投稿はお受けできません。

ロータリー・アット・ワーク写真編 ★★

ロータリークラブ、地区、インターアクト・ロータリーアクトクラブなどの奉仕活動を写真で紹介。写真と150字程度の説明文。必ず活動日を入れてください。活動後1か月以内にご投稿ください。

ロータリー・アット・ワーク文章編 ★★

内容は写真編と同じ。600字以内の原稿と関連写真を。

内外よろず案内

会員間の趣味の交換、催し物の案内など。200字以内。

パズル de ロータリー

3種類のパズル（クロスワード、数独、スケルトン）を毎月順番に掲載。プレゼント応募の締め切りは発行月翌月の10日。

★…『友』ウェブサイトから記入用紙をダウンロード可

★★…『友』ウェブサイトの投稿フォームから投稿可

情報もお待ちしています！

NEW GENERATION ★

ロータリーのプログラムに参加経験のある10～30代までの若い人（現役・学友）を紹介。推薦対象者（インターアクト、ロータリーアクト、青少年交換学生、財団奨学生、米山奨学生、ライラリアンなど）について編集部へご一報を。編集部から直接、当人へ原稿を依頼。

『クラブ週報』『クラブ会報』

クラブの『週報』『会報』をご送付ください。「卓話の泉」に掲載するほか、クラブ活動の参考としてご提供をお願いします。メール配信のクラブは、メーリングリストに『友』編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp を加えてください。

送り先

一般社団法人ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

E メール hensyu@rotary-no-tomo.jp

投稿方法、その他規定は『友』ウェブサイトで！

ロータリーの友
Home Page
www.rotary-no-tomo.jp



至急

「私の一冊」に投稿してみませんか？

最近感動した一冊、夢中になって読んだ一冊、ためになった一冊を、ロータリアンの皆さんに紹介してください。

対象となる書籍

小説・文芸、新書、実用書、ビジネス書、教養書など。

※写真集、画集、雑誌、自費出版、絶版本以外。また、本人や関係者の著作・監修・販売、自社の本など、応募者と直接関係する書籍以外でお願いします。

応募資格 ロータリアンおよび家族

内容

本文320字以内。書籍名、出版社、発行年、投稿者情報としてお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。表紙画像は編集部で手配します。

記入用紙PDFはこちらから→www.rotary-no-tomo.jp/kitei.php

もっと早く
読んでおけばよかった…

時間を忘れて
読んじゃった



声

2月号の感想

『友』を読んで、「この原稿を書いた人にエールを送りたい!」「感動した」「知らなかった」などの感想、『友』そのものに関するご意見などを紹介します。

【対象記事】

特集・平和に寄せる思い◇東京米山友愛RC・川妻二郎氏の「原爆から生き残る」(横P8〜9)

【感想】当時、中学三年生だった私は学徒動員で横浜の本牧にいました。特攻隊員が乗るボート造っていた時に横浜市が爆撃を受け、帰る家がなくなっていました。当時のことを思い出すと、川妻氏の気持ちがよく分かります。二度と経験したくないことです。

横浜西RC 星 敏夫

【対象記事】

特集・平和に寄せる思い◇東京米山友愛RC・川妻二郎氏の「原爆から生き残る」(横P8〜9)

【感想】小生は筆者より六歳下で、終戦時は小学六年生でした。生々しい体験談を読み、昔を思い出しました。当時、兵庫県伊丹市に住んでおり、学校帰りに艦載機からの機銃掃射を体験しました。防空壕の上から、尼崎市の夜間爆撃を、まるで映画の出来事のように眺めていたのを今も鮮明に覚えています。

大阪南RC 入江 義雄

【対象記事】

目次写真(横P5)

【感想】2月23日はロータリーの創立記念日で、今年113年を迎えます。4人の男たちのうち、誰が現在の隆盛を想像できたでしょうか。オールドユニティビル711号室がロータリーの原点です。

八代RC 伊藤 俊昭

【対象記事】

特集・平和に寄せる思い◇岡山西南RC・松原龍之氏の「元陸軍通訳者の記録映画上映イベントで、若者と平和を考える」(横P11〜12)

【感想】記事を読み、感動すると同時にうれしくなりました。私は2009年からミャンマーの奥地の農村で、住民の生活向上のため活動しています。その原点となったのは、大学の先輩である永瀬隆氏の「和解と贖罪(しよくざい)」の心に共感したからです。永瀬氏の思いが不戦の誓いとして多くの人に理解されたこと。そのことを特に青少年に向けて伝えるべく、イベントを企画した岡山西南RCに敬意を表します。

海老名RC 高橋 晃

【対象記事】

バズルdeロータリー(横P30)

【感想】2月号で印象に残ったのはバズルの答えでした。今回の問題を解かなければ、711の意味を知ることにもなかつたと思います。

福島しんたつRC 菅野 稔久

【対象記事】

エバンストン便り◇ロータリー財団管理委員長の思い(横P33)

【感想】ロータリーの創立記念日である2月23日と「世界理解と平和の日」のつながりがよく分かり、印象に残りました。

岸和田東RC 岡本 平仁

【対象記事】

友愛の広場◇茅ヶ崎湘南RC・松宮剛氏の「オーケストラでは何の曲をどのように?」(縦P16)

【感想】この記事はとても面白く読みました。『友』の表紙がイラストに変わっても、ゆっくり見たことはありませんでした。文中に「想像は無限に広がる」とありますが、本当に写真に勝るものですね。52歳でバイオリンを始めた私としては、オーケストラは憧れ! それをロータリーに当てはめるなんて素晴らしい!

東京日本橋東RC 井口 弘子

【対象記事】

スピーチ◇今泉清詞氏の「戦線からの生還・開拓・奨学金」(縦P4〜8)

【感想】以前、今泉氏の活動がテレビ番組で紹介されたのを見て、感動しました。今回の記事を読み、また感動しました。戦後、故郷に帰らずに荒れ地を開拓、その土地を寄付して財団を創られたことが分かったからです。素晴らしい記事でした。

上尾西RC事務局 旦尾 尚恵

【対象記事】

クラブを訪ねて◇第2620地区・パワーズ松RC(縦P9〜12)

【感想】所属クラブは毎週屋に例会を開いていますが、早朝に開くのもいいのではないかと思います。健康は、ラジオ体操継続のためもの!

前橋西RC 林 幸一

【対象記事】

卓話の泉◇遠軽RC・成田弘明氏の「桃の節句について」(縦P21)

【感想】孫はこれまで男児ばかりでしたが、初めての女児誕生! ひな人形を飾る日が近付き、改めて「右」と「左」を意識しながら……。その他にも行事食など、いろいろな意味があることに関心を持ちました。

高山中央RC 橋本 修

●本文200字以内。本文とは別に、対象記事名(例:〇月号「友愛の広場」、〇〇さんの記事)とお名前、クラブ名、連絡先を付記しお送りください。詳細は投稿規定または『友』ウェブサイトです!

一回の成人式の「打鐘のつどい」の時にしか見ることができません。

成人式当日は打鐘宣言から始められ、新成人の代表が成人となった喜びと感謝の気持ちを込めて鐘を二〇回打ち鳴らす行事があり、一九五八年から続いています。

一月四日、今年の成人式に先立って会員が市職員と共に市庁舎屋上を清掃。八日の成人式で新しいロープが披露され、新成人四二人が吉村洋文大阪市長と鐘を打ち鳴らしました。

今後地域一体となった活動に積極的に取り組み、社会に貢献できることを、会員一同願っています。

(磯野由理・記)

市木アカマツを守ろう 松枯れ防止の薬剤寄付

松本ロータリークラブ

第二六〇〇地区・長野県

当クラブは長野県では最古参のクラブ。二〇一七年一〇月二六日に、通算三〇〇回の例会を迎えた。松本市は「アカマツ」を市木としており、クラブでは三年前から三〇〇回例会の記念事業として「市木アカマツを守ろうプロジェクト」に着手。地区補助金事業として、松くい虫被害の調査や、被

害実態の写真展を開くなどして、市民啓発を推進してきた。

松本市の中心部には国宝・松本城があるが、戦国時代の典型的な山城であり、松本城築城以前における城郭の形成過程において重要な位置付けにあるとして、「小笠原氏城跡」が二〇一七年二月、国史跡に指定された。史跡は市東部の里山にあるが、最近周辺の松枯れ被害が拡大している。

今年度は、松枯れに対する具体的な行動を行うことを目標とし、公共性の高い場所での松枯れ対策活動の実施について松本市耕地林務課と相談。城址周辺の環境保護は喫緊の課題との要望を受け、樹幹注入剤二五〇本を購入して市に寄付をすることにした。

寄付は一月一八日の例会時に、米山



市の専門家と注入作業を行う会員たち

内外よろず案内

威久会長から松本市へと寄贈した。その後、薬剤の注入作業は春になる前が良いとのこと、二月二日に市の樹木保全の専門家と会員が協同で行った。

た。松枯れに対する市民の関心の高いこともあり、寄贈時には数社のマスコミからの取材があった。

(西堀恒司・記)

『健康あつてのロータリー』発刊

第二五〇地区

当地区では今年度、『健康あつてのロータリー』という小冊子を発刊しました。北海道大学名誉教授・(公財)札幌がんセミナー理事長である小林博バスターガバナー(札幌北RC)を中心に、ロータリアン医師の協力によって作成。ロータリー活動は「心身の健康あつてはじめて出来る」として、

Mail: rtd2510@nifty.com

カナダ・トロントでライブ演奏決定!

東京福生RC 石川彌八郎

私のロータリーでの職業分類は清酒製造ですが、月に数回、「石川太郎」のステージネームでミュージシャン、ブルースハーモニカの演奏をしています。今年六月二五〜二七日に開催されるカナダ・トロントでの国際大会参加に当たり、現地の友人・ケン吉岡氏と共に、ライブハウスで演奏することになりました。お時間のある方はぜひ、お越しください。

Mail: ken0122yoshioka@yahoo.co.jp

また、前回のアトランタ国際大会に続いて、第二五八〇地区の東京ナイト(六月二四日午後七時開始、アデレードホテル旧トランプホテル)でも演奏する予定です。

えに違いありません。

(山口晋一・記)

※川原尚行氏については『友』二〇一六年一〇月号縦組み四〜八ページに関連記事を掲載しています。



地元高校生たちに好評だった講演会

文京区 中学生職場体験発表会

東京本郷ロータリークラブ

第二五八〇地区・東京都

二月二日、東京都文京区教育委員会主催、東京本郷RCの共催で、「平成二九年度文京区中学生職場体験発表会」を開催しました。

参加したのは文京区立の音羽中学校、第一中学校、第二中学校。当日は文京区教育委員会教育長、当クラブの松下和正会長のあいさつでスタート。

その後、各校による実践発表として、生徒たちが職場体験を行った地域のお寺や飲食店、ペットショップなどで何をし、何を感じ、何を学んだかを発表。受け入れ事業所からはどのように受け入れ、生徒たちにとどのような変化があったかという報告がありました。

最後に中学生による意見交換が行われ、会員がコーディネーターを務め、生徒代表六人から働くことについて、職場体験を通じて得たもの、感じたことなどについて話を聞きました。コーディネーターから突然意見を求められたロータリアンは「職業奉仕」について説明し、中学生たちが興味深げに聞いていました。当日の様子は地域のケーブルテレビで放映されました。

なお、当クラブでは初回の二〇〇七年からこの事業に取り組んでおり、今



会員の進行で、中学生たちが体験を発表

年一月、職場体験の内容充実、受け入れ事業所の増加などに大いに貢献したことが評価され、「中学生の職場体験」功労事業者として東京都から感謝状をいただきました。

(熊井寛・記)

支援三年目の剣道大会

柏南ロータリークラブ

第二七九〇地区・千葉県

柏市の光ヶ丘地区青少年健全育成推進協議会主催の剣道大会が、二月一日に開催されました。わがクラブは三年前から大会の支援を始め、各クラス（七階級）の優勝者にトロフィーを授与しています。この活動も地域に定着しつつあり、参加する子どもたちも大会を楽しみに頑張っています。

体育館とはいえ寒く、大人は厚着していても震えているのに、子どもたちは素足と剣道着だけで頼もしい限り。

小学校低学年から中学二年生まで約七〇人の剣士たちが元気いっぱい、また激しく厳しい試合を続けました。

午前八時過ぎから始まった試合は順調に進んで正午前には終了。表彰式でクラブの代表からそれぞれの優勝者にトロフィーを手渡しました。

クラブではその他にも地域に根差した奉仕活動を行っています。ここで



大会の優勝者をたたえて

もまた地域の青少年の健全育成に寄与できたものと思います。

みおつくしの鐘 打鐘ロープを新調し寄贈

大阪みおつくしロータリークラブ

第二六六〇地区・大阪府

当クラブは今年度、大阪市での成人式に使われる「みおつくしの鐘」の打鐘ロープを新調して寄贈しました。

みおつくしの鐘は一九五五年に制作され、青銅製で口径一・二六メートル、全長約一・八二メートル、重さ約八二五キログラム。洋鐘型の梵鐘で、造られた当時日本一の大きさであり、市章・みおつくしと母子像、手をつなぐ子どもたちと銘文が刻まれ、市庁舎塔屋に設置されました。鐘は一般には公開されておらず、年



“怒り”との付き合い方について学ぶ参加者たち

せ（上限あり）をするとSNS（会員制交流サイト）や新聞で告知しました。ロータリークラブの会長、クラブ財団委員長、会員を主な対象としていましたが、そうした方法での告知が若い世代の目に留まったのか、計一〇五人のうち六七人が一般からの参加でした。

当日は、地区ロータリー財団ポリオプラス委員長の田中靖氏がポリオについて話し、アンガーマネジメントコンサルタントであり、当クラブ対外広報グループリーダーの藤田智弥会員が「アンガーマネジメント入門講座」を実施。活発な質疑応答に、参加者の関心の高さが表れていました。

寄付金だけの申し出も含め、集まった三六万九四〇円を全額ポリオプラス基金に寄付。当クラブでは同様の企画の継続的な実施を検討しています。

青少年交換学生のため 米山奨学生が一日講師に

第二七八〇地区

神奈川県

来日後、半年が経過しても青少年交換学生の高校生たちの日本語能力が向上しないと悩んでいた当地区青少年交換委員長に、地区米山奨学・米山学友委員会が協力することになり、二月三日、青少年交換学生の月例オリエンテーションに合わせ、三人の米山奨学生を派遣。日本語の一日講師となり、交流を兼ねた勉強会を開きました。

当日は、米山奨学生たちが留学を指して日本語の勉強を始めた頃の体験談を聞きながら、学習の仕方を解説する方針としました。出席した高校生一〇人の出身国が全て異なるため、最初は共通語を日本語として話を始めましたが、あまり理解できていない様子。そこで共通語を英語に切り替えて講義を進めていくと、高校生から日常生活の悩み、疑問などが出てきて、参加した両委員会のメンバーも加わり約一時間半、和気あいあいとした雰囲気で行いました。

最後には高校生たちが、日常会話でも世話クラブの会員やカウンセラーと、互いに英語を使わない努力を続け



米山奨学生と青少年交換学生で勉強会

ると約束していました。

終了後、米山奨学生たちからは「初心を思い出しました」「自分たちがロータリーの役に立ててうれしい」といった言葉があり、開催して本当に良かったと思います。今後は交換学生が来日した直後を重点的に、年数回、実施していこうと考えています。

（横須賀RC 佐久間博一・記）

地元高校生に将来の夢を

高崎北ロータリークラブ

第二八四〇地区・群馬県

昨年一二月一日、クラブ創立五〇周年記念の一環として、また当クラブの未来の夢計画事業として、スーダンで医療活動を行うNPO法人ロシナントエス代表の川原尚行氏を講師に招き、地

元の高校生約二二〇人を招待して講演会を開催しました。

川原氏は九州大学医学部を卒業後、外務省に入省し、二〇〇二年に大使館の医務官としてスーダンに派遣されました。当時は内戦の影響もあり、まともな医療施設がなく、衛生環境も悪く、医療を必要とする人たちがたくさんいました。大使館員という立場上、医者でありながら目の前の人を助けられないことに思い悩んだそうです。そして、意を決して外務省を辞め、スーダンで医療活動を行うことにしたので

川原氏は、現地の人たちが飲む川の泥水を共に飲むことまでして住民との信頼関係を築いていきました。その活動は医療にとどまらず、衛生環境を改善するための井戸掘り、現地の医療体制を充実させるための学校建設など多岐にわたっています。エネルギーに満ちあふれた話に、生徒たちは圧倒されている様子でした。

講演後、次から次へと質問の手がかりました。「そのモチベーションはどこから来るのですか」との質問に対し、「自分のためではなく人のためだから頑張れる」と答える川原氏に、信念を貫き通す人間の美しさを感じました。川原氏との出会いは、生徒たちが自身の進路を考える上で良い影響を与



恒例の日本語スピーチコンテストを開催

留学生による 日本語スピーチコンテスト

松本東ロータリークラブ

第二六〇〇地区・長野県

昨年十一月十七日、松本市でクラブ主催の「第二八回留学生日本語スピーチコンテスト」を開催しました。このコンテストは青少年奉仕委員会を中心に全会員が参加し、一九九〇年から一度も途切れることなく続けています。

長野県内の大学、専門学校に留学している中国、モンゴル、ロシア、ベルギー、イタリア、スリランカなどからの留学生二七人がエントリー。事前審査で発表者を一〇人に絞りました。発表者は五分間の持ち時間の中で、来日した時の思い、将来の夢など、いま感

じていることを日本語でスピーチ。私たち日本人が聞いていても的確な内容、指摘があり、毎回感動しています。地元メディアにも取り上げられ、県全体でロータリーの認知度アップにつながっています。

近年、この事業は地区補助金の対象となりました。また、親クラブの松本RC、子クラブの松本城RCから毎年協力をいただき、金銭的負担軽減につながり、感謝するところです。

コンテスト終了後は、参加したロータリアンと発表者、その応援団を交えて大懇親会を行っており、外国の青少年との交流に寄与しています。

(中田金一・記)

美しい日本語を！ 和歌山市子ども暗唱大会

和歌山城南ロータリークラブ

第二六四〇地区・和歌山県

当クラブは和歌山市教育委員会の協力を得て、二〇〇六年から和歌山市内の小中学生を対象に「和歌山市子ども暗唱大会」を開催しています。読書や日常生活を通して出会い、心に残った文学作品の一節や詩歌を暗唱して発表し、その感動を伝え合おうというもので「音でことばで、ひろがる・つながる・ひびきあう」をキャッチフレーズ

にしています。

今回は第一二回大会として昨年二月九日に開催し、中学生四七人、小学生一八一人が参加。報道各社も取材に駆けつけ、個人部門、群読部門の各最優秀賞を目指し、感動を呼ぶ熱戦が繰り広げられました。

この大会で願うことは、第一に先人の築き上げてきた詩歌、文学などを読んで、美しい日本語の表現やリズム、人としての深い情感や自然への繊細な感受性などに触れること。もう一つは、言葉に出合うことで得た理解や感動を、自らの音声によって表現し、他者の感情に働き掛け、言葉でつながる喜びを体感してもらうことです。このような体験を通じて、「読む」「話す」「聞く」といった全ての知的活動の基盤を成す国語の力を養うと同時に、自分の



かわいい小学生たちが暗唱の成果を発表

声と言葉によるコミュニケーション能力の育成、ひいては次代を担う豊かな人間性を育てていく一助になればと考えています。

(井手良明・記)

学びでファンドレイジング ポリオ撲滅に向けて

東京渋谷ロータリークラブ

第二七五〇地区・東京都

クラブは昨年二月二日、都内の青山学院大学青山キャンパスにて、怒りとの付き合い方を学びながらポリオ撲滅のために寄付ができる、ファンドレイジング講座を開催しました。

この企画は、国際ロータリーの最優先事項であるポリオ撲滅と当地区の強調事項の一つ「公共イメージ向上と広報活動を積極的に推進する」を重ね、地区が掲げる四〇歳未満の会員純増も目指したもの。二〇〜三〇代が関心を持つ「学び」に、ポリオ撲滅活動への寄付を組み合わせた企画です。

講座は「アンガーマネジメント」という、自分の怒りの感情を理解してコントロールしたり、上手に表現したりする方法について。受講料は一人三二四〇円で、その全額がポリオ撲滅のために寄付され、寄付の総額にビル&メリンダ・ゲイツ財団が二倍の上乗

業でこれを復刻、かるた大会を実施しました。当クラブでは昨年、社会奉仕・青少年活動の一環としてこの大会を支援しています。

今回は大会史上最多の四七チーム一四一人が参加し、熱戦を繰り広げました。当クラブの会員をはじめ、堺市こども会育成協議会など大勢のボランティアが一緒になって大会を盛り上げ、無事終了しました。

優勝チームには物種唯修会長から、当クラブが提供したオリジナルのトロフィーとメダルを授与しました。子どもたちはその重さに驚き、大喜びしていました。

年々盛り上がりを見せるこの大会が、もつともっと成長していくことを願い、これからも支援を続けていきたいと思っています。



堺かるたを使った大会を支援

競技かるた大会で 小中学生一〇〇人が熱戦

八戸ロータリークラブ
第二八三〇地区・青森県

当クラブは二月四日、「八戸市競技かるた小中学生大会」を開催。参加した約一〇〇人の選手たちが、読み上げられる一首に聞き耳を立て、素早い札さばきで熱戦を展開しました。

開会式で、妻神和憲会長は「今年は昨年より参加者が二〇人以上多く、さらに市外からも来ていただきました。勝負にこだわつつも、ぜひ競技かるたを楽しんでください」とあいさつしました。

競技は小学一〜二年生、三〜四年生、五〜六年生と中学生の各グループに分



約 100 人が参加して熱戦を展開

かれて優勝を目指しました。保護者の見守る中、実力拮抗の試合に競り負けて悔し涙を流す児童や、気合とともに札を取る生徒など、一試合ごとに静かな闘志を燃やす姿が見られました。

小倉百人一首の普及と、競技かるたを通じて子どもたちの交流を図る目的で始めた大会は、今年度で第四回を迎えました。毎年、回を重ねるたびに参加者が増え、競技レベルも向上しています。今回も接戦続きで、終了予定時間を大幅にオーバーし、盛り上がった大会となりました。

小学校で 読み聞かせプロジェクト

千葉南ロータリークラブ
第二七九〇地区・千葉県

当クラブは昨年二月五日から二月一日にかけて、千葉市内の小学校計一〇校を訪問し、三年生もしくは四年生を対象に、紙芝居『千葉常胤物語』の読み聞かせをするプロジェクトを実施した。

千葉常胤（一一一八〜一二〇二）は平安時代末期から鎌倉時代初期、源頼朝から「父のように思う」と言われた人物であり、頼朝の鎌倉幕府開府を助け、千葉市の礎を作った歴史上の人物である。



手作りの甲冑を着た会員と、紙芝居の読み聞かせ

紙芝居は千葉市内の小学校の図書館指導員が小学生低学年向けに作成したもの。千葉常胤の活躍を分かりやすく教えられる内容で、郷土の歴史に触れ、郷土に対する愛着を持つことができるものとなっている。

読み聞かせの際には、千葉市で甲冑作りを指導している「手作り甲冑隊」の協力を得て、厚紙で作った本物そっくりの甲冑を会員が着て、小学生に楽しく歴史に触れてもらう工夫をした。

また、小学校訪問に先立ち、プロジェクトの一環として地区補助金を活用して市内全小学校一一校に、紙芝居一一冊と高学年向けの漫画本『千葉常胤公ものがたり』二五五〇冊を寄贈。昨年一〇月一三日に、向後保護会長ほか会員四人が千葉市教育委員会を訪れて贈呈式を行った。

ROTARY AT WORK

文章編

ロータリークラブと地区の活動を紹介、600字以内。字数を超える場合など、編集させていただきます。関連写真があれば添付してください。

児童養護施設で ソーイングの支援

東京板橋セントラルロータリークラブ

第二五八〇地区・東京都

当クラブは地域の子どもへの奉仕活動を継続しています。近年、子どもの貧困や孤立、自立困難などが社会的にもクローズアップされていることを踏まえ、今年度は地区補助金を活用し、板橋区内の児童養護施設で「ソーイング（裁縫）支援」を行いました。

この施設は五カ所のグループホームに分かれており、一台のミシンをスタツプが運んで使っているという実情を知り、各ホームに一台、ミシンを寄贈することにしました。運搬の手間を解消し、その分の時間を子どもたちのために使ってほしかったからです。

昨年一二月一五日に児童養護施設を



寄贈したミシンを使って

訪れ、ミシンを贈呈。当日は子どもたちの部屋や食卓、パソコンルームなどを見学し、贈呈式を行いました。子どもたちや施設長からはお礼の言葉がありました。

さらにはミシンの使い方などに習熟して、退所後の自立に役立ててほしいと、贈呈後のレクチャーも事業内容として組み込みました。一月二〇日にはレクチャーの様子を見学しましたが、子どもたちがスタッフやボランティアから熱心に学んでおり、ミシンの操作が上達していたことに驚きました。今後も児童養護施設との交流を続け、さまざまな事情のある子どもたちのため、退所後の自立も含めた支援を継続したいと考えています。

（茂木正光・記）

子どもたちに夢を！

豊川ロータリークラブ

第二七六〇地区・愛知県

当クラブでは地区補助金を利用して、子どもたちに夢を与えることを目的に、昨年二月一〇日に二つの事業を行いました。

一つは児童養護施設の子どもたち（職員を含め三八人）を地元のプロバスケットボールチーム・三遠ネオフェニックスの試合に招待したことです。その際、豊川高校の生徒たちの協力を得て、試合と一緒に観戦した後、自由に買い物をする機会が少ない子どもたちに付き添って、買い物やおやつと一緒に食べるといった交流をしてもらいました。また、生徒たちは試合後の椅子の片付けなどを、会員やボランティアと一緒に行いました。

もう一つは試合中のアトラクションとして、同高校和太鼓部に、二二〇〇人を超える観客の前で演奏する機会をプレゼントしたことです。大きな会場に負けない迫力ある演奏を、との思いから、会員の二ノトラツクを使って大太鼓を運び込んだの演奏となりました。

この日はたくさんの笑顔に触れ、三



豊川高校和太鼓部が演奏を披露

遠ネオフェニックスの大差をつけたの勝利も味わうことができ、会員一同、外の寒さに反して大変温かい気持ちになりました。

（吉田広明・記）

堺かるた大会に参加・協賛

堺清陵ロータリークラブ

第二六四〇地区・大阪府

当クラブは今年二月三日に開催された「堺かるた大会」に参加・協賛しました。堺かるたは、堺の歴史を知ることや郷土愛を育もうと願って作られましたが、次第に使われなくなり、三〇年近く図書室の片隅に埋もれていました。

二〇一三年、堺北西南西ロータリークラブ（RC）が創立二〇周年記念事

ROTARY AT WORK



地元登山道の 環境を整備

〈江田島RC〉

江田島市の古鷹山登山道の整備を実施した。古鷹山の麓にある海上自衛隊第一術科学校の協力を得て、総重量1トン分の丸太などの資材を人力で運搬。崩れた登山道を土のうで補修したほか、階段やベンチを設置。登山愛好家が快適に楽しめるよう、また、海上自衛隊学校の鍛錬の場として安全に利用されるよう、社会奉仕として取り組んだ。
(1月16日 第2710地区 広島県)

ROTARY AT WORK



エプロン姿で そば切りに挑戦

〈上田東RC〉

信州といえば「そば」ということで、プロである会員の指導で、そば切りに挑戦。エプロンやかつぼうを着姿でそば切り包丁を握る会員の表情は真剣そのもの。なかなか難しく、かなり太めの出来上がりになってしまったが、カモ肉入りの温かいつゆでおいしく食べた。地物食材を活用した、そば尽くしのメニューで、楽しく親睦を深められた例会となった。
(2月21日 第2600地区 長野県)

ROTARY AT WORK



2クラブ協同で植樹活動

〈古河RC・七ヶ浜RC〉

地区補助金を活用し、宮城県七ヶ浜町の君ヶ岡公園で植樹を行った。被災した町に自然を取り戻し、環境改善が目的。古河RCの会員はバスで片道約4時間かけて公園に向かい、七ヶ浜RCの会員と高さ3.5mのイロハモミジ2本を植樹し、「友愛の樹」の記念碑を設置した。七ヶ浜町長が出席して贈呈式を行った後は、参加者で公園内の清掃を行った。
(2月16日 第2820地区 茨城県/第2520地区 宮城県)

ROTARY AT WORK



会社のキャッチコピーを 考えよう!

〈東松山RC〉

企業CMなどで目にするキャッチコピー。職業奉仕月間の企画として、全会員が自社のものを考え披露する例会を開催した。「妖精の舞うステージへ」(バレー教室)、「おもいで作りのパートナー」(フォトスタジオ)など、会員それぞれの思いと個性が表れたキャッチコピーが披露された。全会員が参加することで大変盛り上がり、今後、会員企業とクラブの発展を期待させる企画となった。
(1月29日 第2570地区 埼玉県)

ROTARY AT WORK

ロータリークラブ奉仕活動をカラー写真で紹介。写真と150字程度の説明文。字数を超える場合は編集させていただきます。必ず活動日を入れてください。記念写真(集合写真)は掲載できません。

ROTARY AT WORK



新たな森林創出を 目指して

〈浦和北RC〉

クラブでは2007年から県の荒地化対策事業に参画しており、浦和市内に見沼田んぼの休耕地で植樹を行った。森林の少ない地域に憩い集う空間を増やそうという趣旨。会員・家族と、ローターアクト、青少年交換学生の総勢40人でケヤキ、ムクノキ、シラカシなど80本を植樹した。今後は下草刈り、下枝除去など、活動を継続する。
(2月24日 第2770地区 埼玉県)

ROTARY AT WORK



鬼に豆をぶつけ 無病息災を願う

〈奈良西RC〉

西大寺幼稚園の主催する「豆まき大会」に参加した。節分に豆をまくという、受け継がれてきた素晴らしい行事を現代の子どもたちに語り伝え、次世代へつないでほしいという願いを込め、会長をはじめ会員や先生が鬼の役に扮して参加。園児たちは豆をまきながら悪鬼を追いかつた。
(1月31日 第2650地区 奈良県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

新調された 和太鼓を打つ！

〈呉南RC〉

知的障害者自立支援を行う、呉市手をつなぐ育成会のメンバーから成る「いっせい太鼓」へ、地区補助金を使って新しい和太鼓とバチを寄贈した。当日は「和太鼓一式贈呈式・クリスマス会」と題して、会員と清水ヶ丘高等学校・AAC会員、育成会のメンバーらが参加。贈呈後、早速太鼓の演奏が披露され会場は熱気に包まれた。
(12月10日 第2710地区 広島県)



ROTARY AT WORK

ものづくりで地域をつなぐ 協同社会奉仕

〈習志野RC〉

地区補助金で「やさしさでつながる社会奉仕プロジェクト」を実施。当地と親交の厚い地域の産業振興として、群馬県上野村の木材を活用し、当地の就労支援として障害福祉サービス事業所・花の実園の入所者とテーブルを製作した。テーブルにはクラブ名の入ったプレートをつけて、昨年完成した市庁舎前の広場に設置。憩いの場を創出するとともに、クラブ名をPRするきっかけにもなっている。
(1月24日 第2790地区 千葉県)



ROTARY AT WORK



勉強のご褒美は 旭川ラーメン

〈旭川北RC〉

クラブの学習支援人財育成事業「せんちゃん勉強会」は、勉強だけでなく地域の住民同士の接点をつくり、子どもと地域のための未来環境をつくらうという試み。会場のラーメン店・せんちゃん食堂は会員の実家で、勉強会が終わると子どもたちとボランティアの講師に「旭川ラーメン」が振る舞われる。会員も一緒に食事をしながら交流を楽しんだ。来年度も継続する予定。
(3月5日 第2500地区 北海道)

ROTARY AT WORK



元氣いっぱい！ 幼稚園対抗サッカー大会

〈春日部イブニングRC〉

春日部市内の9つの幼稚園から約200人の園児たちが参加し「第14回ちびっ子サッカー大会」を開催。例年、寒さとぬかるんだグラウンドに悩まされるが、今年は会員と先生が融雪剤を散布して準備したおかげで素晴らしいコンディションになり好天にも恵まれた。子どもたちは普段の練習の成果を存分に発揮し、元気で素晴らしいプレーを見せ、大会は盛り上がった。
(1月14日 第2770地区 埼玉県)

ROTARY AT WORK



「お茶の京都」をPR

〈京都八幡RC〉

京都府は昨年4月から1年間、「お茶の京都」と銘打って、特に宇治茶の産地である南部地域を中心にキャンペーンを展開。クラブではその機運を盛り上げ、さらにクラブのPRを兼ねて、八幡市役所への来庁者に初釜（年始めの茶会のこと）の気分を味わってもらうおうと、抹茶の無料接待会を開催した。
(1月11日 第2650地区 京都府)

ROTARY AT WORK

善意の靴を フィリピンへ贈ろう！

〈小矢部中RC〉

フィリピン・ネグロス島で、貧困のため素足で生活している子どもたちに、善意の靴を贈る事業を2011年から続けている。今回は小矢部市立大谷小学校の児童・保護者から不要になった靴約200足の提供を受けた。児童は「この靴を履いてたくさん運動してもらいたいです」と会員へ靴を手渡した。靴は消毒・箱詰めし、3月末に現地へ送った。
(2月18日 第2610地区 富山県)



ROTARY AT WORK



**テーマに沿って
ディスカッション**
〈東京東江戸川RC〉
江戸川区内20校50人が参加した
中学校生徒会長交流会を後援。
テーマは「東京オリンピック・
パラリンピックに向けてー私
たちにできることは何か」。チー
ムワークの大切さ、障害者支
援、つながる心など、活発な意
見交換がなされた。進行役とし
て東京東江戸川RACの会員が
活躍し、青少年奉仕の実践の場
となった。
(1月27日 第2580地区
東京都)

ROTARY AT WORK



**自分の心の中の鬼を
退治しよう** 〈鹿児島東RC〉
毎年恒例の社会奉仕事業とし
て、県立鹿児島養護学校の節分
豆まき行事に参加。子どもたち
は事前に退治したいことを書き
た札を作成、鬼に扮(ふん)し
た会員がそれを体に巻きつけて
登場し、相撲をとった。元気な
子どもたちとの相撲にお面の中
は汗びっしょり。今年は福の神
も現れて喜ばれた。子どもたち
のパワーに会員も元気をもらっ
た。
(2月2日 第2730地区
鹿児島県)

ROTARY AT WORK

ROTARY AT WORK

子どもたちと一緒に植樹
〈福岡平成RC〉
クラブ創立25周年事業の一環とし
て、里親と子どもに共同生活の場を
提供しているNPO法人・子どもの
村福岡の施設を訪れた。会員11人、
中村学園三陽中学校・高等学校1A
C3人、子どもたちの総勢40人で、
高木・低木60本余りを植樹した。事
前に造園業者が下準備を行っていた
ため、作業は手際よく進み、子ども
たちも元氣よく一生懸命作業してい
た。
(1月28日 第2700地区 福岡
県)



ROTARY AT WORK



**命の大切さを考える
チャリティコンサート**
〈佐伯RC〉
地区補助金を活用し、社会福祉
法人・大分いのちの電話を支援
するチャリティコンサートを開
催した。命をテーマとした子
どもたちの創作メドレーに始ま
り、佐伯市民合唱団、市内3つ
の高校吹奏楽部、声楽家らが
演奏を披露。最後に全出演者
141人でシスターの古木涼子
氏作詞・作曲の「いのち」を合唱。
集まった寄付金44万6000円
を寄付した。
(1月14日 第2720地区
大分県)



ロータリー アットワーク

ROTARY AT WORK

クラブの垣根を超えて 「北九州マラソン」を支援

第2700地区第2グループ

福岡県

2018年2月18日、第2700地区第2グループの11クラブ（小倉・小倉中央・小倉東・小倉南・小倉西・門司・門司西・戸畑・戸畑東・若松・若松中央RC）は、初めての協同社会奉仕活動として、「北九州マラソン2018」の支援活動を実施しました。

「北九州マラソン」は、北九州市の市制50周年を記念して2014年に始まったマラソン大会で、今回で5回目となります。当日は晴天に恵まれ、過去最多の1万2377人が応援団として参加しました。ロータリアンは11クラブから約100人が参加。17km地点と25km地点、30km地点の3カ所に分かれ、この日のために発注したのぼり二十数本を立て、各クラブのジャンパーを羽織り、「頑張ってください」「ファイト!」と、ランナーに熱い声援を送りました。また、参加者へはスポーツドリンクやチョコレイトを振る舞いました。

今回の協同奉仕活動の発起人は、当グループの安部高子ガバナー補佐（小倉中央RC）。今年度の安増淳夫ガバナーがメッセージとして掲げた「会員の拡がり」「奉仕の拡がり」「対外広報の拡がり」の3つのうち、「奉仕の拡がり」と「対外広報の拡がり」を同時に充足できる取り組みを、グループ全体で実施したい、との願いから実現しました。応援以外でも、「北九州マラソン応援団」という協賛金に全クラブが協力しました。

この日の応援の様子は翌日の西日本新聞に掲載され、ロータリーの公共イメージを向上させるとともに、クラブの垣根を超えた会員間の交流につながる結果となりました。

（小倉中央RC 野口晃・記）

残雪の溶けるやうれしうらさみし

鳥取・倉吉 馬野慎一郎

古い二人二言三言寒夜かな

岐阜・高山西 小森 丈一

蒼白き静けさにあり冬木立

青森北東 加藤 彰

冬空やモアイに似たる大櫓

福島北 大河内重男

雪しまき脚立ばつとりんご畑

長野・飯田南 木下 親亮

息をのむ夜目の白さや姫椿

東京蒲田 坂本みな子

蔵王山吹雪樹氷の見えざりき

神奈川・横浜北 三ッ堀哲宗

雀来よ鴉も来よと雪に住む

石川・加賀 折橋紀与美

句作りの指折る妻の夜長かな

奈良 寺田 康宏

残りたるお飾り一つ外厠

奈良 寺田眞佐子

赤チンの勲章つけて寒稽古

大阪心斎橋 西村 拓夫

屠蘇を注ぐ息子の白髪増えにけり

大阪・堺 堤 淳

青空のどこから湧きて風花す

大阪・堺フェニックス 米田眞理子

三ヶ日火鉢の炭もちと多く

佐賀・伊万里西 田中 南嶽

寒晴や海の方かうの吾子の声

埼玉・日高 犬竹 碗白

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇作品の横にクラブ
名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』俳壇係宛

まごひまご十七人の正月の
祝いの膳よ母一〇五歳

神奈川・藤沢東 横田佳代子

戸籍簿に吾が知らぬ名の多々ありて
百年生きし母の過去追ふ

奈良 寺田眞佐子

子を育て子に育てられ親になる
恐竜図鑑を子らと見ながら

和歌山・田辺 山路 守

登校時信号待つ間の高校生
カーブミラーで髪を整ふ

岡山・倉敷瀬戸内 中桐 眞彦

蘭展にて姿競へるカトレアの
ほのかな香りの違ひ楽しむ

香川・高松 平峯 千春

立春も間近となりて人々は
重ね着などして春を待ちおり

宮城・古川東 高橋 義宣

高窓に湯気たちのぼる友の蔵
寒の造りは今盛りなり

長野・佐久コスモス 中澤 道保

江利チエミ逝きしがなとおも流れ来る
テネシーワルツは陽だまりの中

茨城・古河東 小山 幸子

買物も夫婦で歩けば楽しいな
あれも買ったしこれも買ったし

新千葉 菊地 忠

仲見世は外国人で賑はふも
人影薄き雪の裏道

東京 新 欣樹

朝食のパンとフルーツ老い二人
ピクニックのごとはなやぐわれは

東京荒川 井上 久子

ガーシュインがピアノ弾きたるレコードに
針置くときのこころ青春

東京ワセタ 福地桂之助

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇作品の横にクラブ
名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』歌壇係宛

三十年降りクオカードで買う広辞苑

神奈川東 石川 正三

働き方改革せよと妻迫る

埼玉・加須 堀越 康司

妻が旅昔は嬉し今侘し

神奈川東 吉田 隆男

絶景もインスタ映えと言うばかり

東京池袋 小泉 博明

遠くてもリアルタイムのラインかな

北海道・斜里 辻 舒宏

欲張りにインフルAB寄ってくる

新潟・吉田 佐藤 良一

恋文は指で打つより赤き筆

神奈川・川崎西 吉田 恵一

大家族いつも誰かが育児中

京都・宇治鳳凰 清水美榮子

このへんでおわりにしようおとななら

大阪東淀ちゃやまち 小坂 克彦

美味しい酒苦くなったら要注意

富山・射水 江守 正

落ちたのは味方の掘った落とし穴

高知西 山岡 陸宏

帰宅して家族留守でもノックする

京都・宇治鳳凰 辻 幸男

終活もボチボチにするまだ元氣

大阪・堺清陵 物種 唯修

ネットせずテレビもみなぎや豊かです

大分・中津 福澤 廣明

例会の二次会喫煙室の中

鳥取・米子 稲田 泰博

投稿規定 ◇雑詠 ◇クラブ会員、家族 ◇一か月に葉書一人
一枚に三句まで ◇締切日 二〇日必着 ◇作品の横にクラブ
名・氏名、電話明記 ◇楷書で明確に ◇『友』柳壇係宛



長谷川 權 

ふるさとの山は一つや初比叡

大阪・東大阪東 溝畑 洋子

新春詠である。遠く故郷を思つて詠んだとされるが、新年に比叡山を目の前にしているような迫力がある。きつぱりとした言葉の力強さがこの句の何よりの魅力だろう。

雪嶺を見やれと仏間開け放つ

徳島・脇町 片山 良樹

みごとな雪嶺なのだろう。冬、まだ寒いのにそれを見せようと障子を開く。一気に冷たい風と雪嶺のパノラマが部屋に流れこむ。ふつうの部屋でなく仏間が句をどっしりさせた。

近づきてまた遠のきて春浅し

東京羽田 船山 博之

早春の感じはまさにこのとおりだろう。三寒四温といえは気温のことだけだが、この句はしだいに近づいてくる待ち遠しい人のように春を詠んでいる。

炉話の熊の毛皮に及びけり

富山南 升田 義次

囲炉裏を囲んでの談話が炉話。それがいつか熊撃ちの武勇伝となり、「ほら、あなたが今敷いてある黒い毛皮がそのときの熊ですよ」といわれてぎよつとした、そんな場面を想像した。

老いたればバレンタインに縁はなく

神奈川・相模原 佐藤 清一

こんな年寄りにチョコレートを贈る殊勝な人は誰もいない。ちよつと哀しんでいるようにも聞こえるが、ここは強がつているのだろう。チョコレート？ そんなものはいらないやい。



馬場あき子 

目をむいた鯛の粗煮で一人めし
猫は鍋見る外は雪景色

岐阜加納 鵜飼 武彦

一読たのしくなった歌。外は雪でも三月はそろそろ桜鯛の季節。「粗煮で一人めし」も男っぽい粗さがあつてよく、猫がいる光景もいい。猫は粗煮の鍋に近づきたく、主人公はその鍋をつつきながら外の雪景色を楽しみ、そして当然一杯やつている姿が目につかふ。粗煮の実感も「目をむいた」の一句が利いていて状態もおもしろい。雪中ながら場面はもうすっかり春気分である。

コーラスで「不良長寿」とうたひたり
愉快な歌詞にわが身重ねて

島根・出雲南 小村 尚子

「不老長寿」ならぬ現代の老人は茶目つ氣たつぶりの「不良長寿」。替え歌で英気を養っている文芸不良たちのコーラスなのだろう。たしかに、年寄の風俗も昔とはちがつて、工夫のある元氣老人の知恵はなみなみではない。ただ作者たちは面白がつているだけでなく、さすが歌よみ。下句にそつと長い人生を振り返つてみせている。たいした不良でもなかった過去を、あえて不良と放言するの自負のあらわれだ。

サクサクと地を踏みしめて畑に入る
頬被りして白菜とりに

神奈川・川崎西 吉田 恵一



てじま晩秋 

的はあなたに憧憬を絞りきる

大阪西 鴨谷瑠美子

文芸には夢とロマンが同居しています。それが許されているから楽しいのです。男ならこの作品には誰しも心激しくなっていくのでは……とにかく、綺麗（きれい）な一章で感じ入りました。

歩数計買つてもせいぜい三千歩

埼玉・熊谷籠原 森田 光彰

若い頃は目指せ「一万歩」と力んでいた歩数も現在は三千歩から時間的には三五分程でしょう。無理をせずに十分な量と考えます。立派な数字に胸を張り頑張ってください。

武勇伝ここでは出来ぬクラス会

長野・辰野 河手 欣哉

先ごろ、中学校の同窓会に三十年ぶりに行ってきました。大人になってからのグループ活動はどうしても他人行儀になりがちで、打ち解けるのに苦労しますが、クラス会は温かです

寒すぎる次の東京暑すぎる

香川・高松 大平 昇

韓国・平昌で開催のオリンピック・パラリンピックが終わりました。見学の友人の話では平均、零下二十度だったとか。逆に夏の東京五輪では熱中症続出かも。アスリートファーストの開催を望みます！

食べ方がとても王子と思えない

新潟 小林 悟

在宅医療

中村内科医院 院長 中村 吉伸

在宅医療とは、医師や看護師、理学療法士などが通院困難の患者を自宅で診療および看護、リハビリなどを行うことです。対象となる患者は脳梗塞や脳出血の後遺症、大腿骨折などで寝たきりの人、難病指定疾患の人など。重症度はさまざまで、腰痛や膝関節痛で通院はできないものの、寝たきりではない比較的軽症の患者から、がん末期の重症患者まで、在宅医療に関わる範囲は大変広がっています。

保険診療として認められている在宅医療には、酸素療法や人工呼吸療法、点滴チューブの先を心臓近くまで挿入し、高カロリーの点滴を行う中心静脈栄養療法、鼻腔チューブや胃と腹壁をつなげる胃ろうを造設し、そこから流動食を注入する経管栄養法、さらには自己導尿療法、インスリン・ホルミネなどの注射療法などがあります。これらの療法に訪問看護やリハビリ、歯科治療、薬剤管理なども加えた、いわゆるオーダーメイド医療が可能となってきました。

在宅医療の必要性が叫ばれる背景には

二〇二五年問題があります。二〇二五年は団塊の世代が後期高齢者（七五歳以上）になる年です。後期高齢者になると入院や寝たきりの患者が増え、この世代に支払われる医療費は巨額になり、日本の医療体系は崩壊する可能性があります。政府は数年前から地域医療構想という新しい医療、介護体制のためのシステムを構築しています。地域の無駄な病床を削減し、必要病床の再編、コストのかかる入院患者や施設入所者を在宅医療に移行しようとしています。在宅医療はコスト面から考えると病院、診療所への通院よりは高額ですが、入院や施設へ入所するよりは低コストとなります。在宅医療は医療費削減には不可欠で、将来的には若い世代の負担を減らす医療形態として推進されています。

地域医療構想の一つとして、在宅医療サポートセンターがあります。入院患者が在宅医療に移行する場合に、かかりつけ医（登録医）を紹介し、安心して帰宅できるように支援します。ケアマネジャーや訪問看護ステーション、デイサービス施設とも連携し、患者に応じたオーダーメイド医療ができるよう手助けする取り組みが、自治体や地域の医師会などで進められています。

（第二六四〇地区・和歌山県・有田RCCにて、同RCC会員）

愛に生きる

才能は生まれつきではない

丸亀RCC 横田 龍男

「人間は環境の子であり、どの子も育つものです。育たないのは育て方が間違っているからです。何を教えるにしても、やり始めはゆつくりと。そして、何回も何回も繰り返し、根気よく行うこと。やればできます。できないのは、できるように教えなかった教える側に問題があります。才能は生まれつきではなく、つくるものです」。これが本書の要旨です。「日本中の子どもが、誰に教えられなくてもきちんとした日本語をしゃべっている」ということに気付き、考え出されたのがスズキ・メソッド（耳から育てる母語教育法）。この教育法（考え方）は、バイオリン教育にとどまらず、仕事にも応用できます。五一年前に出版された本ですが、今も読む者の心を捉え、新たな読者を増やしています。

（第二六七〇地区 香川県）

愛に生きる
才能は生まれつきではない
鈴木鎮一



鈴木鎮一 著
講談社現代新書
1966年8月刊

●人生を変えた一冊 思い入れの深い一冊 最近感動した本を紹介 320字以内 詳細は投稿規定か「友」ウェブサイトです！

卓

話



■「卓話の泉」は、クラブの会報、週報に掲載の卓話の中から、客観的内容の話題、ミニ知識となるものを主に選んで要約、掲載しています。

世界をつなぐ切手

(公財)日本郵趣協会専務理事
切手の博物館オーナー 落合 宙一

切手は「小さな外交官」と呼ばれています。単に郵便料金の証紙という任務だけでなく、切手に描かれている自国の歴史、文化、芸術などを世界に発信していく国際文化交流の役割を担っているからです。現在、切手は二五〇を超える国、地域から発行されています。

切手発行の目的には、国家的行事やキャンペーンを盛り上げる、自国の文化を継承・発展させる、郵便切手文化の普及などがあります。そして、デザインには、その国の記念行事や風俗、動植物からアニメまで、

ありとあらゆる対象が凝縮されています。切手を通して国際的課題について国民に関心を持ってもらうため、複数の国がデザインを統一し、共同切手を発行する場合もあります。

世界で最初の切手は一八四〇年にイギリスで発行されたペニー切手です。図柄には当時のイギリスの国家元首であったビクトリア女王(一八一九—一九〇一)の肖像が描かれ、ペニーブラックという愛称で呼ばれています。この切手のデザインに当たっては複数のデザイナーによるコンペで決定したと言われています。現在でも切手のデザインは指定されたデザイナーの中から選ばれることが多く、切手はアートの域にまで達しています。

世界最高額の切手は、一八五六年にイギリス領ギアナ(現ガイアナ)が発行した一セント切手で、二〇一四年に約九五〇万ドル(約一一億円)で落札されています。

切手は、小さなキャンバスの中に広がる豊かな芸術です。一九世紀から世界中で愛されてきた切手、その役割を一つ一つもとくとき、「小さな美術品」は無限の広がりを見せてくれるはずです。

(第二五八〇地区・東京都・東京新宿RCにて・同RC会員)

私の一冊

現代語訳

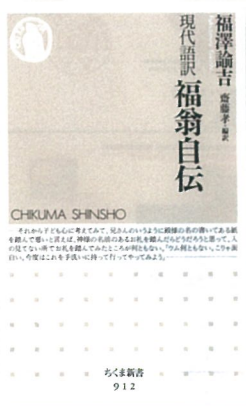
福翁自伝

郡山北RC 吉田 喜一

日本が幕末から近代国家へと移行する激動の過程にあつて、常に在野の精神で社会を俯瞰した福澤諭吉の自叙伝である本書は、いつ読み返しても時が過ぎるのを忘れるほどだ。高校生の時、叔母からこの本を読んでみたらと渡されたのが、本書との出会いであった。身分制度が厳しかった江戸時代にあつて、諭吉が育った豊前国中津藩(大分県)は武士階級の中でも上下の区分が厳しい藩で、幼少期から壮年期に至る時代の苦い経験が、「門閥(もんぼつ)(家柄)制度は親の敵でござる」といった福澤の言葉になって表れている。

明治を代表する啓蒙思想家(けいもうしや)にいかになりに得たか、その原点が詰まった本といえる。今年(2019年)は明治維新から数えて一五〇周年に当たる。ぜひ、手にとって読まれてみてはいかがでしょう。

(第二五三〇地区 福島県)



福澤諭吉 著/齋藤孝 編訳
筑摩書房(ちくま新書)
2011年7月刊



両クラブ会長が覚書を交換（2017年9月）

一二月一五日の合同例会で合併調印式を行い、同日R Iに申請、翌年一月一日に承認となりました。

一月八日に鯖江市長、鯖江商工会議所会頭、木村昌弘ガバナ補佐を招いて合併例会・祝賀会を執り行い、「新生・鯖江RC」が誕生しました。鯖江RC三人、旧・鯖江北RC一四人、新会員一人、合計四六人での船出です。木村ガバナ補佐からは「全ての仲間を失うことなく、全員が合流されたことを評価したい」とのお褒めの言葉を頂きました。

今回の合併の評価はこれからです。今まで別々に活動してきた会員の融和と、現実味を帯びてきた中期目標の「会員五〇人体制の実現」を目指し、素晴らしいクラブとすることで、皆さまからの評価を得たい、と考えております。

（第二六五〇地区 福井県 損害保険業）

日本開催の国際大会の 「初日カバー」

浜松東 伊東 政好

日本においてR I国際大会が開催されたのは、過去に三回。一回目は一九六一年の東京大会、二回目は七八年の東京大会、三回目は二〇〇四年の大阪大会であった。開催を記念して、切手が発行された。その記念切手を貼り、発行当日の消印が押された封筒を「初日カバー」という。

晴海の国際見本市センターをメイン会場に行われた東京大会の初日カバーは三種。地球を提灯にデザインした上にR Iの徽章が配されたものと、R I本部の建物外観と各国旗が置かれた内部の様子のもので、三人の人が手を組むデザインのものであった。切手は人と人が手を取り合った上にロータリーの徽章を配したデザインで、五組で額面一〇円だった。

国立代々木競技場で行われた東京大会の初日カバーはハナショウブをデザインしたもので、切手はロータリーの徽章を上にし、下に富士山と鶴が三羽飛んでいるもので、額面は五〇円。消印は渋谷局で、こちらもハナショウブのデザイン。私は一九七〇年五月二九日に浜松東RCに入会。この二回目の東京大会には参加した。

しかし大阪ドームで開催、約四万五〇〇〇人が参加した三回目の大阪大会は、初日カバーが発行されたのか不明で、私の手元には額面八〇円の記念切手シートだけがある。ロータリーの徽章と「四季花木園屏風」の一部を配したデザイン

国内で開催された国際大会で発行された（左から）1978年東京大会の初日カバー、2004年大阪大会の切手シート、1961年東京大会の初日カバー



で、シート背景は扇に花とロータリーの徽章、大阪城を配し、ロータリークラブの説明と過去二回の東京大会を紹介している。私は二〇〇三〇四年度第二六二〇地区静岡第六分区分ガバナ補佐として、この大会に参加した。

日本で開催された国際大会三回のうち、二回出席できたことに感謝している。なお、私の切手収集の趣味は中学生頃からだが、現在、発行が多過ぎるので、分野を絞って収集している。

（第二六二〇地区 静岡県 不動産売買）

「見て見ぬふり」を しない世の中へ

出雲中央 山口 孝之

中学生時の教科書に、中国のことわざ「義を見てせざるは勇無きなり」（人の道として当然行すべきことと知りながら、これを実行しないのは勇気が無いのと同じである）というのがありました。明治生まれの母は、これと同じようなことを言っておりました。

新聞によると、二〇一七年三月、中国で開幕された全国人民代表大会（日本の国会に相当）で、困った人を「見て見ぬふり」をするのを防ぐ「好人法」（善人法）を民法に盛り込むことが提案されました。中でも注目されるのは、「緊急時の救助行為で人に損害を与えた場合、重大な過失がなければ救助に参加した人は賠償責任を負わない」という規定です。

というのも、中国では近年、道に倒れていた老人を病院に連れて行った若者が、逆に老人から高額な賠償金を請求されるなど、困った人を助けた人が逆に訴えられる事例が相次ぎ、人助けを尻込みするような風潮が広がっているそうです。二〇一一年には、広東省で女の子が車にひかれて倒れていたのに、多くの人が見て見ぬふりをしていたことが監視カメラの映像で判明。女の子はその後亡くなるなど、「見て見ぬふり」が社会問題となっていました。日本は昔、中国から『論語』の思想などを学びましたが、今、その中国がこのような変わりようです。

私も、最初に赴任した病院で、同様の事例を

経験しました。男性が川幅約一戸の浅い用水路に落ちた子どもを助けて病院まで運んだのに、彼は駆け付けた子どもの父親から殴る、蹴るの暴行を受けたのです。それこそ踏んだり蹴つたりの災難です。父親は、子どもを助けてくれたこの男性を勘違いして、加害者だと思い込んだのでした。

次の赴任地では、冬の寒い日、子どもが外で遊んでいるうちに、立て掛けてあった材木が倒れてその下敷きになり、見て見ぬふりではなかったかもしれないが、しばらく誰にも気付かれず、四肢硬直の状態になっていました。たまたま通りすがりの人に助けられ、こちらは私が担当して助かりました。

一方、これも日本の事例ですが、昨年四月、踏み切りに入った老人を「見て見ぬふり」をしないで、助けようとした男性が老人ともども列車にはねられ、死亡しています。「見て見ぬふり」をせず人を助けたい、しかしわが身はかわい。難しいところです。こうなると、これは各個人の判断になってきます。

最近、ドイツの事情を報道で知りました。難民を多く受け入れている現状もあるのか、銀行の前に倒れている人がいたのに、銀行の関係者も通行人も「いつものようにまたホームレスが倒れている」程度にしか考えず、結果的に見て見ぬふりをした状態になっていたそうです。

現在、世界的な風潮となっている「他人に無関心になっている世の中」ではありますが、ドイツの裁判所は、この「見て見ぬふりをした人」を「見て見ぬふりをした」として、罰金刑に処したそうです。これからの世の中、だんだんと

「見て見ぬふりをしない」ように向かうのでしょうか？
（第二六九〇地区 島根県 外科医）

新生！

鯖江RCの誕生

鯖江 大島 恒彦

二〇一八年一月一日付で、鯖江RCと鯖江北RCが合併、鯖江RCを存続クラブとすることがRIから承認されました。

鯖江RCは一九五九年一〇月に、鯖江北RCは鯖江RCをスポンサークラブとして一九八四年四月に創立されたクラブです。以来、同じ地域を活動拠点とするクラブとして、互いに切磋琢磨して活動を続けてきました。

一九九二年以降は年一回、交互にホストクラブとなつて合同例会、懇親会を続けてまいりました。しかし近年、両クラブとも会員減少に悩まされ続け、いつしか「合併ができる」といふな」とささやく会員も増えていました。

昨年四月に増永英彦・鯖江北RC会長エレクト（当時）が鯖江RC事務局を訪れ、正式に合併協議の申し立てをしたことから、この合併話が急展開で進みました。第二六五〇地区では前例のない合併ということで、ガバナ―事務所の指導を仰ぎながら、両クラブの会長、幹事を中心に、慎重かつ迅速に事を進めました。

七月には双方のクラブから計一〇人で構成する合併協議会を立ち上げ、何度も会議を重ね、九月に覚書を交換して、合意覚書素案を作成。各クラブの総会で全員賛成との意見をまとめ、



斜里町といえば水揚げ日本一のサケをはじめ、海産物がお勧め。中でも「生たこの七輪焼き」は美酒と一緒に味わっていただきたい逸品です。新鮮なので焼かなくても刺身で食べられます。5秒ほどサッと炙りしょうゆをつけて。プリプリの歯応えが最高です！

太田 正敏（北海道・斜里RC）

わがまちの味 北海道 生たこの七輪焼き

名を伏せて造り、社会に奉仕していたのです。翁に心酔している経済人やロータリアンは多く、本田会員の提言は杞憂（きゆう）と思えます。

そもそも、ロータリーの職業奉仕は、ポール・ハリスがフリーメーソンの厳しい団体規律性を嫌い、弁護士としての社会貢献性を十分に認識しつつ、敬虔（けいけん）なクリスチャンとして他者への愛の実践として考えた理念だったと聞いています。後世、社会貢献性が強調されてきて、「職業の実践を通じての社会奉仕」はロータリーの理念であり続けました。これは、松下翁の教えや実践と何も変わりがありません。私たちは、偉大なロータリアンである先達を持つていることを誇りに思ふべきです。

このように松下イズムを念頭に置く限り、日

本の職業奉仕観は世界のそれと乖離（かいり）していません。私と考えます。

（第二一〇地区 北海道 弁護士）

「決議二三―三四」採択 一〇〇周年に向けて

高山中央 剣田 廣喜

二一世紀に入って変貌し続けるRIの中にあつて、日本のロータリアンの多くはロータリーの価値や意義を見いだせず、ロータリーの指針、方向性を見失い、RIが強力に推進している世界的人道奉仕を、言われるがままに従っているような気がしてなりません。

ロータリーの変革、混迷の時代には「ロータリーとは何か」という根本的な問いに真正面から向き合い、ロータリーの指針、方向性であるロータリーの理念、哲学を確立することが最も重要ではないかと思ひます。

それには、「ロータリーとは何か」「ロータリーとは何をする団体なのか」を改めて考え、また、日本のロータリアンが信奉している職業奉仕の理念が明記されている文書「決議二三―三四」（社会奉仕に関する一九二三年の声明）に学び、ロータリーの原点に帰ることだと思います。

物事には、全て原理原則があります。どのような場合にもあてはまる原理原則を学ぶことで、あらゆるケースにおいて、自分で判断できるようにするのが原原則で、ロータリーにもそれはあります。この激動の時代だからこそ、原理原

則を組織の核として持つことで、組織を取り巻くさまざまな外的変化を、組織自身が自ら選択した主体的な変化とすることができると考えます。

ロータリーの創始者ポール・ハリスの言葉を借りるまでもなく、組織は生き残っていくために変化への対応を常に迫られています。しかし、状況の変化に逐一振り回されるのではなく、ロータリーの本質を見据え、原理原則に基づいた判断をすることが今、求められています。

それでは、ロータリーの原理原則とは何でしょうか？ 一九二三年、第三四議案として原理原則を認識し、初めて明文化されたセントルイス国際大会での「決議二三―三四」であると私は考えます。これはロータリー全般にわたって奉仕の実践を巡る、個人奉仕か集団奉仕かに対する長い論争に終止符を打つものであると同時に、RIとロータリークラブとロータリアンの機能を明確化し、ロータリアンとロータリークラブが行うロータリー諸活動に関する、根源的な指針となるものです。

二〇二三年、「決議二三―三四」は採択から一〇〇周年を迎えます。この大きな節目に、すっかり影が薄くなった職業奉仕に再び輝きを取り戻すためにも、「決議二三―三四」の聖地であるセントルイスに日本のガラパゴスロータリアンが集結し、日本のロータリーの素晴らしさを世界に発信することを夢見ています。

（第二六三地区 岐阜県 製紙原料販売）

※編集部より「決議二三―三四」全文は、『友』ウェブサイト「ロータリー資料館」で掲載しています（www.rotary-no-tomo.jp/documents/statement.php）。

本人が三〇年以上にわたって責任総代を務めてきた、栃木県佐野市の賀茂別雷神社に狛犬を一對、奉納しました。

川久保会員はこれまでも、同神社に神樂殿の音響設備や神職の衣装など、多額の寄進をしてきました。今回の奉納にあたっては、「これまで八〇年を生きてきて、地元の神社に恩返しをしたいと思っていた」と語っていました。

奉納の際には、春の例大祭に先立って祭典が行われ、八下田勇人宮司をはじめとした関係者らが参列しました。

(第二五〇地区 栃木県 火薬類販売業)

会員家族親睦

出雲蕎麦打ちの会

松江 小林 祥泰

島根県の「出雲そば」は、長野県の戸隠そば、岩手県のわんこそばと並ぶ「日本の三大そば」として有名です。松江RCでは、そば打ちを趣味とする西村康会員が講師となつて、会員家族の親睦のため、「蕎麦処 ろーたり庵」主人となつて、二〇〇一年から毎年一回、「出雲蕎麦を打つ会」を楽しんでいます。

そば打ちには、そば粉をこねることで幼少時代の粘土遊びを思い出して純粋な気持ちに帰れること、手のひらのツボを刺激して老化防止につながることで、そばを延ばしていくとだんだん領土が広がって気宇壮大な気持ちになれること、自分の打ったそばは誰もがおいしいと感じて自己肯定感が高まることなど、まさに口ー

主人(西村会員)を中心に盛況の「蕎麦処 ろーたり庵」



れぞれが打ったそばをお互いに食べて批評し、褒め合いながら楽しい時間を過ごしました。当クラブは、転勤で数年間のみ松江に勤務する会員が多いクラブですが、その皆さんにも、このそば打ち体験を通じて、出雲そばのおいしさやこの地方の良さを実感していただき、松江ライフをより一層楽しんでもらっています。また、今回は島根大学に通う米山奨学生、留学生など4人を招待し、楽しくおいしく国際交流を深めました。

(第二六九〇地区 島根県 内科医)

タリアンにふさわしいたくさん「効能」があるのです。私たちは、ロータリオンが集まるこの蕎麦打ちの会を、「蕎麦処 ろーたり庵」と名付けています。

今年は一月二一日に開催しました。会員家族二五人が汗をかきながらそば打ちに挑戦。出来上がりは太い、細い、短い、いろいろありましたが、それ

私見・職業奉仕論

札幌東 山崎 俊彦

本田博己会員の『職業奉仕』はロータリーの根幹か? (二〇一七年一月号横組み一四(一七六))が、いまだ話題を呼んでいます。氏は、日本では職業倫理と職業奉仕の理念との混同があると主張しています。

しかし、日本の職業観はおおむね、経営の神様といわれた故・松下幸之助翁(元大阪RC会員)の理念と実践に基づいていると考えます。翁は高い商(人)道德の理念を説き、奉仕の実践として大阪の梅田駅前に、当時日本最大の歩道橋を造りました。翁はこれを「松下歩道橋」とは決して呼ばせず、歩道橋は単に「梅田新歩道橋」と呼ばれました。翁の説く商(人)道德は「四つのテスト」そのままであつて、翁が行った実践は社会奉仕ともいえるものでしょう。

職業奉仕は、単に自分なりに善意の仕事をすればよいというものでないし、そのことは、全てのロータリオンが認識しているでしょうが、職業奉仕はその職業の遂行過程や結果によって、他人に恵みや喜びを与える、いわば「世のため、他人のため」の実践です。その職業が、サービス業のように社会にじかに接しているものだったら、それがそのまま職業奉仕となるでしょうし、そうでないときは、その実践を社会奉仕へつなげていくことが職業奉仕となるのです。

松下翁は家電製品をもって多くの人に恵みを与え、その利益をもって巨大な歩道橋を自らの

ビッグファアザーの ご逝去に継承を誓う

千里 古城 紀雄

千里RCの稲邑清也会員（大阪大学名誉教授）には、病氣療養中のところ薬石効なく、昨年一月二三日に永眠されました。クラブ会員一同は悲しみに沈みつつご冥福を祈り、氏が米山記念奨学事業や青少年交換事業を通じてわれわれに残された遺志をしっかり受け継いでいこうと、気持ちを新たにしています。

氏は二〇〇七～一一年、「第一期現地採用ロータリー米山記念奨学生」としてベトナムから来日したタイ・ヴァン・ナムさんのカウンセラーとして、また彼の帰国後から活発に展開している、当クラブとのベトナム支援協働プログラムの立案と実施に尽力されました。氏のご逝去の報に接し、ナムさんには悲嘆にくれつつ、お悔やみの文を寄せられました。ここに萬年成泰クラブ国際奉仕委員長による邦訳全文を紹介します。

お悔やみ

稲邑清也教授ご家族の皆さま

千里ロータリークラブの皆さま

稲邑先生がお亡くなりになったとの萬年先生からの報に接し、大変ショックを受けました。私は、ご遺族の皆さまとこの深い悲しみを共にいたします。私には、皆さまの深い悲しみを慰める言葉がありませんが、どうか皆さま、お体をお大事になさってくださいませ。

私は先生のほほ笑み、おもてなし、情熱、私や先生の助けを必要とするすべての人々への温かいお心を今でもはっきり覚えています。私は、先生がなされたことに敬服いたします。どうか稲邑先生を第二のビッグファアザーと呼ばせてください。

大阪大学での研究において、先生は私の学術的な思考方法に特異性を見いだしてくださった。自身の考え方や感じ方を尊重してくださいました。このような先生の細部にわたる指導に感謝いたします。また、最後まで私を支えてくださったことに深く感謝いたします。先生の細部にわたる理論性、ご助言およびご質問、さらには、楽しみや痛みを分かち合うことで氣を楽にしてください、感情面で支えていただいたことに心より感謝いたします。

私はずっと稲邑先生のかげがえのないご支援と激励に励まされてきました。考え方や書き方を向上させる上で、先生の細部にわたるコメントなしに今の私は決してなかったでしょう。先生の教えはずっと私が引き継いでいきます。

私はここにお悔やみを申し上げますとともに、先生が次の人生で大きな幸福を得られますよう願っております。

二〇一七年二月五日

タイ・ヴァン・ナム

なお、米山記念奨学事業は今年度、財団設立五〇周年を迎え、先輩ロータリアンの熱い思いを礎に、しっかりと継承されてきていることはご同慶の至りと考えております。さらに、上述のナムさんらに始まったプログラムは現在、海外

傘寿の記念に 狛犬を奉納

田沼 蓮見 哲平

当クラブの川久保真治会員は、伊勢神宮の役員を六年間務めたことにはじまり、京都の上賀茂神社（賀茂別雷神社）の理事など、神社本庁の役員を長年、務めてきました。

昨年五月に八〇歳を迎えたことを受け、傘寿の記念として、その京都・上賀茂神社の分霊で、



「80年を生きてきて、地元の神社に恩返しを」

直接応募型のプログラムとしてより多くの地区に根付きつつあることで、このような状況も、故・稲邑会員らの草創期における尽力でもたらされたとも考えられ、同会員に深く感謝しております。
（第二六六〇地区 大阪府 国際教育）
※編集部より…本号横組みP30「よねやまたより」でナムさんの関連記事を掲載しています。



姉妹クラブ、夫婦ともども50年を迎えました(右から3、4人目)

佐藤武志会員の妻として参列してきました。実は、前月の二月十七日は私たち夫婦の金婚式。

大東RCと同じ五〇年、半世紀です。

五〇年とは本当に長い道のりで、子育てに家業、主人と自分の実家の両親四人の介護と看取り、おつびさん(曾祖母)と主人の姉の看病と看取り……。一家の主婦として、一生懸命に尽くして頑張ってきた。その自分へのご褒美としての参列でした。

記念式典、大阪桐蔭高等学校吹奏楽部の素晴らしい演奏、上宮高等学校書道部のパフォーマンス、太鼓の演奏……。大東RCさんの熱いおもてなしに感動、感激しました。最終日には、塩釜東RCからの参加者全員で、京都の大原三千院にお参りました。

両クラブのますますの繁栄・発展をお祈りし

ます。大東RCの会員の皆さま、奥さま方、本
当にありがとうございました。感謝です。

(第二二〇地区 宮城県 会員家族)

国際交流事業の もう一つの意義

岡山西南 松原 龍之

「大家好!! (皆さんこんにちは)」。当クラブ
の堀敬夫会長の祝辞が始まった。

二〇一七年二月二日、台湾の姉妹クラブ・
台中東南RCの創立四十九周年記念式典に、会
員・家族の一四人で出席した。台中東南RCと
は一九八一年以来、交換学生、WCS(世界社
会奉仕)など国際奉仕事業を協同で行ってきた。
毎年、両クラブの周年記念式典には、パートナー
とともに出席するのが恒例となっている。

堀会長は、「始まりのあいさつだけでも」と、
中国語で話し始めた。台湾には日本が統治して
いた歴史があり、台湾のロータリアンの中には
日本語が堪能な人もいます。また現在、日本語勉
強中のロータリアンもいる。友好の第一歩は相
手を思いやること。言葉の壁を努力で超えよう
とする気持ちが両クラブに芽生え、花開こうと
している。

その一方で、若手ロータリアンの参加が少な
く、寂しく思うこともある。平日を含む海外渡
航は、会社を切り盛りする若手には、スケジュー
ル調整が難しいのだろう。

今回、記念式典に初めて参加したロータリア
ンがいた。田口一子会員は、入会して約七年。

予想を上回る歓迎と豪華な式典に圧倒される
中、連れてきてくれた会長に、感謝の気持ちを
述べていた。

「ロータリアンになって地域貢献、社会奉仕
活動を実践してきた。その傍ら、国際ロータリー
(RI)のことも耳に触れることはあった。し
かしながら今日、初めて隣にいる台湾人もロー
タリアンであり、奉仕の精神を分かち合い、活
動している。一つの国のためではなく、世界が
良くなるようにと。そしてまた、自分自身も
その一人であることを強く実感するとともに、
ロータリアンであることに誇りと感謝を強く、
強く感じた」

百聞は一見にしかず。数日の仕事を調整して
台湾へ来たことで彼女が得たものは、国際交流
事業のもう一つの意義ではないだろうか。

(第二九〇地区 岡山県 不動産)



初の姉妹クラブ周年記念式典を満喫した田口一子会員

友愛の広場



エッセー、海外のロータリークラブ訪問記、時局雑感など。1,000字以内。関連写真があれば添付してください。

涙・涙・涙の ミャンマー再訪

高松西 吉本 委子

高松西ロータリークラブ(RC)は、二〇一六―一七年度からの継続事業として、ミャンマーへの教育支援を行っています。ヤンゴン市の小学校に、昨年度は水の浄化タンク、今年度は図書室を寄贈し、一月八―一二日、他クラブ会員を含む一三人で現地を視察しました。私は二度目のミャンマー訪問。図書室はすでに完成しているとのこと、一行はドキドキしながらバスで小学校に向かいました。

小学校に近づくにつれ、「あれ？ なんだか人が多いね。何かあるのかしら？」と思いきや、この人ばかりは私たちを迎えてくれる、大勢の保護者の皆さまだったのです！バスの周りには人、人、人、そして笑顔の風。



何度も礼を述べる校長先生(右)。「この感動、逆に私たちが感謝です」

四十数年生きてきて、こんなに大勢の皆さんに手を振られ、温かく迎え入れてもらった体験はなく(涙)、到着前に大感動。校長先生によると、今回、日本からやって来たこのグループが浄水施設や図書室を造ってくれたことを皆さんは本当に喜んでおり、「せめてお迎えすること、心からの感謝をお伝えしたい」とのことでした。私たちのクラブにはミャンマー出身のキン・マン・サン会員がおり、通訳はぼつちり。鏡原良則団長の「子どもの生活環境をどうにか良くしたいんだ！」という熱い思いをサンさんが見事に伝えてくれ、団長の言葉に感激して、涙を流して喜んでおられる方もいました(団長、かっこよかったですよ！)。

日本語で「ありがとう！」と叫ぶ子どもたち。その目は純粋で、真つすぐに私たちを見つめてきました。学校周辺は、まだ安全と言えるよう

な衛生環境にはありません。わが子と同じくらいの年の子たち。私たちができることはまだあるのでは、と思いました。

また今回、サンさんが同行してくれたことで、ミャンマーの人たちの考え方や生活について、いろいろと知ることができました。ミャンマーの人たちには「ストレス」という概念がありません(！)。日々生きることに精いっぱい。先のことを思いわずらい、憂鬱になる……という日本人を覆う不安感は、ここでは皆無です。

ミャンマーには立派な寺院が本当に多く、信仰に重きを置くこの国では、とにかく「祈る」ことが日常です。「もう生まれ変わらせんように」と祈っている方もいるとのこと。毎月、神社に行つて「あれをお願い、これもお願い、ついでにこれも……」とお願いばかりしている私の頭の中とは大きな違いを感じ、衝撃でした。ロータリーに入っていないければ、こんな体験はできませんでした。世界の人たちの真の平和と幸せを祈り、自分たちができることをする。ロータリーの素晴らしさを、日本の外に出て初めて再確認した私です。

(第二六七〇地区 香川県 歯科医業)

友好クラブ創立五〇 周年記念式典に参加

佐藤千恵子

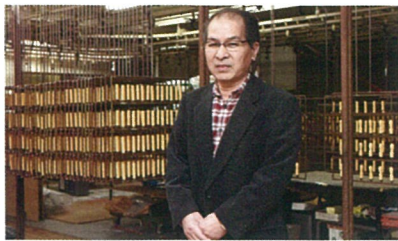
二〇一七年二月一―三日、帝国ホテル大阪で開催された大東RC創立五〇周年記念式典に、友好クラブである塩釜東RC(宮城県)の、



神埼ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF KANZAKI



オークヒルビューから眺めた風景



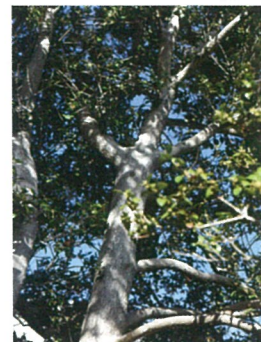
福山和彦会員

最後に訪ねたのが「西の横綱」といわれる小林正明会員。薬局経営の八一歳、創立会員

もう二〇年以上前のことだ。中島さんは言う。「友情の証しとして握手をやる」と始めました。最初は隣り合わせた数人でしたが、今はグルグル回って、全員握手をするのが恒例になりました。私は酒も飲まず趣味一筋。この店の下の場所にはイングリッシュガーデンを造りたいと思っています。七〇歳を過ぎてもやりたいことがたくさんある」

吉野ケ里には最新鋭のロボットアームを使って印鑑の印材を作る、アイテックという会社もある。福山和彦社長はクラブ入会一七年の会員だ。鹿児島から六割の印材を製造している。機械好きの二代目で父親から引き継いでから、精密機械業者と共同開発しながらロボットアームを開発した。ロボットが人間の手の動きをして器用にツゲを削っていく。

「人が一本一本削っていたら大量生産は無理だ。腱鞘炎になっちゃいます。ようやく軌道に乗って息子も手伝ってくれています。そろそろ代替わりを考えています」



印材の原料となるツゲの木

だ。「東の横綱」の宮地さんといつも揃い踏みで参加している。

「私はメークアップを入れると三二年間、皆出席ですよ。私にとってロータリーはひとつの宗教になつとります」

ユニークな人材が支える「少年の居場所作り」

現在、神埼RCは会員数四〇人。个性的でユニークな人材にあふれている。この日の夜例会は会員が経営する料亭「きはら」で開かれた。酒を飲む前に全体写真を撮る手はずを整えて、「少年の居場所作り」を始めた藤吉洋次会員から話を伺った。藤吉さんが会長時代の二〇一一年、非行少年のケアを目的に始めた活動の一つが発端だった。佐賀県警の少年サポートセンターや大学生ボランティア「ルピナス」と協力して、吉野ケ里歴史公園の中で、運動会や勾玉作りをした後にバーベキューを年に一回行う。補導した少年や引きこもりの子どもも時間がたつにつれ



吉岡励会員



藤吉洋次会員



小林正明会員

で、触れ合い、話し始める。一緒ににぎりを結んだり、料理を作る。何より自立してほしいという。港湾建設業の吉岡励会員も積極的に参加しているそうだ。

さて、いよいよ午後七時から夜例会である。空閑会長のあいさつの後に恒例の握手が始まる。みな席を立つて左回りに歩きながら次々と握手する。時に声を掛けながら。順が狂って「あんたとはさつきしたろうが」「あんたとはまだじゃったね」。笑いながら手を握り合う。和気あいあい、楽しそう。一連の公式行事を済ませると乾杯の酒だ。各所で返杯が繰り返された。余興の宮地長老の唄で盛り上がり、手品の披露もあった。中締めがあつていよいよ終演、と思つたら下津浦幹事が、

「これからが本番ですから」と冗談をとばす。有志十数人で二次会のスナックに。女性会員の店だという。カラオケが始まった。主役は女性。次々に持ち歌が披露され、ナポリ民謡サンタルチアを歌った西村次期会長の美声は見事なものだった。

山本朋史（やまもと・ともふみ）
元週刊朝日記者
工藤隆太郎（くどう・りゅうたろう）
フリーの写真家

「少年の居場所作り」
神埼RC写真提供





神埼ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF KANZAKI



例会がどこで行われようと、握手は必ず行われる



野田初憲会員

翌日は、例会前に空閑会長が名物会員を紹介してくれた。
まずは宮地勝朗会員。
一九八六年にクラブが発足した時の創立会員で、最長

して神埼市に事務所を開いた。法律家だけに、結婚祝いや出産祝いの規約がクラブになかったのを改正、最初の恩恵を得たしつかり者でもある。明るく酒好きで誰にも好かれていた。弁舌巧みでクラブ長老にも進言する。
見事な包丁さばきを見せた野田前会長も加わって、佐賀の銘酒が次々と封を切られた。翌日の例会は月一回の夜例会だ。飲み始めたら止まらない酒豪も多いと聞いて、初日は早めに引き揚げた。ホテル隣にある温泉「卑弥呼の湯」に寝る前に入りたかったこともあった。別に弥生時代の面影があるわけではないが、冷えた体を温めてくれた。
野田初憲会員



宮地勝朗会員



老の八四歳。宮地翁は一二歳だった終戦時の記憶をたどる。吉野ヶ里に飛行学校があり、宮地家には特攻隊員一〇人が下宿していた。鹿児島を知覧に向かう直前に終戦を迎え、いずれも無事に故郷に戻ったそうだ。遺跡について宮地さんは言う。
「吉野ヶ里は丘陵で戦後すぐはお茶、次にミカン栽培が行われた。肥料販売をしていたので、ミカン農家を回るとミカンの木を植えるために掘った穴から甕棺や土器のかけらがバサラ（すく）出てきた。高校の恩師はいつもスコップを片手に発掘をしていた」
地元では昭和三〇年ごろから大きな遺跡があるのではないかと噂になっていったそうだ。粘土工房を主宰する榎木律子会員も言う。
「昔は父が吉野ヶ里歴史公園内の丘陵地でミカン農家をしていましたが、毎日のように甕棺が出てきたと言っていました」
榎木さんは生徒一〇〇人を教えている。カラー粘土を混ぜ合わせて好みの色を作り、指先で伸ばし花弁を作る。一〇枚ほどできたら一枚ずつ合わせていくとバラの花が五分ほどで出来上がった。粘土細工に興味があったのでまねをして作ってみたが、力の入れ具合が難しい。うまくいかなかった。



榎木律子会員。作品は会員の誕生日プレゼントにもなる



中島敏会員

も登場している有名人だ。
この中島さんが会長時代に、神埼RC名物の握手が生まれた。

ちの商品も少しずつ認知されてきています」
運転をしてくれた合瀬さんが、「今日は天気もいいから見晴らしのいい景色を見ましょうか」と言って背振山を上っていく。山頂近くにモダンな英国風建築が見えた。中島敏会員が経営するカフェレストラン「オークヒルビュー」だ。本職は神埼での時計店経営、英国製の時計やクラシックカーなどに魅せられた。趣味が高じて英国建材を個人輸入して、山の上に店まで建ててしまった粋好みである。英国製MGカーを一〇台も収集、車や時計の専門誌には何回も登場している有名人だ。



西村明美会員。作品はふるさと納税の返礼品にも採用



次期会長になるという西村明美会員は、非鉄スクラップ会社の二代目代表だ。数年前からリサイクル金属や木材などでユニークなアート作品を妹と一緒に作ってギャラリーで展示している。上峰町（吉野ヶ里町の隣町）のふるさと納税の返礼品にも採用された。
「上峰町は佐賀牛が超有名ですが、う



神埼ロータリークラブ
THE ROTARY CLUB OF
KANZAKI



発掘された遺跡が保存・管理されている吉野ヶ里歴史公園

り巻いて大変でした。神埼では初めての重大事故、自衛隊が数日、人海戦術でヘリの落下物を丹念に探していました」

一カ月後の三月五日にわれわれ取材班（といっても二人なのだが）は、吉野ヶ里公園駅に降り立った。事故現場はすぐそこだ。つい昔の事件記者の癖が出た。しかし今回は、クラブ訪問という明るい取材である。気持ちを切り替えて臨む。

前日は二〇度を超す暖かい日曜日だったが、夜から強い雨と風が吹き荒れ、雷まで鳴ったという。空閑会長と一緒に迎えに来てくれた合瀬一男会員は言う。

「まるで台風のような雨と風でした。ようやく雨もやみました。吉野ヶ里歴史公園をご案内しましょう。地元の人にも回ったことはほとんどないのでもうまく説明はできませんが」

歴史公園は一〇〇畝余り。想像もつかぬほどの広さで、未開園エリアが整備されればもっと広がるという。吉野ヶ里遺跡が大々的に報道されたのが平成元年、三〇年前になる。弥生時代に吉野ヶ里の丘陵地帯に分散した「ムラ」から国内最大級の集落へと発展した。弥生人がどのように暮らしていたか？ 住居や祭



復元内部の家屋（上）と北墳丘墓（下）

殿や物見櫓などが復元、整備されてきた。

公園東口から天の浮橋を渡って、勾玉作りなどの実演ができる「弥生くらし館」を見学して、丘陵のいちばん高い場所に立つ。北に背振山、

南には広大な田園地帯が見渡せる。整備された丘陵のかたに復元家屋が数十戸見える。強い風が吹いていた。立っているのもやっとだ。小雨も降ってきた。気温は九度だがそれ以上に寒く感じる。

「空閑くんは雨男だけでなく、二月は雪男になってしまいました」

合瀬さんは笑いながら言う。三年前に合瀬会長、空閑幹事の名コンビだった二人である。仲が



良い。復元家屋の内部は思ったより広い。どの家屋も同じような造りだ。古代人の間に貧富の差はあまりなかったのかもしれない。北内郭まで歩く。足元が重くなってきた。すでに2キロほど歩いたろうか。

「風が強いし園内バスがあるそうだから、東口に帰りましょうか」

と合瀬さん。ナイスフォローだ。近くにいた案内ボランティアの女性に停留所の場所を聞く。「すぐそこですが、発掘された甕棺の原物がある北墳丘墓を見て行くと、時間的にもいいですよ」

吉野ヶ里遺跡を堪能してほしいというボランティアの気持ちが伝わってくる。園内バス「ひみか号」で東口に向かう。途中で子どもたちの遊び場や野外バーベキューの場所も見えた。神埼RCが数年前から始めている「少年の居場所作り」の運動会の舞台だという。途中から下津浦幹事が合流し、神埼の櫛田宮へ。山笠の博多櫛田神社は有名だが、ここはその本宮だという。

遺跡なみにぞくぞく登場する
名物会員

夜は懇親会だった。野田初憲前会長の経営する寿司店での主役は下津浦幹事だ。二九歳で入会したプリンスも現在は三四歳。それでもクラブ最年少だ。佐賀駅近くの弁護士事務所にいたが、地元法律事務所がなかったため、四カ月前に独立



櫛田宮の前で（左から）下津浦公幹事、空閑彰彦会長、合瀬一男会員

恒例の全員と握手で始まる 吉野ヶ里の友情の輪

文・山本朋史 写真・工藤隆太郎

弥生人の生活を今に伝える遺跡が
どんどん出土する吉野ヶ里遺跡

佐賀県の神埼ロータリークラブ（RC）の取材を、と編集部から依頼された時、一瞬、僕の方
向感覚は麻痺した。場所が思い浮かばない。吉
野ヶ里遺跡の地と
聞いてセンサーは
動き出した。取材
日程の調整をする
ため、空閑彰彦会
長に電話をした。
当初、二月中にも
という話だった
が、掲載は五月号
できるだけ直近の
三月上旬に変更し
た。この電話から
数週間後の二月五
日、神埼郡吉野ヶ



里町にある目達原駐屯地から飛び立った自衛隊の
ヘリコプターが、神埼市の民家に墜落、自衛隊員
二人が死亡、民家にいた女の子がけがを負う事故
が発生した。思わぬ形で神埼は全国に知れ渡った。
幹事で弁護士の下津浦公成氏は言う。

「あの時は、消防や警察の大勢が現場付近を取



例会が始まる前に全体写真を撮影した。

カメラマンの「握手をしてください」の声にみんなでポーズ。



私も同じです。市役所で市民の皆さまの役に立ちたい、と思いながら働いてきた一職員です。そのような中、チャンスが巡ってきて、それをつかむことができたのです。しかし、こうした状況をチャンスだと思えるか、面倒と思うかは人によってさまざまだと思いますが、私が強く伝えたいのは、「これがチャンスなんだ」と思うことが大事、ということなのです。

今の自分にもいえることなのですが、仕事で壁にぶつかった時、「こんな面倒なことが皆さまの役に立つのだろうか」と思いながらするのでなく、「誰もやったことがない仕事だからやってみよう」「もし、自分がしてみてもうまいったらこっちのもの」と思いながら、仕事に励むことが大切だと思います。私自身、常にそう思いながら仕事に向かい合いたいと思っています。そうすれば、また新たなチャンスが巡ってきて、新たな経験を積み、それを繰り返すことで自分自身を成長させられる、というプラスのストーリーが構築されるのでは、と思っています。

南極観測に従事し、結果として自分に何がプラスになったかという点、自分の限界値を高めることができたことだと感じています。そして、仲間との絆というものを知りました。南極観測という共通の目標に向かっていきますので、自然と絆が深まっていきました。第五五次越冬隊員二十四人だけの一年間は、人は一人で生きていくことはできない、ということを変更して学ばせてくれました。

余談になりますが、仲間のポテンシャルの高さを実感した話をしたと思います。皆で「これやろうぜ」となった時の集中力。仕事としては当たり前なのですが、これが余暇の遊びにも通じるも

のがあり、全ての物事において、仕上げはプロ並み。まあ、皆その分野のプロなので当たり前なのですが、その集合体の完成度ときたら、言葉では言い表せないくらい完璧であって、メンバーの一体感を味わえる瞬間でもありました。

朝から晩まで一緒にいると、ほぼ家族のような状態になります。私は観測隊を円滑に運営するために、仲間一人一人とコミュニケーションを図るとともに、ある仕掛けをしていました。

それは、隊員個々の業務に対してのお手伝いを積極的に行うことです。人は、誰かに助けてもらうと、お返しをしなければという気持ちになります。その気持ちを隊員全員で共有できるようになるためには、まず誰かが正のスパイラルを起こす必要があります。そういった組織意識の醸成を一年間ずつと続け、結果として、無事に越冬観測を終了することができました。なんと、昭和基地を離れる時には、「一緒に隊で良かった。俺らの隊でいてくれて感謝している」と胸上げをしていたことができました。

「普通」よりも 「変わっている」と 言われることは恥ずかしくない

南極からつくば市役所に復帰し、現在は市の政策調整業務に従事するとともに、地方創生の総合戦略策定にも取り組んでいます。一方で、これら南極での貴重な体験を「出前教室」という形で市民の皆さま、特に小中学生を中心に、夢を持つ大切さや素晴らしさをお伝えしています。オーロラやペンギンの映像を紹介するたび、子どもたちが

歓声を上げて喜んでくれ、とてもうれしいです。改めて、チャンスをどう捉えるか。とにかく、何かに巡り合ったきっかけをチャンスだと思つて、貪欲（どん欲）につかみ取ることを忘れないでほしいです。そして、つかんだチャンスは自分だけのものにせず、どのようにして周囲にフィードバックできるのか、というところまで考えて、行動してほしいと思っています。物事を俯瞰的に考えること、そして何事も諦めない心。これは大事です。

そして、若い子どもをお持ちの保護者の方へもお伝えしたいことがあります。まず、お子さんがやる気になったことや、やりたいと言ったことは、どんどん挑戦させてください。そして諦めずに、応援をしてあげてください。そして「普通だよ」と言われるよりは、「変わった子だね」と言われることをうれしく思った方がよい、と伝えてあげてください。

「普通」は、無難で、穏当な、良いことかもしれませんが、今までの枠を超えることができないということでもあります。「変わっている」ということは、もしかしたら、皆と違うことができる可能性があることだと、私は思っています。

人はこれまでの枠を飛び越えることで、何か新しいものが発見できるといわれています。だから「どうもこの子は人と違うところがある」ということは、マイナスでなくプラスなのだと思います。「変わっている」ということを、自分の将来にうまくつなげられるよう、親としてサポートしてあげてください。

なぜなら、わたしもずっと「変わっている」と言われ続けてきましたから。

ん、単独行動は厳禁なので、グループで行動計画を作り、隊長に許可もいただいて出かけました。

驚くような経験もしています。南極での露天風呂です。屋外は髪の毛が凍る気温ですが、風呂のお湯はとても熱く、お湯は四〇度、気温はマイナス二〇度でその差は六〇度くらいありました。

長期間、昭和基地を離れ、南極大陸で観測支援を行ったこともあります。一〇日間ほど、雪上車で移動しながら観測を続けました。主な任務は積雪状況の把握、移動ルートの保守などです。

南極大陸には文明がありませんから、建物は一切ありませんし、生き物に出会うこともまれです。白銀の世界、何もない光景がずっと続きます。

その中を一日中、雪上車を操縦し一日の終わりに雪上車の整備を行います。マイナス四〇度、風速二〇ノットの中、雪上車の下に潜り込んで車両整備をしたのですが、生きた心地はしませんでした。

生きた心地がしないといえばブリザードです。

いわゆる吹雪。これが二、三日続くと、昭和基地が雪で埋もれてしまいます。生活を維持し、観測を続けていくために、除雪作業は必須となります。ブルドーザーや雪上車などの重機に乗る者、スコップで細かい隙間の雪を手作業で取り除く者など、隊員全員が手分けして自分たちの生活を守り続けました。滞在期間の四分の一は、除雪作業をしていた気がします。

南極で体験した現象、特にブリザードは自然の驚異として深く印象に残りましたが、感動を与えてくれるものとして特に印象に残っているのがオーロラです。実際は、見ている時は寒いし、眼鏡が凍るし、結構大変なのですが、機会があればまた見てみたい、と思っているものの一つです。

ペンギンにも数多く遭遇しました。野生のペンギンは人間を危険な存在と思っていないようで、近づいても逃げないことがあります。しかし、南極における野生動物保護の観点から、ペンギンやアザラシには極端に近づくことができないことになっています。観測時には彼らを驚かさないように十分注意を払って行動していました。

昭和基地内の建物の紹介ですが、お風呂は毎日入ることができず、医療設備もある程度は整っていると思いますが、皆さん驚かれるのが「バー」です。余暇の間には「バー」を開店することもあります。お客さんとマスターは隊員同士。お客さんとマスターも、常に代わりばんこです。このように余暇も皆で力を合わせて、楽しい時間にしていました。

皆に伝えたいこと

私はつくば市役所に勤務していた、ごく普通の自治体職員でした。しかし、南極観測という国家

事業に携わることができました。こういったことから、南極で仕事することは夢物語でなく、自分自身でチャンスをつかむことができるならば実現する可能性は一気に高まる、ということ強く伝えたいと思っています。

皆さまの中には、南極観測隊員というのはエリート集団とかプロ中のプロの集まりであって、自分たちとは全く関係のない世界で生きている人間である、というイメージを持っている方がいると思います。決してそうではない、とお伝えしたいです。もちろん、そういった側面を持っている人間は多いかもしれませんが、私と一緒に南極に行った隊員は、愚直に自分の仕事を一生懸命行ってきた人たちです。

電気工事を真面目に積み重ねてきた電気屋さん、多くの人の命を救ってきたお医者さん、人の喜びのために家を建て続けてきた大工さん。学者や研究者の職に就かなくても、自分の仕事と真剣に向き合ってきた人であれば、その延長上にこういうチャンスが巡ってくる可能性があるということを実感しました。



■ 第五次南極地域観測隊越冬隊員・つくば市職員

塚本 健二

一九七六年 茨城県つくば市生まれ。駒澤大学法学部法律学科卒業。在学中は体育会一般スキー部で三年次主将。民間企業を経て、二〇〇一年 茨城県笠崎町役場入庁。〇二年 合併によりつくば市職員。〇八年 つくば研究支援センター派遣。一三年 同市経済産業振興課主査時、国立極地研究所へ派遣、第五次南極地域観測隊員。庶務・情報発信担当として、昭和基地で一年四カ月間越冬観測の任務に就く。

現在、同市経済産業振興課スタートアップ推進室長。

につれ、海の氷が厚くなっていきます。「しらせ」はその氷を割りながら進み、観測隊員は昭和基地から約一〇〇^{キロ}の付近から、ヘリコプターに乗って昭和基地に移動します。これが、日本から昭和基地へ向かう約一万四〇〇〇^{キロ}の行程です。

私の所属した第五五次南極地域観測越冬隊の構成は男性二四人、二〇代から五〇代。公務員、研究者、民間の技術者など、出身母体や経歴がさまざまな人が、全国から集まってきました。

観測隊は、観測系の隊員と設営系の隊員で構成されています。昭和基地ではそれぞれのスケジュールがあり、それに沿って仕事をしています。観測系の隊員は気象観測、オーロラ観測、大気観測、地殻観測などを行っています。一方、設営系の隊員は観測や生活で使用する機械や設備を整備するために、電気、車両、造水、無線、衛星アンテナ、LAN、環境保全などを担当。そのほかにも建設、医療、調理、そして野外観測支援なども含め、皆いわゆるその道のプロ、と呼ばれるメンバーです。全員に、南極観測という国家プロジェクトに対する誇りと責任感がありました。

そういった中で私は、庶務・情報発信担当として任務に従事しました。具体的には、隊長を補佐し、隊の行動を管理し、皆が自分の仕事に集中できるように職場や生活環境を整えました。

予定表も管理していますので、隊員全員の行動を把握していなければなりませんし、会議日程や当直業務などを決めるのも私の役割でした。常に調整役として休む暇なく奔走^{ほんそう}していましたが、記録には残らない仕事ですので、決して華々しい仕事ではありません。しかし、日本と変わらない職場環境や生活環境へ、昭和基地をどれだけ近づけ

ることができるか、そして当たり前の環境を作り出すこと、提供し続けることこそ、庶務に課せられた役割と思って仕事をしました。

どの職場でもあると思いますが「この話は隊長（上司）に話す前に、担当主任同士で責任を持つて解決しよう」など、現場での調整を数多くこなしていた思い出があります。こういった調整作業は、自治体職員としての経験が役に立ったのだと思います。常に裏方に徹しながらも、市民が安心して暮らすことができるようにするため、仕事をしているのです。

情報発信の仕事では、昭和基地と日本全国の小学校・教育機関などと衛星ライブ中継で「南極教室」を実施したほか、「昭和基地NOW!」というホームページを週に一回程度更新し、南極の自然や昭和基地の様子を発信し続けました。そのほかにも、多くの隊員のサポート。昭和基地では何でも屋さんのな立ち位置だったと思います。

仕事ハマった瞬間といえば、自分が計画した作業を、仲間と協力しながらスムーズに終わらせることができた時です。南極での仕事のこつは全ての仕事において、「準備が九割」だと思うことでした。そうすれば、一緒に作業してもらう仲間にストレスを感じさせることはありませんし、自分自身も落ち着いて本番に臨むことができます。本当に大切なことだと思います。

日本からの補給はありませんので、ストック品がないと、物が壊れた場合は自分で作るようになります。無いものは工夫して作る。技術がなければアイデアを出せ。その意気込みが必要になってきます。とはいえ、自分の知識では限界がありますから、いろいろな見識を持つ仲間の知恵を拝借

するわけです。「こうした方が効率が良い」「前はあのやり方で失敗した」。その都度、現場の状況を踏まえながら、シンプルで最善の方法とは何か、ということを考えていました。

帰国後、厳しい作業はどのようなものでしたか？ という質問を受けることがあります。私は輸送作業を挙げています。日本から持参した物資を船から基地に運ぶ、昭和基地からの廃棄物を船に運ぶという作業ですが、天候によって輸送プランが常に変わります。船の停泊している期間も決まっているため、延期になると輸送に割く時間も無くなってしまうので、運ぶ物資の優先順位を考えつつ、多くの関係者との調整を同時進行で行っていくと寝る暇がありませんでした。

仕事の進め方などで悩んだ時には、前次隊の庶務担当の隊員に聞いたり、国立極地研究所のスタッフや隊長に確認したりしました。マニュアル通りの仕事の一つもない環境で、一年四カ月を過ごしたことは、自分の糧となったと思っています。余暇の過ごし方になりますが、繁忙期以外は休日を取ることができます。先ほども述べましたが、家族と衛星電話を使って、コミュニケーションを取ることができます。太陽が昇ることがない「極夜期」は、比較的ゆっくり過ごす休日でもできました。

昭和基地での生活は快適だと思います。息抜きはとても大事なことから、月一回程度、レクリエーション会が開催されました。例えば、屋外ではソフトボールやサッカーなどのスポーツ大会が行われ、屋内では日本のサクラや紅葉の映像を映しながら、お花見会、紅葉狩りなども開催しました。数回ですが、遠足にも行きました。もちろ



写真提供：第55次南極地域観測隊越冬隊員・吉川康文氏 白夜、沈まぬ太陽

すが、むしろ、人がなかなか経験できないことを身をもって体験して、その経験を地域に持ち帰り、まちづくりに還元したいという気持ちの方が強かったです。

とはいえ、行き先は南極。極地に行くことについては、公募に当たって妻にも相談しました。妻からはひと言、「私があなたと同じ状況だったら迷わず行きます。家のことは心配しないで」と言われたので、なんの迷いもなく、チャレンジすることができました。

派遣決定後は、当時はまだ幼かった子どもたちも「お父さんは南極に行くんだ」と応援してくれました。私としても、自分の姿を子どもたちに見せることによって、やがて将来、進路を決める際「そういえばうちの父親、南極に行っていたんだよな。自分も一生懸命になれる何かを見つければ」と感じてもらいたい気持ちがあつたことも、事実です。なお、家族とのコミュニケーションは、越冬中は週一回、休日に衛星電話を使って取ることができました。

さて、南極に行くまでには何をやるのかというと、まず、隊員候補者は、長野県乗鞍高原の雪山で一週間ほどの冬季訓練を行います。主なカリキュラムは雪中行動。例えば、雪山登山やサバイバルキャンプなどで

す。そのほかにも、南極観測の歴史や極地での危険性などについて、講義を受けます。この訓練を通して、隊員候補者の間でチームワークが形成されたような気がします。

一三年四月に国立極地研究所へ派遣されるわけですが、四月から六月までは、私と同じ第五五次観測隊員の受け入れ準備をしながら、南極で輸送作業や大規模な除雪作業に従事するために重機の資格を取りました。パワーショベル、フォークリフト、小型移動式クレーンなども操縦できるようになりました。それまで、つくば市の仕事ではこれらの操縦を体験したことはありませんでしたが、車を運転することや機械を操作することは好きでしたので、訓練は楽しかったですし、とてもスムーズに進めることができました。

そのほかにもアマチュア無線の資格も取得しました。学科試験がネックでしたが、これも通らなければならぬ道でしたので、頑張りました。これらの個人資格の訓練は今思うと、本当にすべてが良い経験となりました。

そして六月、群馬県草津での夏季総合訓練終了後、正式に観測隊員として決定となりました。

いざ南極へ 活動への思い

南極昭和基地へ向かうためには、オーストラリアのフリーマントルから南極観測船「しらせ」に乗船し、三週間の過酷な船旅を続けることとなります。そのうち一週間は荒れ狂う海「暴風圏」を通過することになります。大変な思いで「暴風圏」を抜けると南極海が現れます。昭和基地が近づく

夢を現実にする 南極で越冬隊員を経験して

南極観測隊員というと、エリート集団とかプロ中のプロの集まりで、自分たちとは全く関係のない世界で生きている人間である、というイメージを持っている方がいると思いますが、決してそうではありません。私と一緒に南極に行った隊員は、愚直に自分の仕事を一生懸命行ってきた人たちです。

第55次南極地域観測隊越冬隊庶務・情報発信担当／つくば市職員 **塚本 健二**
Kenji Tsukamoto

南極地域観測隊員として

私は、第五十五次南極地域観測隊の越冬隊員として二〇一三年一月に日本を出発し、一五年三月に帰国しました。南極昭和基地において「庶務・情報発信担当」として従事した、一年四カ月の経験を、皆さまにお伝えしたいと思います。

南極地域観測隊に参加するきっかけは、つくば市役所庁内での公募でした。当時、職員に向けて「南極地域観測隊員派遣」の公募があり、「南極観測隊」国家プロジェクトに参加できるかもしれないという可能性に出合ったのです。

当時、「南極」へは（今もあまり変わりませんが）「寒い」「過酷」「危険」というイメージしか思い浮かびませんでした。ましてや、「なかなか行けるところではないから、話題づくりとして行ってみよう」という浮ついた気持ちで少しでもあれば、一年四カ月の越冬観測に耐えることはできない、絶対に生きて帰ってくることはできないだろうと思っていたので、それにあえて挑戦してみることが自分を試したい、自分のこれまでの仕事で培った経験が「南極観測隊員」として、南極昭和基地で通用することができるのか試したい、という気持ちで湧いてきたのです。

もともと、自分の仕事のスキルを生かして、私の地元つくばに貢献したい、という気持ちがありました。そういったことから、新たなチャレンジをしてみたいという機運も高まっていたところ、今回の公募があったということで、表現が難しいのですが「南極観測隊員」への挑戦は、たまたまそこに巡ってきたチャンスでした。もし、同じタイミングで別のチャンスがあったならば、また違った人生を歩むことになっていたかもしれないし、例えば、海外での挑戦だったかもしれないし、民間企業への派遣だったかもしれません。あの時、たまたま私の前に現れたのは「南極観測隊員」の選択肢だったのです。

このチャンスを逃すことはできない。私は、庁内選考を突破し、東京立川市の国立極地研究所の選考会へと駒を進めました。そして、同研究所の書類選考と面接を経て、まずは同研究所への派遣が決まったのです。

なお、南極観測隊は、夏の三カ月間滞在する夏隊と、一年を通じて滞在する越冬隊で構成されますが、私は越冬隊員候補となり、そして、幾つかの訓練を経て、越冬隊員として昭和基地に派遣されることになりました。

派遣が決定し、夢が現実となったのですが、この時の気持ちといえば、「ヤッター」という気分よりも、まず、自分の気持ちを落ち着かせ、出発までに何をしたらよいか、到着後は何をしなければならぬのか、ということ冷静に考えました。自分でも不思議なのですが、南極に行くことに対しての不安はありませんでした。皆さんからは「寒いから大変だね」とか、「誰とも会えないから寂しいでしょう？」などと聞かれたので

5 月は青少年奉仕月間です

THE ROTARY-NO-TOMO

夢を現実にする

南極で越冬隊員を経験して

◆ 第五次南極地域観測隊越冬隊庶務・情報発信担当／つくば市職員
塚本健二

4
73

シリーズ クラブを訪ねて

恒例の全員と握手で始まる吉野ヶ里の友情の輪

神埼 RC・第 2740 地区

文・山本朋史 写真・工藤隆太郎

9
68

友愛の広場

涙・涙・涙のミャンマー再訪

友好クラブ創立五〇周年記念式典に参加

国際交流事業のもう一つの意義

ビッグファザーのご逝去に継承を誓う

傘寿の記念に狛犬を奉納

会員家族親睦 出雲蕎麦打ちの会

私見・職業奉仕論

「決議二三―三四」採択一〇〇周年に向けて

「見て見ぬふり」をしない世の中へ

新生！ 鯖江 RC の誕生

日本開催の国際大会の「初日カバー」

◆ わがまちの味

高松西 吉本委子
佐藤千恵子
岡山西南 松原龍之
千里 古城紀雄
田沼 蓮見哲平
松江 小林祥泰
札幌東 山崎俊彦
高山中央 剣田廣喜
出雲中央 山口孝之
鯖江 大島恒彦
浜松東 伊東政好

13
64

卓話の泉

世界をつなぐ切手

在宅医療

東京新宿 落合由一
有田 中村吉伸

20
57

私の一冊

郡山北 吉田喜一／丸亀 横田龍男

20
57

ロータリー 俳壇

◆ 長谷川 權 選

22
55

ロータリー 歌壇

◆ 馬場あき子 選

22
55

ロータリー 柳壇

◆ てじま晩秋 選

22
55

ロータリー・アット・ワーク

クラブの垣根を超えて

「北九州マラソン」を支援

第 2700 地区第 2 グループ

〈写真〉鹿児島東／東京東江戸川／福岡平成／佐伯／春日部イブニング／旭川北／小矢部中／京都八幡／奈良西／浦和北／呉南／習志野／上田東／江田島／古河・七ヶ浜／東松山


24
53

児童養護施設でソーイングの支援

子どもたちに夢を！

堺かるた大会に参加・協賛

競技かるた大会で小中学生一〇〇人が熱戦

小学校で読み聞かせプロジェクト

留学生による日本語スピーチコンテスト

美しい日本語を！ 和歌山市子ども暗唱大会

学びでフアンドレイジング ポリオ撲滅に向けて

青少年交換学生のため米山奨学生が一日講師に

地元高校生に将来の夢を

文京区中学生職場体験発表会

支援三年目の剣道大会

みおつくしの鐘 打鐘ロープを新調し寄贈

市木アカマツを守ろう 松枯れ防止の薬剤寄付

◆ 内外よろず案内

東京板橋セントラル
豊川
堺清陵
八戸
千葉南
松本東
和歌山城南
東京渋谷
第二七八〇地区
高崎北
東京本郷
柏南
松本

声

2 月号の感想

35
42

表紙 横組み 「伝承遊びに習つ」

野中正規（日本イラストレーター協会）

表紙題字 「黄昏に泳ぐ」 高桑幸次

表紙レイアウト 箕牧 彰

◆ 本誌中の RC はロータリークラブ、R は国際ロータリーの略です。

◆ 横組みの目次は、反対側の表紙を開いた 4 から 5 ページにあります。

◆ 本文・写真などの無断転載・複製を禁じます。

一般社団法人 ロータリーの友事務所

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階

Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956

編集部メール hensyu@rotary-no-tomo.jp（本誌の内容・投稿）

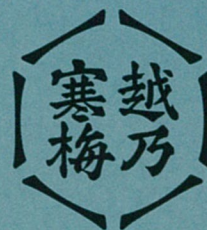
経理部メール keiri@rotary-no-tomo.jp（購読・注文）

ロータリーの友

Home Page

www.rotary-no-tomo.jp





灑こいという新しい志



残雪の新潟北山亀田郷。
凜と咲く一輪の梅の如く、
美意識を貫く酒あり―越乃寒梅。
旨い酒をどこまでも極めていく道の途中、
新しい可能性を追求した灑は、
米の旨みを感じさせながら、繊細でキレがよし。
燗も捨て難いが、冷や・冷酒がなおよし。
晩酌もよいが、食彩と嗜むのがなおよし。
今宵、灑とともに彩のある酔い心地を。

石本酒造株式会社
ISHIMOTO SAKE BREWERY

灑【さい-sai】「綺麗にさっぱりと洗い流す」の意。繊細かつキレのよさを真髄とする「越乃寒梅」に相応しいとして命名。灑のつくりを成す「麗」は元来、美しい様を表す言葉でもある。

通年商品として45年ぶり
越乃寒梅の新しい一輪

越乃寒梅取扱店は
石本酒造ホームページにてご確認ください。
www.koshinokanbai.co.jp

お酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。お酒はおいしく適量を。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。

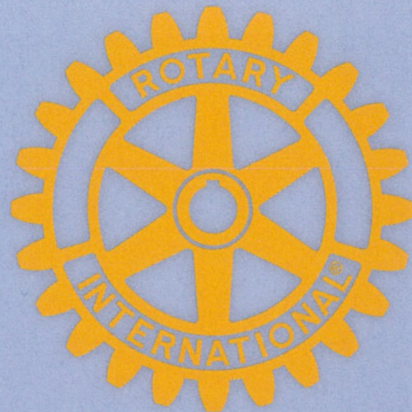
THE ROTARY-NO-TOMO

ロータリーの友

5

2018
MAY

VOL.66 NO.5



SPEECH

夢を現実にする
南極で越冬隊員を経験して
塚本 健二

クラブを訪ねて
神埼ロータリークラブ

Rotary 